

令和 3 年度版

# 水道事業概要

R 3. 4. 1~R 4. 3. 31

大東市上下水道局

# 目 次

## I 事業の沿革と推移

1 事業の沿革	1
(1) 第5回拡張事業	2
(2) 管路更新事業	3
(3) 老朽管更新事業	4
(4) IT(情報技術)の活用	5
2 事業の推移	7
3 業務量の概要	25
(1) 業務の推移	25
(2) 市内水道管口径別延長	26
① 導水管口径別延長	26
② 送水管口径別延長	26
③ 配水管口径別延長	27

## II 機構及び職制

1 機構図	29
2 事務分掌	29
3 職員配置表	31
4 年齢別職員構成	31
5 勤続年数別職員構成	32
6 年度別・職種別職員数	32
7 所属別・職種別職員構成	33
8 職員給与費	33
9 電算業務概要	34
(1) 電算処理に伴う業務内容	34
(2) 電算機器構成・明細	35

### Ⅲ 給 水 状 況

1 配 水 区 域 図 .....	37
2 受・配水系統図 .....	39
3 配 水 量 .....	41
(1) 月間配水量の推移 .....	41
(2) 系統別毎月配水量 .....	42
(3) 系統別一日平均配水量 .....	42
(4) 月別一日最大配水量の系統別配水量 .....	44
4 月別電力使用量比較表 .....	44
5 用途別年間使用水量 .....	46
(1) 用途別年間使用水量比較表 .....	46
(2) 用途別・段階別給水量比較表 .....	48
6 大口需要者一覧表 .....	50
7 水 質 検 査 表 .....	51
8 配 水 量 分 析 表 .....	53

### Ⅳ 料 金 調 定

1 料 金 表 .....	55
(1) 水道料金表 .....	55
(2) メーター使用料金、予納金及び加入金表 .....	55
2 水道料金調定収入 .....	56
3 メーター使用料金調定収入 .....	57
4 年度別調定及び料金収納状況表（水道料金+メーター使用料金） .....	58
5 水道料金調定等件数一覧表 .....	60
6 水道料金等収納種別件数一覧表（納付書等） .....	62
7 月 別 検 針 状 況 表 .....	64
8 府下各市水道料金比較表 .....	65
9 料 金 変 遷 表 .....	67
(1) 水道料金変遷表 .....	67

(2) 加入金変遷表 .....	69
10 手数料一覧表 .....	70

## V 給水装置工事及び修繕工事状況

1 給水装置工事实績表 .....	71
2 量水器関係工事实績表 .....	71
(1) 開栓・閉栓等 .....	71
(2) 量水器取替 .....	71
3 修繕工事实績表 .....	72
(1) 屋内・外修繕 .....	72
(2) 道路上漏水修繕 .....	73
4 指定給水装置工事事業者 .....	74

## VI 財務状況

1 収益的・資本的収支構成図 .....	75
2 収益的収支 .....	76
3 資本的収支 .....	78
4 貸借対照表 .....	80
(1) 借方 .....	80
(2) 貸方 .....	82
5 企業債償還明細書 .....	84
6 企業債利率別未償還残高 .....	85
7 有形固定資産明細書 .....	86
(1) 有形固定資産明細書 .....	86
(2) 投資 .....	86
8 経営分析 .....	88
(1) 収益分析 .....	88
(2) 費用分析 .....	88

(3) 経 営 分 析 表 .....	90
(4) 業 務 分 析 表 .....	92
9 費 用 構 成 表 .....	94
10 水 道 料 金 原 価 表 .....	96
11 東 部 大 阪 各 市 決 算 比 較 表 .....	98

## VII 施 設

1 施 設 位 置 図 .....	103
2 施 設 概 要 .....	105
(1) 中 央 管 理 セ ン タ ー .....	105
(2) 灰 塚 配 水 場 .....	106
(3) 東 部 配 水 場 .....	107
(4) 東 部 第 二 配 水 場 .....	108
(5) 東 部 第 二 高 区 配 水 場 .....	109
(6) 東 部 第 三 配 水 場 .....	110
(7) 東 部 第 四 配 水 場 .....	111
(8) 東 部 第 五 配 水 場 .....	112
(9) 北 条 ポ ン プ 場 .....	113
(10) 水 質 監 視 モ ニ タ ー .....	114
3 水 源 別 計 画 水 量 表 .....	116
4 管 路 用 地 等 .....	116

## VIII 広 報

1 広 報 だ い と う 掲 載 記 事 .....	117
-----------------------------	-----

# I 事業の沿革と推移

- 1 事業の沿革
- 2 事業の推移
- 3 業務量の概要

# I 事業の沿革と推移

## 1 事業の沿革

拡張事業名 工 期	事業費	給水区域	基 本 計 画			
			給水人口	1 日 最大配水量	1 人 1 日 最大配水量	水 源
創 設 (住道上水株式会社) 昭和6年7月6日 ┆ 昭和7年5月6日	千円  78	住道村一円  (東六郷村の 一部を含む)	人  6,000	m <sup>3</sup>  1,350	ℓ  225	浅 井 戸
第1回拡張事業 昭和27年7月1日 ┆ 昭和29年3月31日	22,800	住道町一円  (旧盾津町の 一部を含む)	9,800	3,446	352	深 井 戸 大阪府営水道 (昭和26年7月1日 受水開始)
第2回拡張事業 (第2拡変更) 昭和30年10月1日 ┆ 昭和40年3月31日	318,711	大東市一円と 旧河内市の一部	50,000	14,000	280	深 井 戸 大阪府営水道 大阪市営水道
第3回拡張事業 昭和40年4月1日 ┆ 昭和53年3月31日	1,548,800	大東市内一円 (龍間地区の一部 を除く)と 東大阪市の一部	96,000	43,200	450	深 井 戸 大阪府営水道 大阪市営水道
第4回拡張事業 昭和50年4月1日 ┆ 平成3年3月31日	4,073,700	大東市内一円 (龍間地区の一部 を除く)と 東大阪市の一部	130,000	61,000	469	大阪府営水道 大阪市営水道
第5回拡張事業 平成3年4月1日 ┆	7,000,000 (認可値 4,500,000)	大東市内一円 (龍間地区の一部 を除く)	133,000 (認可値 141,000)	64,000 (認可値 70,000)	481 (認可値 496)	平成23年度より 大阪広域水道企業団 (認可時) 大阪府営水道 大阪市営水道

## (1) 第5回拡張事業

本事業は、近年における給水人口及び水需要の停滞から、事業の見直しを実施し、計画給水人口133,000人、計画1日最大給水量64,000m<sup>3</sup>で執行しています。

主な事業概要

### ①配水方式の変更

東部配水場からのポンプ加圧方式を、大阪広域水道企業団の受水圧力を利用して揚水（ブースターポンプを設置）し、東部第二配水場からの自然流下方式に改める。

### ②「安定・安全な水」の供給のための施設

配水池貯留時間を現行の8時間から12時間に改める。

耐震対策・赤水対策として、耐震施設の築造、老朽管の布設替えを図る。

給水条件の均等化・水源の相互運用を図るため、配水管の管網整備を図る。

事業執行にあたっては、ランニングコストの削減、災害に強い、環境にやさしい施設造りを目指すものです。

### ・事業概要

第 5 回 拡 張 事 業			
拡 張 事 業 内 容	送水ポンプ場 3ヶ所	配水管 34,591m	
	送水管 1,110m	φ800mm× 415m	
	φ600mm×400m	φ600mm× 5,450m	
	φ400mm×640m	φ500mm× 2,960m	
	φ200mm× 70m	φ400mm× 1,430m	
		φ300mm× 2,105m	
		φ200mm× 881m	
配水池	8,000m <sup>3</sup> ×1池	φ150mm×10,996m	
	6,000m <sup>3</sup> ×1池	φ100mm×10,354m	
		用地買収 2,282m <sup>2</sup>	
		用地造成 4,782m <sup>2</sup>	
	耐震性緊急貯水槽 (100m <sup>3</sup> ) 1基		
年 月 日	申請年月日	平成3年1月18日 (大東水第2633号)	
	認可年月日	平成3年3月30日 (厚生省生衛第325号)	
	工事着手年月日	平成3年4月1日 事業継続中	
事業費	7,000,000,000円		
基 本 計 画	給水人口	133,000人	(※認可値 141,000人)
	1日最大給水量	64,000m <sup>3</sup>	(※認可値 70,000m <sup>3</sup> )
	一人1日最大給水量	481ℓ	(※認可値 496ℓ)

### ・本年度拡張工事内容

<主たる事業>

- ・大阪生駒線配水管布設工事 (R 3 - 1)  
(G X形耐震管) φ200mm×198m
- ・大阪生駒線配水管布設工事 (R 3 - 2)  
(G X形耐震管) φ200mm×215m

## (2) 管路更新事業

厚生労働省では、「水道施設の耐震化の計画的実施について（平成20年4月8日健水発第0408002号）」において、既存の水道施設の耐震化に関し、「災害時に重要な拠点となる病院、診療所、介護や援助が必要な災害時要援護者の避難拠点など、人命の安全確保を図るために給水優先度が特に高いものとして地域防災計画等へ位置づけられている施設へ給水する管路については、優先的に耐震化を進める。」としています。また、新水道ビジョン（平成25年3月厚生労働省策定）においては、重要給水施設配水管路の耐震化を優先して推進することを掲げています。

本市においても、平成30年度から10年計画で大東市地域防災計画で避難所に指定されている8中学校や災害医療協力病院、市役所、消防署などの重要施設へ、災害時においても生活用水を確保するため、配水池から各重要施設への配管ルートを優先的に耐震化しています。

### ・本年度工事内容

令和3年度は、各配水場から大東中学校・仁泉会病院・諸福中学校・南郷中学校・谷川中学校までの配水管及び深野中学校内の配水管を耐震管に布設替えしました。

#### <事業一覧>

- ・南郷中学校前線配水管布設替工事（R3-1）  
GX形耐震管 φ150mm×153m
- ・氷野鴻池線配水管布設替工事（R3-1）  
GX形耐震管 φ150mm×262m
- ・氷野鴻池線配水管布設替工事（R3-2）  
GX形耐震管 φ150mm×337m
- ・灰塚中央線配水管布設替工事（R3-1）  
GX形耐震管 φ300mm×233m
- ・諸福中学校前線配水管布設替工事（R3-1）  
GX形耐震管 φ150mm×107m
- ・深野中学校内配水管布設替工事（R3-1）  
NS形耐震管 φ600mm×31m
- ・谷川1号線配水管布設替工事（R3-1）  
GX形耐震管 φ150mm×142m
- ・四条南小学校北側線導水管布設替工事（R3-1）  
NS形耐震管 φ600mm×170m



四条南小学校北側線導水管布設替工事  
(R3-1)

野崎四丁目地内  
GX形耐震管 φ600mm

灰塚中央線配水管布設替工事  
(R 3 - 1)

灰塚三丁目地内  
G X 形耐震管  $\phi 300\text{mm}$



### (3) 老朽管更新事業

平成21年度から、ライフライン強化のため老朽管更新事業に本格的に着手しました。本事業につきましては、布設後40年以上経過している配水支管（給水分岐されている配水管）を優先して布設替えを行っています。

・本年度工事内容

令和3年度は、新田西町地内(昭和41年)の配水管を耐震管に布設替えしました。

<事業一覧>

- ・新田西町地内配水管布設替工事 (R 3 - 1)  
G X 形耐震管  $\phi 150\text{mm} \times 25\text{m}$

#### (4) IT（情報技術）の活用

##### ① 水道施設情報システム

平成9年度から水道管管理情報システムの構築を始め、基図・戸番図の作成、各種台帳・図面のファイリングを行い、平成12年10月より運用しています。

また、継続した各種台帳・図面のファイリングおよびデータ修正と共に、検針データを定期的に取り組むことにより、変更の多い水道メータ情報も常に最新の状態に管理しています。

これにより、窓口業務での施設情報の表示、検索などに迅速に対応しています。

##### ② 設計・積算支援システム

平成13年4月から設計積算支援システムを導入し、設計図面作成、数量計算、設計書作成の効率化を図っています。

##### ③ 給水装置工事受付システム

平成22年度の電算処理システム変更に伴い、給水装置工事受付システムを平成22年3月末から導入しています。



機 器 構 成	台 数
<b>1. マッピングシステム及びファイリングシステム</b>	
(1) サーバ及びサーバ周辺機器	
①サーバ (Express5800/R120h-1E)	1台
②サーバ (Express5800/R120h-2E)	1台
③バックアップデータカートリッジ	1台
④無停電電源装置	2台
⑤17型ディスプレイ	1台
(2) クライアント及びクライアント周辺機器	
①パソコン	5台
②21.5型ワイドフルHD液晶ディスプレイ	4台
③23.0型フルHD液晶ディスプレイ	1台
<b>2. 設計積算CADシステム</b>	
(1) パソコン	4台
(2) 21.5型ワイドフルHD液晶ディスプレイ	4台

機 器 構 成	台 数
3. 給水装置工事受付システム (1) サーバ及び周辺機器 ①サーバ (Express5800/R120h-1E) ②無停電電源装置	   1台 1台
4. その他周辺機器及び入出力装置 (1) A1サイズ複合プリンタ (2) A1サイズカラープロッタ	 1台 1台

## 2 事業の推移

年月日	拡張事項	主な事項
(昭和4年度) S4.10.6		・住道上水株式会社設立の件申請
(昭和5年度) S5.9.3 S6.3.2 S6.3.6		・住道上水株式会社設立の件許可(大阪府指令土道第1128号) ・住道上水株式会社設立期限伸張の件申請 ・住道上水株式会社設立期限伸張の件認可(大阪府指令土道第1128号)
(昭和6年度) S6.5.24 S6.7.6 S6.7.20 S6.10.19		・住道上水株式会社設立 ・住道上水株式会社工事着手 ・水道使用規則に関する件申請 ・水道使用規則に関する件認可(大阪府指令土道第1128号)
(昭和7年度) S7.5.5 S7.5.6 S7.5.23 S7.5.24		・通水開始の件申請 ・住道上水株式会社工事完成 ・水道工事出来高の件申請 ・通水開始の件認可(大阪府指令土道第472号) ・水道工事出来高の件認可(大阪府指令土道第474号) ・通水開始
(昭和11年度) S12.1.1		・住道町制の施行
(昭和24年度) S24.5.10 S24.6.13 S24.7.1		・町営移管の件申請 ・町営移管の件認可(大阪府指令土道第591号) ・料金改定実施
(昭和25年度) S25.12.13 S26.1.17	・第1回拡張事業の件申請(住水第123号) ・第1回拡張事業の件認可(大阪府指令土道第1763号)	
(昭和26年度) S26.7.1		・大阪府営水道受水開始
(昭和27年度) S27.7.1	・第1回拡張事業着手	
(昭和28年度) S28.4.1 S29.3.31	・第1回拡張事業完成	・料金改定実施

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
(昭和29年度) S29.7.1 S30.1.1	・第2回拡張事業の件申請(住水第401号)	・料金改定実施
(昭和30年度) S30.4.1 S30.5.27 S30.10.1	・第2回拡張事業の件認可(厚生省阪衛第270号) ・第2回拡張事業着手	・大阪府営水道料金改定(12.50円/m <sup>3</sup> )
(昭和31年度) S31.4.1		・大東市制の施行
(昭和33年度) S33.7.1 S34.3.19 S34.3.30	・第2回拡張変更事業の件申請 ・第2回拡張変更事業の件認可(厚生省阪衛第628号)	・城東水道組合が解散し本市と河内市に分轄統合
(昭和34年度) S34.4.1 S34.9.1	・第2回拡張変更事業着手	・料金改定実施
(昭和36年度) S36.4.1		・地方公営企業法の財務規定一部適用
(昭和37年度) S37.9.1		・料金改定実施・予納金制度実施
(昭和39年度) S39.11.27 S39.12.21 S40.2.18 S40.3.31	・第3回拡張事業の件申請 ・第3回拡張事業の件認可(厚生省収環第519号) ・第2回拡張事業完成	・委託集金制度採用(私人委託)
(昭和40年度) S40.4.1	・第3回拡張事業着手	・地方公営企業法の全部適用(水道局発足) ・大阪府営水道料金改定(16.00円/m <sup>3</sup> )
(昭和41年度) S41.4.1 S42.3.31	・東部第二配水場及び加圧ポンプ場竣工(旧. 寺川配水場)	・料金改定実施
(昭和42年度) S42.6.1		・郵便局口座振替制度採用 ・ダクタイル鋳鉄管採用
(昭和43年度) S43.4.1 S43.8.1		・自主納付制度採用 ・大阪市営水道分水料金改定(16.00円/m <sup>3</sup> )

年月日	拡張事項	主な事項
(昭和45年度) S45.4.1 S45.10.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>銀行口座振替制度採用</li> <li>委託検針制度採用(法人委託)</li> </ul>
(昭和47年度) S47.7.13 S47.9.17 S48.1.5 S48.3.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和47年7月豪雨による浸水(被災者に対する減免措置)</li> <li>台風20号による浸水(被災者に対する減免措置)</li> <li>地下水涵養実験開始</li> <li>大阪市営水道分水料金改定(25.00円/m<sup>3</sup>)</li> </ul>
(昭和48年度) S48.7.31 S48.8.15 S48.8.16 S48.9.4 S48.9.5 S48.11.5.		<ul style="list-style-type: none"> <li>琵琶湖異常渇水により淀川の第1次取水制限始まる(上水道10%、工業用水道15%)</li> <li>琵琶湖異常渇水により淀川の第2次取水制限始まる(上水道15%、20日から20%、工業用水道25%)</li> <li>第2次取水制限から第1次取水制限に一時緩和</li> <li>第2次取水制限(大阪府営水道・大阪市営水道)始まる</li> <li>第2次取水制限から第1次取水制限に緩和</li> <li>第1次取水制限解除</li> </ul>
(昭和49年度) S49.6 S49.10 S49.10.15 S49.11.1 S49.12.1 S50.2.28 S50.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水代替導水管布設工事着手</li> <li>第4回拡張事業の件申請(大東水第115号)</li> <li>第4回拡張事業の件認可(厚生省環第338号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水涵養実験終了</li> <li>大阪府営水道料金改定(19.70円/m<sup>3</sup>)</li> <li>加入金制度実施</li> <li>全井停止</li> <li>料金改定実施・電算機導入</li> <li>下水道使用料徴収事務受託</li> </ul>
(昭和50年度) S50.4.1 S50.8.26 S50.9.1 S50.10.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回拡張事業着手</li> <li>地下水揚水休止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風6号、8月6～7日豪雨による浸水(被災者に対する減免措置)</li> <li>大阪市営水道分水料金改定(50.00円/m<sup>3</sup>)</li> </ul>
(昭和51年度) S51.4.30 S51.7.1 S51.7.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>府水深野分岐取水開始</li> <li>中垣内分岐廃止</li> <li>五軒堀分岐廃止</li> <li>東部配水場通水開始</li> </ul>	

年月日	拡張事項	主な事項
S51.10.1		・郵便物の料金後納制度利用開始
S51.11.1		・大阪府営水道料金改定(29.70円/m <sup>3</sup> )
S52.3.31		・料金改定実施 ・集金制度廃止
(昭和52年度)		
S52.4.1		・全市内納付制度実施
S52.8.26		・伝票会計方式を採用
S52.10.1		・琵琶湖異常渇水(-41cm)により府営水道の給水制限始まる(上水道10%、工業用水道15%)
S52.11.10		・大阪府営水道料金改定(43.70円/m <sup>3</sup> )
S52.12.1		・機構改革実施
S53.1.1		・テープ交換による銀行口座振替制度実施
S53.1.7		・料金改定実施(平均改定率20.4%)
S53.2.14		・第1次取水制限解除
S53.3.1	・東部配水池増設工事着手	・検針カードによる口座振替済通知を実施
S53.3.31	・第3回拡張事業完成 ・地下水代替導水管布設工事竣工	
(昭和53年度)		
S53.8.31	・東部配水池増設工事竣工	
S53.9.1		・琵琶湖異常渇水(-50cm)により府営水道の給水制限始まる(上水道10%、工業用水道15%)
S53.10.1		・大阪府営水道料金改定(48.70円/m <sup>3</sup> )
S53.10.23		・料金改定実施(平均改定率4.7%)
S54.2.9		・琵琶湖水位(-61cm) ・取水制限解除
(昭和54年度)		
S54.4.1		・市外給水区域(寝屋川市河北)を寝屋川市へ返還
S54.11.1		・地域別集中検針実施
(昭和55年度)		
S55.6.2	・龍間地区給水のための送水管布設工事着手	
S55.10.1		・RJE稼働開始(OCR)
S56.2.26		・オンラインシステム開始(市情報管理課と水道局) ・異常低温による凍結対策(応急措置件数) 2月26日 直営 887件 } 2,906件 3月6日 業者 2,019件
(昭和56年度)		
S56.9.1		・異形管粉体塗装採用

年月日	拡張事項	主な事項
S57.2.9	・ 東部第三配水場築造工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道事業用無線局開局</li> <li>・ 地下水揚水用5、6、7、9、10号井廃止</li> </ul>
S57.3.18	・ 東部第四配水場築造工事	
S57.3.30	・ 灰塚配水場管理棟工事	
S57.3.31	・ 南谷配水池築造工事	
(昭和57年度)		
S57.5.24	・ 東部第四配水場通水開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大東市水道通水50周年並びに龍間地区通水記念式典</li> <li>・ テープ交換による郵便局口座振替開始</li> <li>・ 沈殿池、濾過池、気曝槽など除去</li> </ul>
S57.6.1		
S57.8.10		
S58.3.31	・ 灰塚配水池4,500m <sup>3</sup> 増設工事 ・ 東部第五配水場築造工事	
(昭和58年度)		
S58.4.19	・ 東部第三配水場直送開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部第五配水場完成並びに野外活動センター通水記念式典</li> <li>・ ガスクロマトグラフECD表示付導入(トリハロメタンの測定開始)</li> <li>・ オフコン(システム100/85)導入</li> <li>・ オフコン稼働開始(下水オンライン)(会計・設計業務)</li> <li>・ 異常低温対策本部設置(凍結による応急措置件数) 2月7日 直営 500件 } 972件 ～9日 業者 472件 }</li> </ul>
S58.6.7		
S58.10.1		
S58.11.1		
S58.12.26	・ 灰塚配水場増設工事着手	
S59.2.8		
(昭和59年度)		
S59.5.30	・ 灰塚配水場増設工事竣工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機構改革実施</li> <li>・ 大阪府営水道料金改定(57.20円/m<sup>3</sup>)</li> <li>・ 大阪市営水道分水料金改定(55.00円/m<sup>3</sup>)</li> <li>・ 琵琶湖異常渇水(-55cm)により淀川の第1次取水制限始まる(上水道10%,工業用水道12%)</li> <li>・ 「大東市渇水対策本部」の設置</li> <li>・ 琵琶湖異常渇水(-75cm)により淀川の第2次取水制限始まる(上水道20%,工業用水道22%)</li> <li>・ 琵琶湖水位-90cm史上第2位</li> <li>・ 琵琶湖水位-95cm(今期渇水最低水位)</li> <li>・ 「渇水対策本部」から「水道対策部」に縮小</li> <li>・ 第2次取水制限から第1次取水制限に緩和</li> <li>・ 渇水対策の「水道対策部」を解散</li> <li>・ 取水制限56日ぶりに全面解除</li> </ul>
S59.7.10		
S59.10.1		
S59.10.8		
S59.11.1		
S59.11.6		
S59.12.2		
S60.1.26		
S60.2.1		
S60.3.1		
S60.3.12		

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
S60.3.31		・ 節水活動が本格化した昭和59年11月～昭和60年3月までの5ヶ月間の配水量と前年同期の配水量と対比した場合、7.5%減となった。
(昭和60年度) S60.4.1 S61.1.1 S61.3.4	・ 東部第三配水池600m <sup>3</sup> 増設工事	・ 管理者制度発足 ・ 料金改定実施(平均改定率10.2%)
(昭和61年度) S61.10.17 S61.11.28 S61.12.28 S62.1.27 S62.2.10		・ 琵琶湖異常渇水(-59cm)により淀川の第1次取水制限始まる(上水道10%、工業用水道12%) ・ 琵琶湖異常渇水(-81cm)により淀川の第2次取水制限始まる(上水道20%、工業用水道22%) ・ 12月28日から4日間取水制限緩和(上水道20%から15%) ・ 第2次取水制限から第1次取水制限に緩和 ・ 取水制限116日ぶりに全面解除
(昭和62年度) S62.4.1 S62.10.1 S62.11.1		・ 給水引き込み管の管種を鉛管からHIVPに変更 ・ オフコンの機種変更(システム3100モデル60) ・ 料金調定収納業務稼働
(昭和63年度) S63.9.24 S63.10.1	・ 管末圧力監視装置設置	・ 水道管漏水調査実施
(平成元年度) H元.4.1 H2.1.1		・ 消費税法適用(但し本市は未転嫁) ・ 大阪府営水道料金消費税(外税)導入 ・ 大阪市営水道分水料金消費税(外税)導入 ・ 市納金(給水工事費)の予納に関する事務手続変更
(平成2年度) H2.4.1 H3.1.1 H3.1.18 H3.3.30 H3.3.31	・ 第5回拡張事業の件申請(大東水第2633号) ・ 第5回拡張事業の件許可(厚生省生衛第325号) ・ 第4回拡張事業完成 ・ 南谷配水池廃止	・ ハンディターミナルによる計量業務開始 ・ 給水装置工事許可申請受付業務のOA化
(平成3年度) H3.4.1		・ 給水装置工事許可申請等の様式全面変更

年月日	拡張事項	主な事項
H3.6.1 H3.7.16 H3.8.26 H4.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回拡張事業着手</li> <li>・府営水道新灰塚分岐開栓</li> <li>・東部第二高区配水場建設用地買収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4週6休制施行</li> <li>・琵琶湖総合開発特別措置法による琵琶湖治水及び水資源開発事業が概成(琵琶湖水位-150cmまで利用可能となる)</li> </ul>
(平成4年度) H4.4.1 H4.7.10 H4.8.1 H4.12.28 H5.1.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部第二高区配水場築造工事着手</li> <li>・府道・高槻橋本線配水管布設工事その1・2竣工</li> <li>・市道・野崎7号線他配水管布設替工事竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検針業務全面委託</li> <li>・オフコンの機種変更(システム3100モデルA95)</li> </ul>
(平成5年度) H5.4.1 H5.6.1 H5.7.1 H5.10.15 H5.12.1 H6.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部第二高区配水幹線布設工事(第1・2工区)竣工</li> <li>・東部第二高区配水場築造工事竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府営水道料金改定(74.50円/m<sup>3</sup>・外税)</li> <li>・大阪市営水道分水料金改定(74.00円/m<sup>3</sup>・外税)</li> <li>・料金改定実施(平均改定率24.7%)</li> <li>・水質基準改定・大阪府市町村水道水質共同検査委託実施</li> </ul>
(平成6年度) H6.4.1 H6.7.2 H6.8.22 H6.9.3 H6.9.5 H6.9.10 H6.10.4 H6.11.14 H7.1.1 H7.1.17 H7.1.18~3.10 H7.3.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部第二高区配水場運用開始</li> <li>・都市計画道路・諸福中垣内線配水管布設工事竣工</li> <li>・府道・八尾枚方線配水管布設工事竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外給水区域(東大阪市加納)を東大阪市へ返還</li> <li>・琵琶湖異常渇水(-94cm)により府営水道第1次取水制限(10%)</li> <li>・琵琶湖異常渇水(-103cm)により府営水道第2次取水制限(15%)</li> <li>・大東市渇水対策本部設置</li> <li>・琵琶湖異常渇水(-116cm)により府営水道第3次取水制限(20%)</li> <li>・取水制限全面解除</li> <li>・水道料金納入通知書などにプライバシー保護のため三つ折はがき採用</li> <li>・阪神淡路大震災</li> <li>・阪神淡路大震災被災地(兵庫県西宮市)へ応急給水班・施設復旧班を派遣</li> </ul>
(平成7年度) H8.2.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・南廻りループ配水幹線布設工事着手</li> </ul>

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項		
H8.3.13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御領土地区画整理事業に伴う配水管布設工事竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SⅡ形・S形耐震管採用</li> <li>・東部第三配水場送水ポンプ容量増設(18.5KW/h→45KW/h)</li> </ul>		
H8.3.15				
H8.3.29			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ループ配水幹線布設工事(第1工区)φ600mm×91m</li> </ul>	
(平成8年度)				
H8.5.21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部配水場内送配水管施設改良工事(管工事)</li> <li>・南廻りループ配水幹線配水管布設工事(第2・4～7工区)φ600mm×520m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策事業工事着手</li> <li>・規制緩和を内容とする水道法の一部改正</li> <li>・灰塚配水場内応急給水栓設置(災害対策用)</li> <li>・大東市病原性大腸菌O-157対策本部設置</li> <li>・異常低温凍結事故対策本部設置 1月22日 直営 323件 } 540件 ～23日 業者 217件 }</li> <li>・大阪府水道震災対策相互応援協定締結</li> </ul>		
H8.6.26				
H8.7.1				
H8.7.24				
H9.1.22				
H9.3.24				
H9.3.24				
H9.3.31				
(平成9年度)				
H9.4.1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道管管理情報システム導入着手</li> <li>・南廻りループ配水幹線推進工事(第B工区)他配水管布設工事φ600mm×277m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三階直圧給水試験的導入取扱要綱を制定、実施</li> <li>・三階直圧給水試験的導入指導基準を制定、実施</li> <li>・給水引き込み管の管種をHIVPからPPに変更</li> <li>・公共工事などに係る入札結果を広報誌に掲載</li> </ul>
H9.7.9				
H9.10.1				
H10.3.25				
(平成10年度)				
H10.4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南廻りループ配水幹線布設工事(第8～10工区)φ600mm×408m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税率改定(3%→5%)</li> <li>・料金改定実施(消費税転嫁(外税)による改定平均改定率1.8%)</li> <li>・加入金について消費税外税化</li> <li>・水道法の一部改正に伴う指定工事業者制度実施</li> <li>・大阪府営水道高度浄水処理水供給開始</li> <li>・オフコン機種変更(Express5800モデル670AD)</li> <li>・安全対策事業工事完了</li> </ul>		
H10.7.22				
H11.3.8				
H11.3.10				
H11.3.31				
(平成11年度)				
H11.4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恩智川水管橋架設工事φ600mm×37m</li> <li>・南廻りループ配水幹線(第13工区)布設工事φ600mm×162m</li> <li>・府水との災害対策管設置(産大前)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストア(ローソン・ファミリーマート)、郵便局での料金収納取扱実施</li> </ul>		
H11.5.10				
H11.6.30				
H11.8.5				

年月日	拡張事項	主な事項
H12.2.15 H12.2.20 H12.2.29 H12.3.15～ 3.17 H12.3.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南廻りループ配水幹線推進工事(第A工区)φ600mm×77m</li> <li>・鍋田川水管橋架設工事φ600mm×37m</li> <li>・太子田橋架設工事他φ400mm×90m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部第四・五配水場潜水工法による配水池清掃</li> <li>・ 大阪市営水道高度浄水処理水の全給水区域通水</li> </ul>
(平成12年度) H12.7.10 H12.9.9 H12.9.18 H12.10.1 H12.12.1 H13.2.4 H13.2.11 H13.2.23 H13.3.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道管管理情報システム運用開始</li> <li>・南廻りループ配水幹線推進工事(第C～D工区)φ600mm×143m</li> <li>・太子田橋梁添架管接合工事他φ400mm×154m</li> <li>・南廻りループ配水幹線(第11～12工区及び第14工区)布設工事φ600mm×412m</li> <li>・設計積算システム構築業務竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機構改革(係制の廃止)</li> <li>・琵琶湖異常渇水(-95cm)により府営水道第1次取水制限(10%)</li> <li>・取水制限解除(琵琶湖水位-50cm)</li> <li>・大阪府営水道料金改定(88.10円/m<sup>3</sup>・外税)</li> <li>・ホームページの開設〔ようこそ大東の水道へ〕</li> </ul>
(平成13年度) H13.4.1 H13.4.2 H13.7.1 H13.9.7 H14.3.8 H14.3.18 H14.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計積算システム運用開始</li> <li>・南廻りループ配水幹線(第15～16工区)布設工事φ600mm×280m</li> <li>・耐震性緊急貯水槽100m<sup>3</sup>×1基設置</li> <li>・老朽管更新事業(市道・三住扇町線他)竣工φ150mm×1,520m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料金改定実施(平均改定率11.6%)</li> <li>・水道予納金制度廃止</li> <li>・加入金改定実施</li> <li>・灰塚配水場における宿日直業務を全面委託</li> <li>・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の施行による発注の見直し及び入札・契約に係る情報の公表などの実施</li> <li>・四條畷市水道局と相互応援給水協定締結</li> <li>・企業手当廃止</li> </ul>
(平成14年度) H14.4.1 H14.6.28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5回拡張事業の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市営水道分水料金改定(H14.4.1～84.00円/m<sup>3</sup>・外税)</li> <li>・漏水減免規定の細目の改正</li> <li>・門真市水道局と相互応援給水協定締結</li> </ul>

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
H14.7.15 H14.10.30 H14.11.1 H14.12.2 H14.12.12 H15.2.25 H15.3.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接市との相互連絡管工事(門真市)</li> <li>・隣接市との相互連絡管工事(寝屋川市)</li> <li>・老朽管更新事業(府道・大東四條畷線他)竣工φ150mm×586m φ200mm×196m</li> <li>・御領4丁目地内区域外給水解消工事φ150mm×786m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事に係る資材の再資源化などに関する法律の施行による契約事務手続などの変更</li> <li>・納入通知書などの形式変更(封書タイプからはがき)</li> <li>・寝屋川市水道局と相互応援給水協定締結</li> </ul>
(平成15年度) H15.4.1 H15.6.25 H15.8.1 H15.10.1 H15.11.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南廻りループ配水幹線(第17～18工区)布設工事φ600mm×288m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水場運転管理業務の一部委託化</li> <li>・市内転居者の口座振替継続受付開始</li> <li>・コンビニエンスストア・収納窓口の拡大(2社から18社に)</li> <li>・検針用ハンディ及びシステム更新</li> <li>・「水道ご使用量のお知らせ」様式変更</li> </ul>
(平成16年度) H16.11～ H17.1 H17.2.7 H17.3.1 H17.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸福中垣内線配水管布設工事NS形耐震管φ150mm×558m</li> <li>・老朽管更新事業(旧国道170号線)SⅡ形耐震管φ200mm×409m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全域漏水調査の実施</li> <li>・東大阪市水道局と相互応援給水協定締結</li> <li>・水質検査計画の策定、公表</li> <li>・NS形耐震管採用</li> </ul>
(平成17年度) H17.4.1 H17.9.1 H17.11.1 H18.2.27 H18.3.20 H18.3.21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南廻りループ配水幹線(第19-1工区)布設工事φ600mm×73m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全戸検針実施(閉栓中メーターを検針)</li> <li>・設計積算、管路管理情報システムのハードウェア更新</li> <li>・配水場運転管理業務の全面委託</li> <li>・納付書等のバーコードをEANコードに変更</li> <li>・緊急給水拠点確保事業実施(灰塚配水場内緊急遮断弁設置)</li> </ul>
(平成18年度) H18.4.1 H18.7.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部第二配水場建設等工事着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直結増圧式給水試行要綱の制定施行</li> <li>・口座振替データのオンライン伝送開始</li> </ul>

年月日	拡張事項	主な事項
H18.10.5		・門真市水道局と相互応援給水協定締結(三箇4丁目)
H18.10.10		・郵便入札制度開始
H18.11.14		・東部第五配水場緊急遮断弁設置
H18.11.22		・東部第二配水区域(自然流下)を東部第二高区配水区域(自然流下)に変更
H18.12.22		・東部第二配水区域(自然流下)を廃止
H18.12.27	・隣接市との相互連絡管工事(門真市)	
H19.3.19	・南廻りループ配水幹線(第19-2～第22工区・第27工区)布設工事φ600mm×585m	
(平成19年度)		
H19.4.3		・東部第二配水場新管理棟運用開始(旧管理棟及び配水池(1,800m <sup>3</sup> )運用停止)
H19.7.26		・AED(自動体外式除細動器)灰塚配水場に設置
H19.9.1		・東部配水場ポンプ室内アスベスト除去工事
H19.10.29		・東部第四配水場 緊急遮断弁設置
H20.2.19	・旧170号線配水管改設工事 NS形耐震管φ200mm×91.5m	
H20.3.18	・諸福中垣内線配水管布設工事 NS形耐震管φ150mm×484m	
H20.3.21	・市道・氷野東西線配水管布設工事 NS形耐震管φ300mm×239m	
H20.3.24	・南廻りループ配水幹線(第25工区・第26工区)布設工事φ600mm×235m	
(平成20年度)		
H20.5.1		・給与振込データのオンライン伝送開始
H20.6.11		・東部第二配水池の運用配水調整弁(φ800mm)運用
H20.8.1		・東部第二配水場内緊急遮断弁設置
H20.10.1		・大東市役所玄関ドライ型ミスト装置設置
H20.10.1		・灰塚配水場中央管理センター運用開始(東部第二配水場の新配水池からの運用開始)
H20.11.10	・灰塚2丁目地内配水管布設工事 NS形耐震管φ300mm×52m	
H20.11.17		・第1回指定給水装置工事事業者研修会(於東大阪市)の実施
H20.11.28	・大野2丁目配水管布設工事 NS形耐震管φ150mm×108m	
H20.12.8	・氷野1丁目地内配水管布設工事 NS形耐震管φ300mm×128m	
H20.12.8	・扇町地内配水管布設工事 NS形耐震管φ400mm×96m	
H20.12.19	・南廻りループ配水幹線布設工事(第23・24工区)φ600mm×136m	・南廻りループ配水幹線布設完了(総延長3,760m)
H20.12.24	・諸福中垣内線配水管布設工事(第9工区・第10工区) NS形耐震管φ150mm×229m	

年 月 日	拡 張 事 項	主 な 事 項
H21.2.19		・第2回指定給水装置工事事業者研修会(於守口市)の実施
H21.3.18	・ 東部第二配水場建設等工事完了	
H21.3.20		・ 東部配水場内に大東市消防署東分署を併設
H21.3.23	・ 市道片町線附属街路南側2号線配水管布設工事 N S 形耐震管 φ 150mm×75m	
H21.3.25		・ 灰塚配水場管理棟耐震補強工事
年 月 日	主 要 工 事	主 な 事 項
(平成21年度)		
H21.4.1		・ 建物内喫煙禁止 ・ 老朽管更新事業本格的着手 ・ 機構改革(料金課をお客さまセンターに改称し、工務課の給水グループを吸収。配水場を工務課と統合し、施設課に改称。3課1配水場→2課1センター) ・ 通勤用車両の敷地内駐車を有料化
H21.5.11	・ 府道八尾枚方線配水管布設工事(その7)	
H21.9.1		・ 休憩時間(12:45～13:00)を廃止
H21.10.1		・ 大阪市営水道分水料金改定(70円/m <sup>3</sup> ・税抜)
H21.12.1		・ 滞納整理業務全面委託
H21.12.15	【老朽管更新事業】 ・ 府道大阪生駒線配水管布設替工事 N S 形耐震管 φ 150mm～φ 300mm×39m	
H22.1.21		・ 東部大阪水道協議会水道災害時相互応援協定締結(東水協会員9市)
H22.3.20		・ 給水工事受付システム構築
H22.3.25	【老朽管更新事業】 ・ 市道灰塚大野南北線配水管布設替工事 N S 形耐震管 φ 100mm～φ 600mm×285m	
H22.3.31	【老朽管更新事業】 ・ 市道灰塚大野東西線配水管布設替工事 N S 形耐震管 φ 100mm～φ 300mm×347m	・ 全石綿管布設替完了
(平成22年度)		
H22.4.1		・ 新公営企業会計システム稼働 ・ 大阪府営水道分水料金改定(78円/m <sup>3</sup> ・税抜) ・ 新料金システム稼働 ・ 給水工事受付システム稼働 ・ 料金改定実施(平均改定率-4.7%)
H22.10.1		
H22.10.4	【老朽管更新事業】 ・ 市道太子田萱島線配水管布設替工事 N S 形耐震管 φ 300mm×698m 【老朽管更新事業】 ・ 府道大阪生駒線配水管布設替工事 N S 形耐震管 φ 300mm×222m	

年月日	主要工事	主な事項
H22.11.2 H23.1.20 H23.3 H23.3.11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪広域水道企業団の設立許可(構成団体：37市町村)</li> <li>・大阪広域水道企業団の構成団体の追加及び規約の変更許可(構成団体：37→42市町村)</li> <li>・アセットマネジメントの導入</li> <li>・東日本大震災発生、岩手県陸前高田市に給水応援を派遣</li> </ul>
(平成23年度) H23.4.1  H23.9.5 H23.10.4  H23.12.1  H23.12.19  H24.2.17	 【老朽管更新事業】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道太子田萱島線配水管布設替工事 NS形耐震管φ300mm×239m</li> </ul> 【老朽管更新事業】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道新田中央線配水管布設替工事 NS形耐震管φ200mm×207m</li> </ul> 【老朽管更新事業】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道北条寺川線配水管布設替工事 NS形耐震管φ200mm×367m</li> </ul> 【老朽管更新事業】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道大野灰塚線配水管布設替工事 NS形耐震管φ150mm×240m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪広域水道企業団事業開始</li> <li>・大東市水道局直結増圧式給水実施要綱制定施行</li> <li>・直結増圧式給水設計施工指針制定</li> <li>・大阪広域水道震災対策相互応援協定締結(大阪市を除く府域42市町村の水道事業者及び泉北水道企業団、大阪広域水道企業団、大阪府)</li> <li>・灰塚配水場管理棟別館築造</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口座振替日の変更(14日→16日)</li> <li>・残高不足による振替不能の全件を対象に再振替を実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定給水装置工事事業者研修会(府統一型ブロック別開催、於守口市の実施)</li> </ul>
(平成24年度) H24.4.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道部の創設</li> <li>○水道局               <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道部(局の内部組織)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課</li> <li>・お客さまセンター</li> <li>・施設課</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○市長部局               <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道部(水道局との重複組織)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道課(街づくり部から移管水道局敷地内に移転)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

年 月 日	主 要 工 事	主 な 事 項
H24.8.1	【老朽管更新事業】 ・北条寺川線配水管布設替工事(H24-1) NS形耐震管φ200mm×91m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加圧式小型給水車(容量1.8t)1台配備</li> <li>・水質監視モニター設備設置(東部第二配水系中間)</li> </ul>
H25.1.21	【老朽管更新事業】 ・氷野太子田線配水管布設替工事(H24-1～2) NS形耐震管φ300mm×445m	
H25.1.23	【老朽管更新事業】 ・大阪生駒線配水管布設替工事(H24-1) NS形耐震管 φ300mm×146m	
H25.3.21		
H25.3.31		
(平成25年度)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東市水道料金等徴収業務委託(H25.4.1～H28.3.31) 検針・開閉栓・滞納整理に窓口を加えた包括委託</li> <li>・大阪広域水道企業団給水料金改定(75円/m<sup>3</sup>・税抜き)</li> <li>・灰塚配水場ポンプ室築造等工事着手</li> <li>・四條畷市上下水道局と相互応援給水協定締結</li> <li>・灰塚配水場内配水池(1,000m<sup>3</sup>)を廃止</li> </ul>
H25.4.1		
H25.9.26		
H25.10.23	【老朽管更新事業】 ・新田2号線配水管布設替工事(H25-1～2) NS形耐震管φ150mm×481m	
H25.10.25	【老朽管更新事業】 ・三年坂会所橋線配管布設替工事(H25-1～2) NS形耐震管φ150mm×613m	
H26.3.4		
H26.3.17	【老朽管更新事業】 ・太子田萱島線配水管布設替工事(H25-1) NS形耐震管φ300mm×241m	
H26.3.31		
(平成26年度)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新会計制度適用</li> <li>・消費税率改定(5%→8%)</li> <li>・指定給水装置工事事業者研修会(府統一型ブロック別開催、於枚方市の実施)</li> </ul>
H26.4.1		
H26.7.16		
H26.10.23	【老朽管更新事業】 ・深野南寺方大阪線配水管布設替工事(H26-1～2) NS形耐震管φ200mm×525m	
H26.11.4	【老朽管更新事業】 ・国道170号線配水管布設替工事(H26-1～2) NS形耐震管φ200mm×555m	
H27.2.20	【老朽管更新事業】 ・扇町地内配水管布設替工事(H26-1) NS形耐震管φ150mm×315m	

年月日	主要工事	主な事項
H27.3.16	【老朽管更新事業】 ・新田2号線配水管布設替工事(H26-1) N S形耐震管 φ150mm×170m	
H27.3.27		・灰塚配水場ポンプ室築造等工事完了
H27.3.31		・水質監視モニター設備設置 東部第二配水系末端・大阪市水系末端
(平成27年度)		
H27.4.1		・上下水道局の創設 総務課 お客さまセンター 水道施設課 下水道施設課
H27.5.12		・北条ポンプ場築造工事着手
H27.8.6	【老朽管更新事業】 ・諸福中垣内線配水管布設替工事(H27-1) G X形耐震管 φ200mm×308m	・G X形ダクタイル鋳鉄管採用
H27.9.10	【老朽管更新事業】 ・鴻池新田停車場線配水管布設替工事 (H27-1～2) G X形耐震管 φ200mm×96m φ150mm×60m	
H27.11.25	【老朽管更新事業】 ・野崎駅前線配水管布設替工事(H27-1) G X形耐震管 φ150mm×370m	
H28.3.6		・水質監視モニター設備設置 東部受水系・東部第四配水系末端
(平成28年度)		
H28.4.1		・大東市上下水道局お客さまセンターに係る 包括業務委託(H28.4.1～H31.3.31)
H28.7.15		・配水池屋上防水改修工事(東部第五配水場)
H28.8.1	【老朽管更新事業】 ・住道中垣内線配水管布設替工事(H28-1) G X形耐震管 φ300mm×200m	
H28.9.21	【老朽管更新事業】 ・八尾枚方線配水管布設替工事(H28-1) G X形耐震管 φ150mm×150m	
H28.12.8	【老朽管更新事業】 ・大阪生駒線配水管布設替工事(H28-1) G X形耐震管 φ300mm×135m	
H29.1.27		・4,500m <sup>3</sup> 配水池流動壁修繕工事(灰塚配水場)
H29.2.3	【老朽管更新事業】 ・太子田萱島線配水管布設替工事(H28-1) G X形耐震管 φ200mm×215m	

年 月 日	主 要 工 事	主 な 事 項
H29.3.28		<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水場送水ポンプ取替工事 東部第二配水場、東部第二高区配水場</li> <li>・水質監視モニター設備設置 東部第二高区南部系末端</li> </ul>
(平成29年度)		
H29.4.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子入札導入</li> </ul>
H29.5.31		<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水池屋上防水改修工事 (東部第四配水場)</li> </ul>
H29.9.6	<p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太子田福島線配水管布設替工事(H29-1) GX形耐震管φ150mm×230m</li> </ul>	
H29.10.6	<p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道170号線配水管布設替工事(H29-1) GX形耐震管φ300mm×158m</li> </ul>	
H29.10.23	<p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大東四條畷線配水管布設替工事(H29-1) GX形耐震管φ150mm×122m</li> </ul>	
H29.12.12	<p>【老朽管更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸福中垣内線配水管布設替工事(H29-1～2) GX形耐震管φ200mm×435m</li> </ul>	
H30.3.22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津の辺町地内配水管布設工事(H29-1) HPPE形耐震管φ100・150mm×112m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPPE管試験採用</li> </ul>
H30.3.30		<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質監視モニター設備設置 灰塚系受水</li> </ul>
(平成30年度)		
H30.4.1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪広域水道企業団料金改定(72円/m<sup>3</sup>・税抜き)</li> </ul>
H30.5.31		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPPE管本格採用(φ150mmまで)</li> </ul>
H30.6.18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北条ポンプ場完成(試験運用開始)</li> </ul>
H30.6.20		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪北部地震発生</li> <li>・大阪北部地震に伴う高槻市断水地区への給水応援を派遣</li> </ul>
H30.7.2	<p>【管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・末広線配水管布設替工事(H30-1) GX形耐震管φ75mm～φ300mm×160m</li> </ul>	
H30.8.27	<p>【管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八尾枚方線配水管布設替工事(H30-5) GX形耐震管φ150mm・φ300mm×106m</li> </ul>	
H30.9.26	<p>【管路更新事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八尾枚方線配水管布設替工事(H30-3) GX形耐震管φ150mm・φ300mm×122m</li> </ul>	
H30.10.17	<p>【管路更新事業】</p> <p>(H30-1)</p> <p>GX形耐震管φ200mm・φ300mm×147m</p>	

年月日	主要工事	主な事項
H30.11.18	【第5回拡張事業】 ・大阪生駒線配水管布設工事(H30-1) GX形耐震管φ150mm×110m	
H31.3.25	【管路更新事業】 ・灰塚配水場内配水管布設替工事(H30-1) GX形耐震管φ300mm×31m NS形耐震管φ600mm×39m	・高圧受変電設備及びポンプ盤更新工事 (東部第二配水場)
H31.3.29		・水質監視モニター設備設置 灰塚系末端・東部第二高区北部系末端
(令和元年度)		
H31.4.1		・スマホ決済アプリ「PayB」による自主納付開始
H31.4.30		・大東市上下水道局お客さまセンターに係る包括業務委託(H31.4.1～R6.3.31)
R元.9.30		・大東市水道事業経営戦略の策定
R元.10.1		・灰塚配水場内にメーター倉庫南棟新設
R元.12.23	【管路更新事業】 ・大阪生駒線配水管布設工事(H31-2) GX形耐震管φ300mm×173m	・水道法の一部改正に伴う指定給水装置工事事業者更新制度実施
R元.12.27	【管路更新事業】 ・国道170号線他配水管布設替工事(H31-1) GX形耐震管φ300mm・φ300mm×76m	・消費税率改定(8%→10%)
R2.1.10	【管路更新事業】 ・谷川二丁目地内配水管布設替工事(H31-1) GX形耐震管φ300mm×133m	
R2.2.19	【管路更新事業】 ・大阪生駒線配水管布設替工事(H31-5) GX形耐震管φ150mm×168m	
R2.3.19		・北条ポンプ場運用開始
R2.3.31		・灰塚配水場2,000m <sup>3</sup> 配水池取り壊し撤去工事 ・三階以上直結直圧式給水実施要綱の制定施行
(令和2年度)		
R2.6.1		・新型コロナウイルス感染症に係る支援として水道料金の基本料金無料化を実施 (令和2年6月～令和3年1月検針分)
R2.7.1		・新型コロナウイルス感染症の影響による大阪広域水道企業団水道用水供給料金の軽減 (令和2年4月～7月検針分、72円/m <sup>3</sup> から62円/m <sup>3</sup> へ軽減)
R2.9.30	【管路更新事業】 ・氷野東西線配水管布設替工事(R2-1) GX形耐震管φ150mm×180m	

年 月 日	主 要 工 事	主 な 事 項
R2.10.1	【管路更新事業】 ・国道170号線配水管布設替工事(R2-1) G X形耐震管 φ 300mm×152m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大東市水道ビジョン(2021～2030)の策定</li> <li>・灰塚配水場管理棟自家発電設備設置</li> </ul>
R2.12.16	【管路更新事業】 ・灰塚大野東西線配水管布設替工事(R2-1) G X形耐震管 φ 300mm×180m	
R3.2.26	【管路更新事業】 ・北条西小学校前線配水管布設替工事(R2-1) G X形耐震管 φ 150mm×117m	
R3.3.29	【第5回拡張事業】 ・八尾枚方線配水管布設工事(R2-1) G X形耐震管 φ 300mm・φ 200mm×122m	
R3.3.31		
(令和3年度)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ決済アプリ「楽天銀行コンビニ支払いサービス」「LINE Pay」「PayPay」による自主納付開始</li> <li>・スマホ決済アプリ「auPAY」による自主納付開始</li> <li>・東部第四配水場法面崩落防止対策工事</li> <li>・大阪広域水道企業団と「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」を締結</li> </ul>
R3.4.1		
R3.8.1		
R3.9.13	【第5回拡張事業】 ・大阪生駒線配水管布設工事(R3-1) G X形耐震管 φ 200mm×198m	
R3.9.24	【管路更新事業】 ・氷野鴻池線配水管布設替工事(R3-1) G X形耐震管 φ 150mm×262m	
R3.10.6	【第5回拡張事業】 ・大阪生駒線配水管布設工事(R3-2) G X形耐震管 φ 200mm×215m	
R3.10.11	【管路更新事業】 ・灰塚中央線配水管布設替工事(R3-1) G X形耐震管 φ 300mm×233m	
R3.10.27	【管路更新事業】 ・南郷中学校前線配水管布設替工事(R3-1) G X形耐震管 φ 150mm×153m	
R3.12.7	【管路更新事業】 ・四条南小学校前北側線導水管布設替工事(R3-1) N S形耐震管 φ 600mm×170m	
R4.1.6		
R4.2.14	【管路更新事業】 ・諸福中学校前線配水管布設替工事(R3-1) G X形耐震管 φ 150mm×107m	

### 3 業務量の概要

#### (1) 業務の推移

項目	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度	H30年度	H29年度
行政区域内人口 (人)	118,145	119,380	120,138	120,537	121,337
行政区域内世帯数 (戸)	57,553	57,490	57,103	56,519	56,236
給水人口 (人)	118,139	119,374	120,390	120,791	121,591
給水戸数 (戸)	57,550	57,487	57,236	56,651	56,367
普及率 (%)	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%	99.9%
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	12,975,669 (100%)	13,247,979 (100%)	13,166,336 (100%)	13,815,045 (100%)	13,671,513 (100%)
企業団水道 (m <sup>3</sup> )	12,787,820 (98.6%)	13,071,579 (98.7%)	12,982,156 (98.6%)	13,636,850 (98.7%)	13,575,501 (99.3%)
大阪市水 (m <sup>3</sup> )	187,849 (1.4%)	176,400 (1.3%)	184,180 (1.4%)	178,195 (1.3%)	96,012 (0.7%)
自己水 (m <sup>3</sup> )	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
一日最大配水量 (m <sup>3</sup> )	37,991 (12月31日)	42,591 (6月17日)	39,260 (8月26日)	41,657 (7月18日)	40,684 (7月3日)
一日最小配水量 (m <sup>3</sup> )	31,319 (1月1日)	32,409 (1月1日)	31,462 (1月1日)	33,936 (1月1日)	32,997 (1月1日)
一日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	35,550	36,296	35,974	37,849	37,456
一人一日最大配水量 (ℓ)	320	354	326	343	333
一人一日最小配水量 (ℓ)	264	271	261	281	271
一人一日平均配水量 (ℓ)	301	304	299	313	308
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	12,643,187	12,837,031	12,748,491	12,849,241	12,967,276
有収率 (%)	(97.4%)	(96.9%)	(96.8%)	(93.0%)	(94.8%)
年間無収水量 (m <sup>3</sup> )	310,122	327,824	317,589	532,109	517,378
年間無効水量 (m <sup>3</sup> )	22,360	83,124	100,256	433,695	186,859
配水管延長 (m)	257,194	256,394	255,782	255,084	254,910
公設消火栓 (基)	2,003	2,003	2,007	2,007	2,013
仕切弁 (基)	4,763	4,731	4,717	4,686	4,674
空気弁 (基)	137	137	136	136	136
供給単価 (円)	155.57	122.14	158.71	159.47	158.85
給水原価 (円)	158.33	153.72	163.53	156.45	154.01
職員数 (管理者含む) (人)	26	25	24	23	22

## (2) 市内水道管口径別延長

### ① 導水管口径別延長

(単位：m)

口径(mm) \ 年度	R 3年度	R 2年度	R 元年度	H30年度	H29年度
φ 350以下	51	51	51	51	58
400	676	676	676	676	676
450	14	14	14	14	14
500	0	0	0	0	0
600	1,021	1,021	1,021	1,021	1,021
合 計	1,762	1,762	1,762	1,762	1,769

### ② 送水管口径別延長

(単位：m)

口径(mm) \ 年度	R 3年度	R 2年度	R 元年度	H30年度	H29年度
φ 150以下	1,454	1,454	1,454	1,454	1,454
200	1,522	1,522	1,522	1,522	1,522
300	16	16	16	16	16
350	25	25	25	25	25
400	482	482	482	482	482
450	0	0	0	0	0
600	477	477	477	477	477
700	22	22	22	22	22
合 計	3,998	3,998	3,998	3,998	3,998

## ③ 配水管口径別延長（管種別）

（単位：m）

口径 (mm)	年度 管種	R 3年度	R 2年度	R元年度	H30年度	H29年度
		φ75	D I P	5,979	6,071	5,966
	C I P	17	17	17	17	18
	G P	109	109	110	143	148
	H P P E	1,523	705	380	79	26
	H I V P	35,208	35,221	35,127	35,047	34,619
φ100	D I P	34,099	34,127	34,091	34,204	34,232
	C I P	21	26	43	43	64
	G P	68	68	68	68	68
	H P P E	282	281	281	145	145
	H I V P	350	345	345	345	353
φ150	D I P	108,501	108,486	108,512	108,245	108,200
	C I P	288	289	301	318	334
	H P P E	47	47	47	0	0
	G P	166	166	166	166	166
φ200	D I P	25,851	25,474	25,360	25,311	25,297
	C I P	42	42	79	130	0
	G P	221	221	221	209	209
φ250	D I P	2,517	2,517	2,541	2,899	3,053
	C I P	2	2	2	0	163
	G P	48	48	48	58	58
φ300	D I P	19,256	19,761	19,706	19,350	19,309
	C I P	984	1,062	1,062	1,062	1,062
	G P	484	484	484	493	493
φ350	D I P	1,103	1,103	1,103	1,103	1,201
	G P	26	26	26	26	26
φ400	D I P	1,783	1,778	1,778	1,777	1,784
	G P	8	8	8	8	8
φ500	D I P	1,751	1,708	1,708	1,708	1,707
	C I P	463	506	506	506	506
	G P	96	96	96	96	96
φ600	D I P	9,167	9,167	9,167	9,167	9,167
	G P	155	155	155	155	155
φ700	D I P	75	75	75	75	75
φ800	D I P	424	424	424	424	424
φ2600	D I P	19	19	19	19	19
合 計		251,133	250,634	250,022	249,324	249,143

※ DIP：ダクタイル鋳鉄管 CIP：鋳鉄管 GP：鋼管 HIVP：ビニール管 HPPE：水道配水用ポリエチレン管



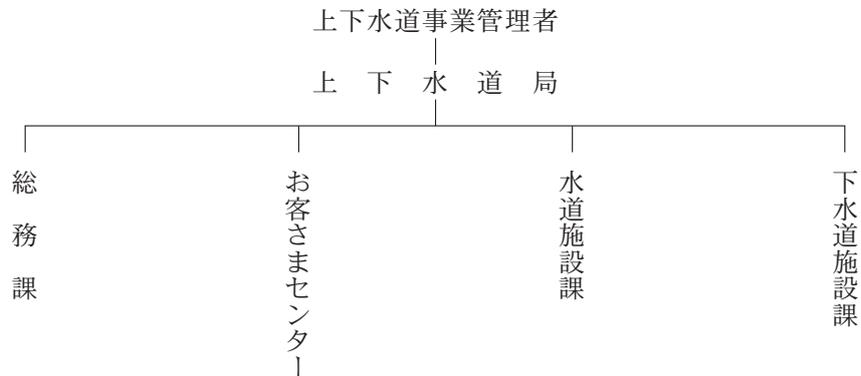
## Ⅱ 機構及び職制

- 1 機 構 図
- 2 事 務 分 掌
- 3 職 員 配 置 表
- 4 年 齢 別 職 員 構 成
- 5 勤 続 年 数 別 職 員 構 成
- 6 年 度 別 ・ 職 種 別 職 員 数
- 7 所 属 別 ・ 職 種 別 職 員 構 成
- 8 職 員 給 与 費
- 9 電 算 業 務 概 要

## II 機構及び職制

### 1 機構 図

(平成27年4月1日施行)



### 2 事務分掌

総務課においては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 水道事業及び下水道事業の基本計画の策定及び総合調整に関すること。
- (2) 文書及び公印に関すること。
- (3) 職員の任免、給与、勤務時間その他の勤務条件、懲戒、研修及びその他の身分取扱に関すること。
- (4) 労務管理に関すること。
- (5) 庁舎管理に関すること。
- (6) 指定給水装置工事事業者の指定並びに排水設備工事に係る指定工事店の決定に関すること。
- (7) 予算編成及び予算執行の調整に関すること。
- (8) 決算に関すること。
- (9) 財政計画及び資金計画に関すること。
- (10) 主要事業の進行管理に関すること。
- (11) 資産の取得、管理及び処分に関すること。
- (12) 契約及び用度に関すること。
- (13) 公債及び一時借入金に関すること。
- (14) 出納その他経理事務に関すること。
- (15) 電子計算機業務の運営管理及び調整に関すること。
- (16) 流域下水道協議会に関すること。
- (17) 課の所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (18) 他の課等の主管に属さないこと。
- (19) 局の庶務に関すること。
- (20) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

お客さまセンターにおいては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 水道料金、メーター使用料金、下水道使用料、戸別浄化槽施設使用料等の徴収及び還付に関すること。
- (2) 上下水道使用に関する諸届の受付に関すること。

- (3) 使用水量の計量及び用途の認定に関すること。
- (4) 開栓及び閉栓に関すること。
- (5) メーターの管理に関すること。
- (6) その他計量に関すること。
- (7) 水洗便所改造資金の助成及び融資のあっ旋に関すること。
- (8) 受益者負担金及び戸別浄化槽設置分担金の賦課及び徴収に関すること。
- (9) 汚水排出量の認定に関すること。
- (10) センターの所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (11) センターの庶務に関すること。
- (12) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

水道施設課においては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 水道施設の整備計画に関すること。
- (2) 技術上の重要事項の調査、研究及び調整に関すること。
- (3) 水道施設の改良に関すること。
- (4) 給水の緊急停止及び給水制限に関すること。
- (5) 応急給水に関すること。
- (6) 配水管設備の受託工事に関すること。
- (7) 配水管設備の受託工事に係る負担金の徴収及び還付に関すること。
- (8) マッピングシステムの運用管理に関すること。
- (9) 配水管設備の維持管理に関すること。
- (10) 給水装置の維持修繕に関すること。
- (11) その他維持修繕に関すること。
- (12) 受水及び配水に関すること。
- (13) 配水場の運転操作及び維持管理に関すること。
- (14) 配水場の衛生上の措置に関すること。
- (15) 水質管理に関すること。
- (16) 給水装置の基準に関すること。
- (17) 給水装置工事の申込みの受付に関すること。
- (18) 給水装置工事の設計審査及び施工に関すること。
- (19) 給水装置工事に係る加入金、手数料等及び修繕工事費の徴収及び還付に関すること。
- (20) その他給水装置に関すること。
- (21) 課の所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (22) 課の庶務に関すること。
- (23) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

下水道施設課においては、おおむね次の事務をつかさどる。

- (1) 下水道施設の整備及び維持管理に関すること。
- (2) 下水道施設の整備計画に関すること。
- (3) 下水道の供用開始に係る工事に関すること。
- (4) 下水道に流入する水質の規制に関すること。
- (5) 除外施設及び特定施設に関すること。

- (6) 開発行為に係る指導及び下水道の協議に関すること。
- (7) 排水設備工事の確認申請に関すること。
- (8) 市設置型合併浄化槽の整備及び維持管理に関すること。
- (9) 課の所管に属する予算の編成及び執行に関すること。
- (10) 課の庶務に関すること。
- (11) 所管の事務に係る関係機関との連絡調整に関すること。

### 3 職員配置表

(単位：人)

所 属	職 名	事務職員	技術職員	任期付職員	再任用職員	計
管 理 者		0	0	0	0	1
局 長		0	0	0	0	0
総 括 次 長		0	0	0	0	0
総 務 課		5	0	0	0	5
お客さまセンター		4	0	0	0	4
水道施設課		3	11	2	0	16
合 計		12	11	2	0	26

(会計年度任用職員、下水道会計職員を除く)

### 4 年齢別職員構成

(単位：人)

年 齢	職 種	事務職員	技術職員	任期付職員	再任用職員	計
20歳以下		0	0	0	0	0
21歳～25歳		0	1	0	0	1
26歳～30歳		2	1	0	0	3
31歳～35歳		1	0	0	0	1
36歳～40歳		2	1	0	0	3
41歳～45歳		3	4	0	0	7
46歳～50歳		1	2	0	0	3
51歳～55歳		2	2	0	0	4
56歳～60歳		1	0	1	0	2
61歳以上		0	0	1	0	1
合 計		12	11	2	0	25
平均年齢		41歳 3月	42歳 6月	60歳 0月	0歳 0月	43歳 4月

(管理者、会計年度任用職員、下水道会計職員を除く)

## 5 勤続年数別職員構成

(単位：人・%)

職  
機  
構  
及  
び

勤続年数	事務職員		技術職員		任期付職員		再任用職員		計	
	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率
～5年未満	3	25.1	2	18.2	0	0.0	0	0.0	5	20.0
5年以上～10年未満	1	8.3	2	18.2	2	100.0	0	0.0	5	20.0
10年以上～15年未満	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.0
15年以上～20年未満	2	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	8.0
20年以上～25年未満	1	8.3	3	27.3	0	0.0	0	0.0	4	16.0
25年以上～30年未満	2	16.7	3	27.3	0	0.0	0	0.0	5	20.0
30年以上～35年未満	1	8.3	1	9.0	0	0.0	0	0.0	2	8.0
35年以上～40年未満	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.0
40年以上～45年未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
45年以上～	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	12	100.0	11	100.0	2	100.0	0	0.0	25	100.0
職員1人当り 平均勤続年数	17年 5月		17年 4月		7年 0月		0年 0月		16年 7月	
平均年齢	41歳 3月		42歳 6月		60歳 0月		0歳 0月		43歳 4月	

(管理者、会計年度任用職員、下水道会計職員を除く)

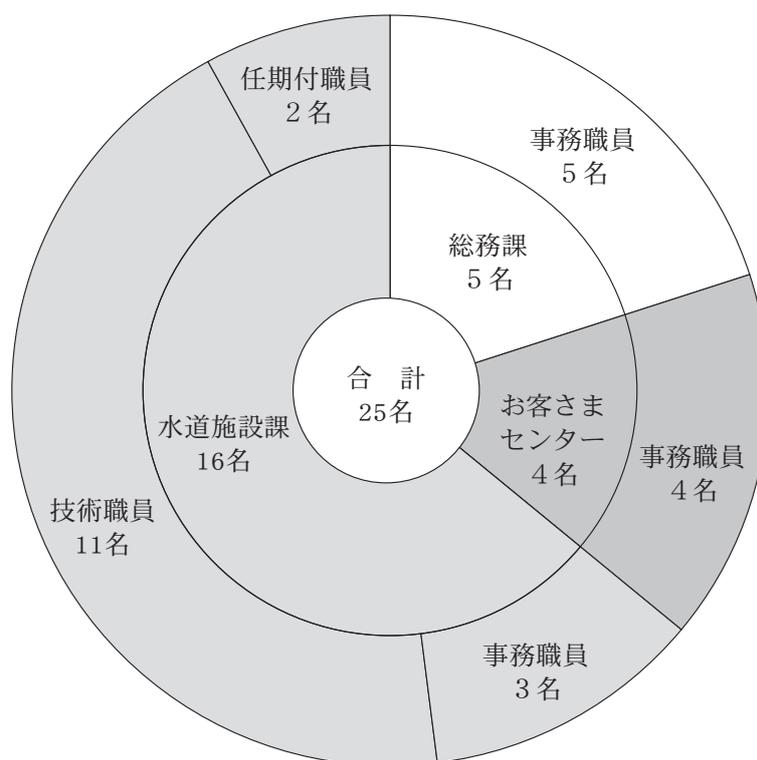
## 6 年度別・職種別職員数

(単位：人)

年 度	事務職員	技術職員	任期付職員	再任用職員	計
R3年度	12	11	2	0	25
R2年度	12	10	2	0	24
R元年度	12	10	1	4	27
H30年度	13	8	1	3	25
H29年度	12	9	1	4	26

(管理者、会計年度任用職員、下水道会計職員を除く)

## 7 所属別・職種別職員構成



\* 課に属さない者(管理者・局長・総括次長)、会計年度任用職員を除く

## 8 職員給与費

(単位：千円)

年度		R3年度	R2年度	R元年度	H30年度	H29年度
科目						
	基本給	125,398	121,484	118,647	111,486	109,541
	手当	42,462	42,048	41,427	42,649	38,467
内訳	時間外勤務	4,203	5,359	4,919	5,330	3,378
	特殊勤務	122	124	104	183	100
	期末勤勉	32,530	31,046	31,195	29,063	27,795
	その他	5,607	5,519	5,209	8,073	7,194
	法定福利費	33,650	32,910	33,927	31,737	32,170
	賞与引当金繰入額	15,479	16,598	16,307	15,165	14,364
	退職給付金	17,432	14,881	15,621	15,930	14,202
	計	234,421	227,921	225,929	216,967	208,744

(資本勘定職員を含む)

## 9 電 算 業 務 概 要

### (1) 電算処理に伴う業務内容

窓口業務の円滑化、事務作業の効率化を図るため、昭和49年12月に電算機処理を導入、以下の業務開発を行った。(当初、プログラム作成は職員により開発 平成22年4月システム開発業者に全面委託)

#### [料金調定システム]

処 理 業 務 名	処 理 内 容
料 金 調 定 収 納	・ 検針、料金調定、納付書、調定集計など、料金全般の処理 (昭和49年12月開発 平成22年4月帳票様式変更)
	・ パンチャー依存処理の廃止、職員による即時入力処理の採用 (昭和62年11月全面変更)
	・ 検針カードの廃止、ハンディーターミナル機器による検針業務の採用 (平成2年4月開発 平成22年4月システム変更)
	・ 水道料金納入通知書等に三つ折りはがきを採用 (プライバシー保護) (平成7年1月帳票様式変更)
	・ 水道料金納入通知書等のバーコードをEANコードに変更 (平成18年3月変更)
	・ スマートデバイス及びモバイルプリンタによる検針業務の採用 (令和元年10月変更)
検 定 満 期 取 替	計量法に基づくメーターの定期取替に伴う処理 (昭和51年4月開発 平成22年4月システム全面変更)

#### [給水装置工事受付システム]

給 水 窓 口 受 付	工事許可証等の打出及び加入金、手数料の調定処理 (平成3年1月開発 平成8年4月全面変更 平成22年4月システム全面変更)
-------------	--

#### [公営企業会計システム]

固 定 資 産 管 理	資産の適正管理と減価償却、資産台帳打出等の処理 (昭和56年4月開発 昭和60年4月全面変更 平成22年4月システム全面変更 令和3年4月クラウド化)
財 務 会 計	予算編成、試算表、精算表、給水原価表等会計全般の処理 (昭和58年11月開発 平成22年4月システム全面変更 令和3年4月クラウド化)
入 札 ・ 契 約	入札・契約関係様式の打出、統計資料作成などの処理 (昭和63年7月開発 平成2年5月変更 平成22年4月システム全面変更 令和3年4月クラウド化)
企 業 債 償 還 台 帳 作 成	企業債の借入・償還の管理並びに年次別償還台帳打出などの処理 (昭和59年1月開発 平成2年11月全面変更 平成22年4月全面変更 令和3年4月クラウド化)

#### [給与計算システム]

給 与 計 算	職員の給与、賞与、差額、年末調整、福利厚生などの処理 (市長部局へ電算機処理委託)
---------	--

## (2) 電算機器構成・明細

[料金調定システム]

職  
制  
機  
構  
及  
び

	機 器 種 別	機 器 構 成		容 量 ・ 台 数
電 算 室	〔ホストマシン〕 NEC Express 5800 /R320c-E4	17型LCDコンソールユニット		1台
		無停電電源装置 1500VA		2台
	〔バックアップサーバ〕	BUFFALO RAID対応NAS “TeraStation WSS”		1台
お 客 さ ま セ ン タ ー	〔周 辺 装 置〕	端 末 機	Mate MKM30/B-4(デスクトップ型)	11台
			VersaPro VKT16/X-4(ノート型)	4台
		プ リ ン タ ー	MultiWriter8700	4台
			MultiWriter5500	2台
			MultiWriter9300C	1台
			MultiWriter4700	1台
			LL4000(ページプリンタ)	1台
		OCR読取装置(N6376-501A)	1台	
		スマートデバイス(FZ-X1)	15台	
		モバイルプリンタ(SM-T300i2)	15台	
水 道 施 設	〔周 辺 装 置〕	端 末 機	Mate MKM30/B-4(デスクトップ型)	1台
		プ リ ン タ ー	MultiWriter8700	1台
市 窓 口	〔周 辺 装 置〕	プ リ ン タ ー	MultiWriter8700	1台



## Ⅲ 給 水 状 況

- 1 配 水 区 域 図
- 2 受 ・ 配 水 系 統 図
- 3 配 水 量
- 4 月別電力使用量比較表
- 5 用途別年間使用水量
- 6 大口需要者一覽表
- 7 水 質 檢 査 表
- 8 配 水 量 分 析 表

### Ⅲ 給 水 状 況

#### 1 配 水 区 域 図



大阪広域水道企業団深野分岐配水区域



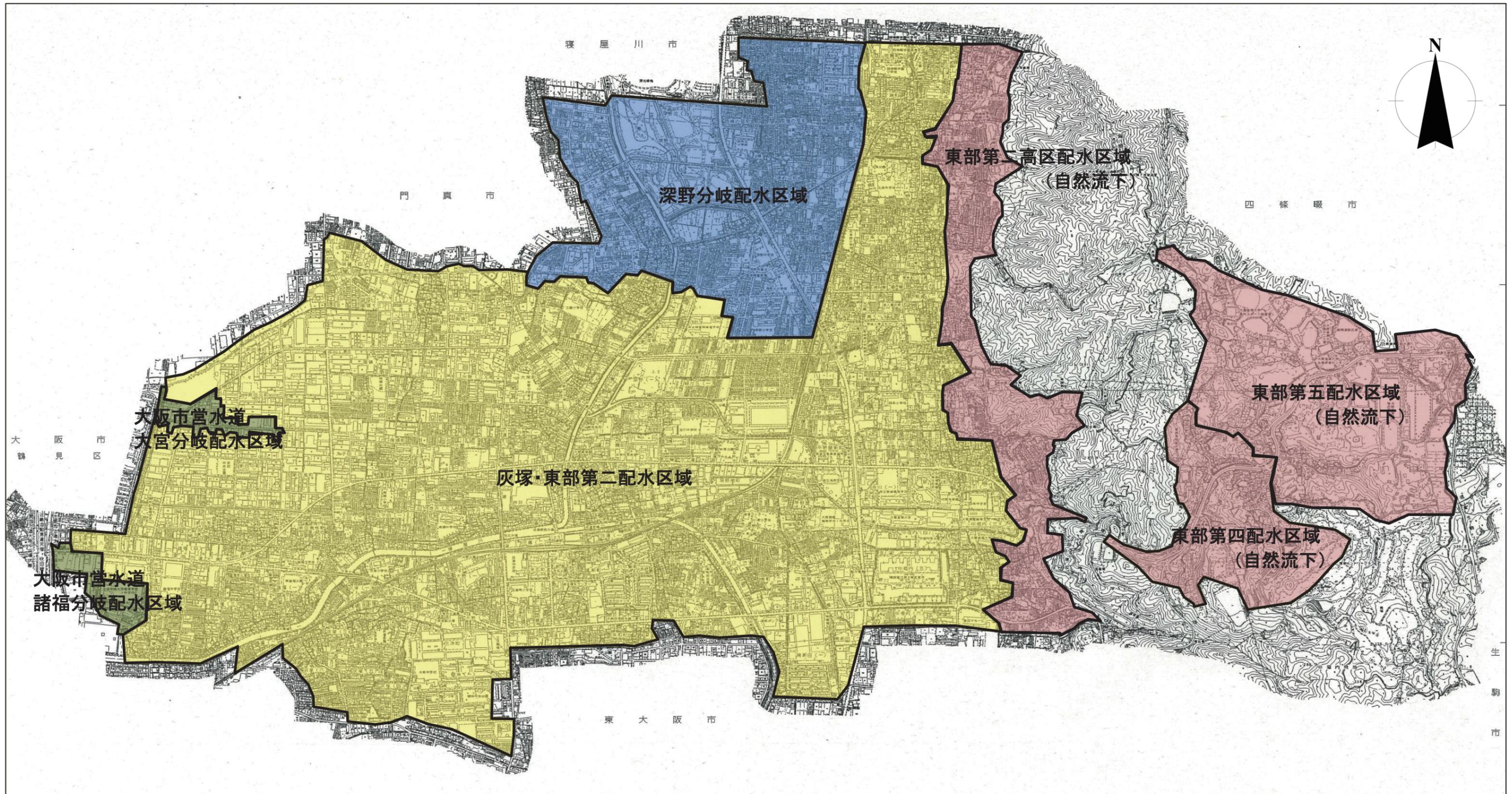
灰塚・東部第二配水区域



東部高区系配水区域(自然流下)



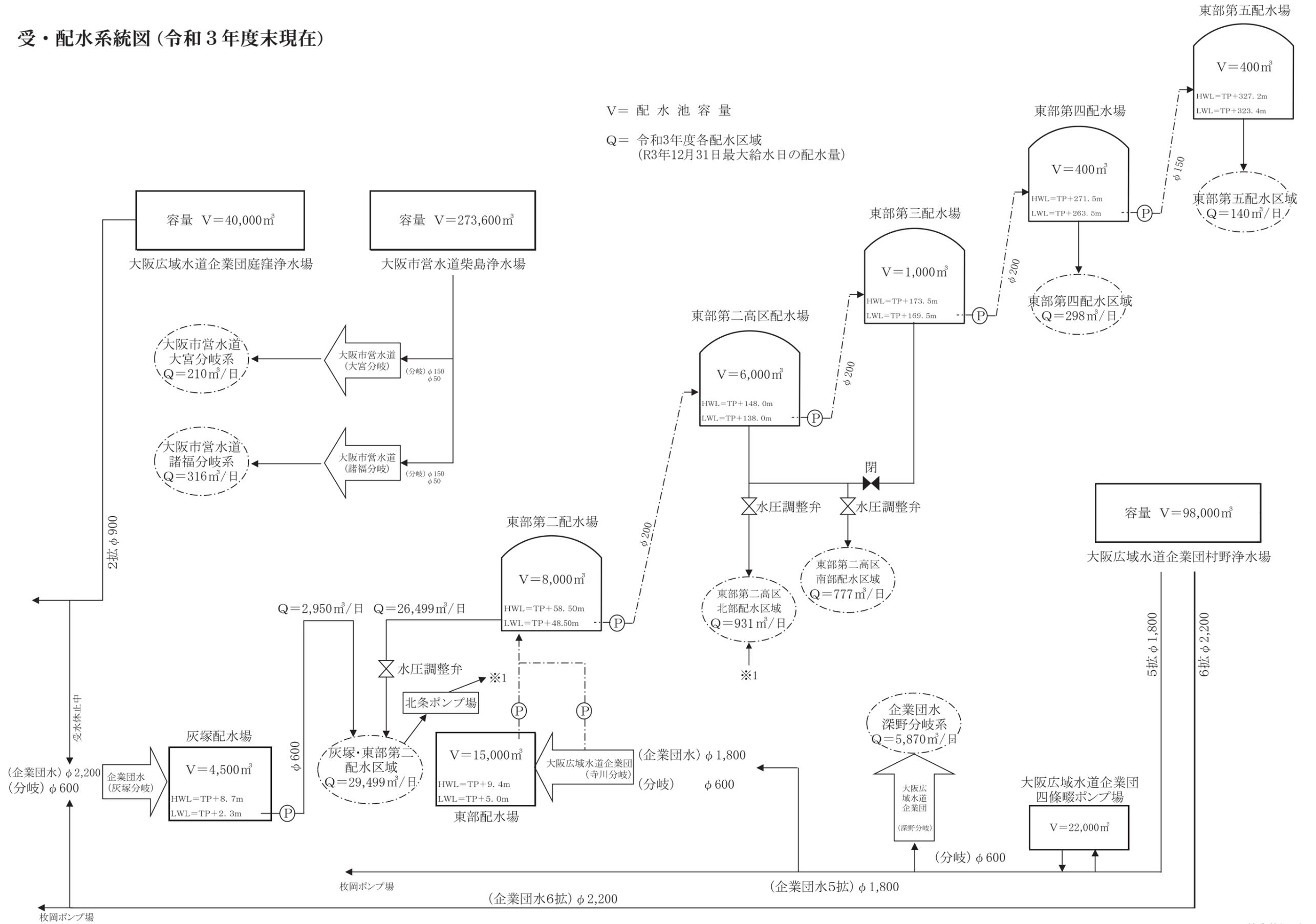
大阪市営水道配水区域



給水状況

## 2 受・配水系統図 (令和3年度末現在)

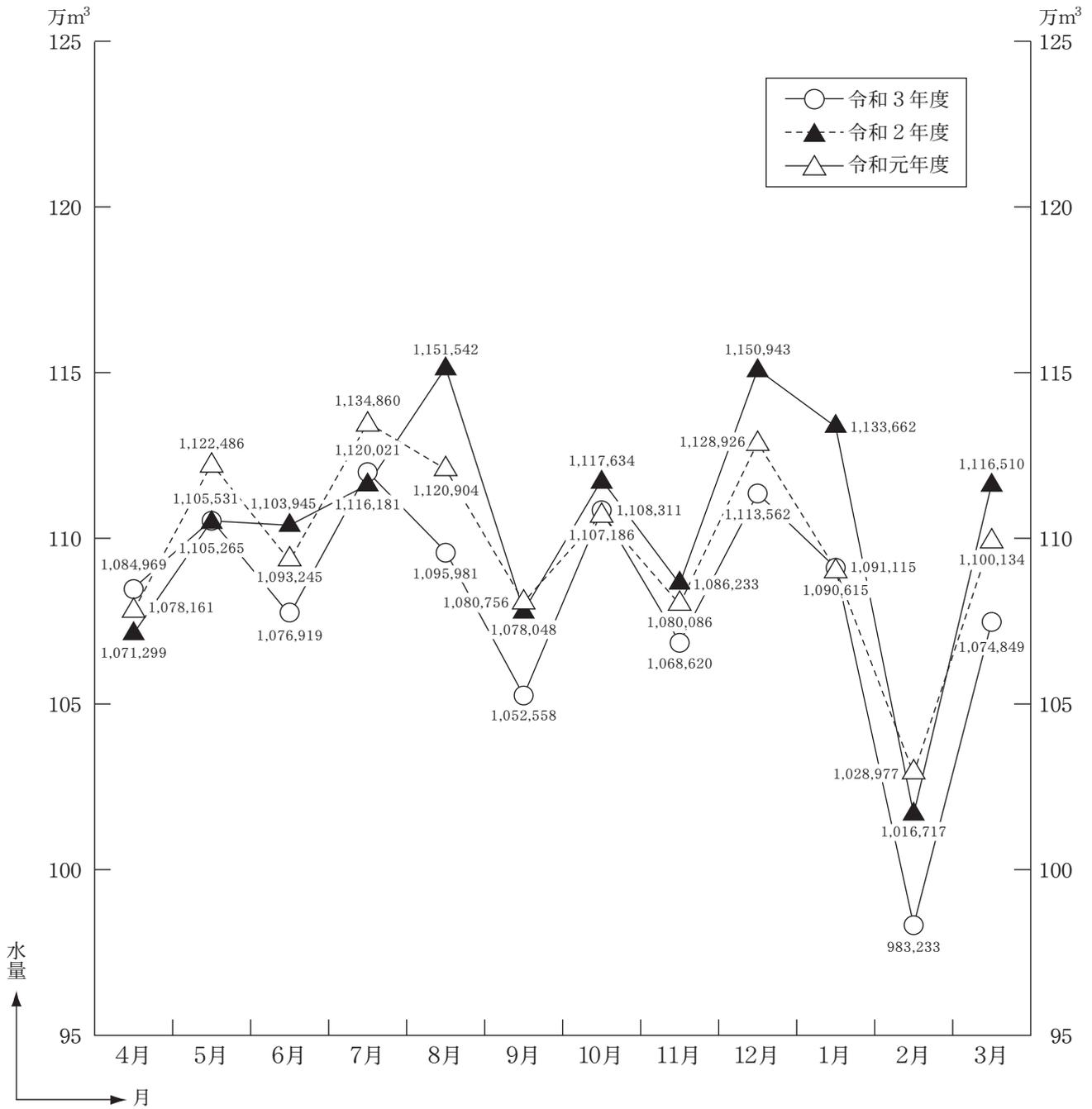
V = 配水池容量  
 Q = 令和3年度各配水区域  
 (R3年12月31日最大給水日の配水量)



給水状況

### 3 配水量

#### (1) 月間配水量の推移



給水状況

(単位：m³)

月 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和3年度	1,084,969	1,105,531	1,076,919	1,120,021	1,095,981	1,052,558	1,108,311	1,068,620	1,113,562	1,091,115	983,233	1,074,849
令和2年度	1,071,299	1,105,265	1,103,945	1,116,181	1,151,542	1,078,048	1,117,634	1,086,233	1,150,943	1,133,662	1,016,717	1,116,510
令和元年度	1,078,161	1,122,486	1,093,245	1,134,860	1,120,904	1,080,756	1,107,186	1,080,086	1,128,926	1,090,615	1,028,977	1,100,134

## (2) 系統別毎月配水量

月	区分	大阪広域水道企業団水				
		東部第二	高区北部系	高区南部系	東部第四	東部第五
R3年4月		776,660	25,819	24,928	9,822	6,475
5月		792,489	26,026	26,204	9,102	5,543
6月		773,604	26,085	22,328	9,063	6,211
7月		809,734	25,885	24,895	9,477	7,134
8月		794,699	25,074	23,297	9,787	6,892
9月		760,654	24,371	21,674	9,648	6,072
10月		790,418	25,720	23,551	9,720	6,472
11月		764,373	24,505	22,554	9,660	5,029
12月		795,527	25,399	22,474	10,149	5,618
R4年1月		785,882	25,302	22,141	9,491	5,499
2月		708,541	22,449	19,156	8,449	4,956
3月		807,595	24,548	21,366	9,076	5,531
計		9,360,176	301,183	274,568	113,444	71,432
前年度		9,516,842	322,183	286,293	114,205	85,473
増減		△ 156,666	△ 21,000	△ 11,725	△ 761	△ 14,041

## (3) 系統別一日平均配水量

月	区分	大阪広域水道企業団水				
		東部第二	高区北部系	高区南部系	東部第四	東部第五
R3年4月		25,889	861	831	327	216
5月		25,564	840	845	294	179
6月		25,787	870	744	302	207
7月		26,120	835	803	306	230
8月		25,635	809	752	316	222
9月		25,355	812	722	322	202
10月		25,497	830	760	314	209
11月		25,479	817	752	322	168
12月		25,662	819	725	327	181
R4年1月		25,351	816	714	306	177
2月		25,305	802	684	302	177
3月		26,051	792	689	293	178

(単位：m<sup>3</sup>)

灰	塚	深	野	計	大 阪 市 営 水 道 ( 浄 水 )	合 計
69,580		156,349		1,069,633	15,336	1,084,969
68,130		162,439		1,089,933	15,598	1,105,531
67,630		156,040		1,060,961	15,958	1,076,919
65,640		161,177		1,103,942	16,079	1,120,021
60,670		158,944		1,079,363	16,618	1,095,981
61,570		153,188		1,037,177	15,381	1,052,558
75,200		160,901		1,091,982	16,329	1,108,311
74,840		152,504		1,053,465	15,155	1,068,620
77,240		160,440		1,096,847	16,715	1,113,562
71,130		156,476		1,075,921	15,194	1,091,115
65,040		140,600		969,191	14,042	983,233
81,540		109,749		1,059,405	15,444	1,074,849
838,210		1,828,807		12,787,820	187,849	12,975,669
821,310		1,925,273		12,982,156	176,400	13,247,979
16,900		△ 96,466		△ 194,336	11,449	△ 272,310

(単位：m<sup>3</sup>)

灰	塚	深	野	計	大 阪 市 営 水 道 ( 浄 水 )	合 計
2,319		5,212		35,654	511	36,166
2,198		5,240		35,159	503	35,662
2,254		5,201		35,365	351	35,897
2,117		5,199		35,611	381	36,130
1,957		5,127		34,818	536	35,354
2,052		5,106		34,573	513	35,085
2,426		5,190		35,225	527	35,752
2,495		5,083		35,116	505	35,621
2,492		5,175		35,382	539	35,921
2,295		5,048		34,707	490	35,197
2,323		5,021		34,614	502	35,115
2,630		3,540		34,174	498	34,673

#### (4) 月別一日最大配水量の系統別配水量

月	区分	大阪広域水道企業団水				
		東部第二	高区北部系	高区南部系	東部第四	東部第五
R3年4月		26,693	879	844	290	218
5月		26,619	883	852	345	193
6月		26,740	912	746	330	194
7月		26,797	858	834	323	224
8月		27,339	834	766	346	300
9月		26,213	859	788	359	211
10月		26,694	857	782	275	190
11月		25,810	832	730	301	140
12月		26,499	931	777	298	140
R4年1月		26,056	831	764	298	172
2月		26,110	822	710	320	190
3月		25,786	811	690	286	194
年最大日		27,339	931	852	359	300
前年度		29,317	979	895	384	366
増減		△ 1,978	△ 48	△ 43	△ 25	△ 66

#### 4 月別電力使用量比較表

月	区分	灰塚配水場	東部配水場	東部第二配水場	東部第二高区配水場	東部第三配水場	東部第四配水場
		R3年4月	13,350	100,000	28,650	3,751	10,065
5月		13,260	98,750	28,710	3,379	9,087	2,439
6月		13,740	98,660	27,740	3,528	9,465	2,696
7月		14,240	104,180	28,900	3,848	10,224	3,051
8月		13,540	99,810	28,040	3,857	10,339	3,005
9月		13,340	94,560	26,420	3,549	9,758	2,673
10月		14,850	99,020	27,770	3,601	10,138	2,796
11月		14,190	94,060	25,750	3,312	9,246	2,151
12月		14,630	98,060	26,820	3,753	9,923	2,400
R4年1月		13,670	93,010	26,590	3,673	9,439	2,364
2月		12,440	80,920	23,510	3,298	8,413	2,131
3月		15,100	97,160	25,940	3,580	9,128	2,370
計		166,350	1,158,190	324,840	43,129	115,225	30,850
前年度		165,380	1,227,010	341,710	45,388	122,446	35,984
増減		970	△ 68,820	△ 16,870	△ 2,259	△ 7,221	△ 5,134

(単位：m<sup>3</sup>)

灰 塚	深 野	計	大阪市水 (浄 水)	合 計	最大配水日
2,790	5,416	37,130	508	37,638	21日
2,610	5,344	36,846	486	37,332	10日
2,760	5,522	37,204	518	37,722	17日
2,930	5,454	37,420	540	37,960	19日
2,230	5,370	37,185	589	37,774	5日
2,340	5,248	36,018	533	36,551	6日
2,950	5,340	37,088	533	37,621	20日
3,160	5,197	36,170	526	36,696	17日
2,950	5,870	37,465	526	37,991	31日 (年間最大日)
3,050	5,174	36,345	523	36,868	12日
2,460	5,161	35,773	515	36,288	9日
2,550	5,103	35,420	491	35,911	16日
3,160	5,870	37,465	589	37,991	
3,440	10,107	42,088	566	42,591	12月31日
△ 280	△ 4,237	△ 4,623	23	△ 4,600	

(単位：kwh)

東 部 第 五 配 水 場	北 条 ポ ンプ 場	水 質 監 視 モ ニ タ ー	合 計	配水量 1 m <sup>3</sup> 当り使用電力量	
				総 合	直送をのぞく
414	1,195	374	160,573	0.148	0.176
347	1,105	379	157,456	0.142	0.170
324	1,070	374	157,597	0.146	0.174
357	1,238	391	166,429	0.149	0.177
353	1,239	388	160,571	0.147	0.174
321	1,351	376	152,348	0.145	0.172
381	1,355	380	160,291	0.145	0.172
475	1,299	378	150,861	0.141	0.167
584	1,358	463	157,991	0.142	0.169
609	1,389	532	151,276	0.139	0.165
541	1,268	482	133,003	0.135	0.161
507	1,383	427	155,595	0.145	0.164
5,213	15,250	4,944	1,863,991	0.144	0.170
5,172	17,570	4,875	1,965,535	0.148	0.176
41	△ 2,320	69	△ 101,544	△ 0.004	△ 0.006

## 5 用途別年間使用水量

(1) 用途別年間使用水量比較表（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

用途		一般用(家庭用)		事業用		官公署・学校・
		使用量	%	使用量	%	使用量
令和3	水量	10,936,805	86.52	1,038,731	8.22	630,624
	件数	54,645	98.52	399	0.72	296
2	水量	11,101,197	86.50	1,083,008	8.44	616,196
	件数	54,446	98.50	406	0.73	289
元	水量	10,817,460	84.88	1,172,339	9.20	716,073
	件数	54,340	98.54	400	0.73	286
平成30	水量	10,867,127	84.61	1,168,081	9.09	761,559
	件数	54,117	98.47	403	0.73	303
29	水量	11,007,068	84.92	1,138,769	8.78	753,023
	件数	54,007	98.54	396	0.72	304
28	水量	11,103,447	84.68	1,184,398	9.03	766,030
	件数	53,956	98.52	398	0.73	304
27	水量	11,160,662	84.63	1,188,346	9.01	777,960
	件数	53,875	98.52	395	0.72	303
26	水量	11,255,795	84.45	1,225,173	9.19	792,274
	件数	53,752	98.55	398	0.73	299
25	水量	11,473,352	84.61	1,218,458	8.99	800,283
	件数	53,550	98.52	399	0.73	298
24	水量	11,596,920	84.74	1,240,323	9.06	782,305
	件数	53,692	98.56	404	0.74	290
23	水量	11,761,518	84.40	1,313,423	9.42	793,533
	件数	53,670	98.55	400	0.73	288
22	水量	11,972,891	83.62	1,436,231	10.03	833,229
	件数	54,364	98.63	398	0.72	252
21	水量	11,931,491	83.18	1,556,515	10.85	767,274
	件数	54,155	98.61	419	0.76	249
20	水量	12,039,471	82.66	1,650,013	11.33	775,931
	件数	53,881	98.57	411	0.75	243
19	水量	12,228,234	82.33	1,730,630	11.65	787,974
	件数	53,285	98.51	412	0.76	247
18	水量	12,307,892	82.18	1,804,799	12.05	752,186
	件数	52,864	98.55	406	0.76	243
17	水量	12,384,117	81.73	1,817,064	11.99	823,953
	件数	52,670	98.60	407	0.76	236
16	水量	12,376,640	81.58	1,816,748	11.97	836,313
	件数	51,823	98.53	393	0.75	228
15	水量	12,408,004	81.70	1,798,945	11.85	810,401
	件数	51,039	98.47	392	0.76	242

(単位：m<sup>3</sup>・戸)

病院用 %	公衆浴場用		臨時用		合計		年度
	使用量	%	使用量	%	使用量	%	
4.99 0.53	27,151 3	0.21 0.01	7,051 121	0.06 0.22	12,640,362 55,464	100	令和 3
4.80 0.52	25,197 3	0.20 0.01	7,616 133	0.06 0.24	12,833,214 55,277	100	2
5.62 0.52	26,291 3	0.21 0.01	11,480 113	0.09 0.20	12,743,643 55,142	100	元
5.93 0.55	31,599 3	0.25 0.01	15,631 131	0.12 0.24	12,843,997 54,957	100	平成 30
5.81 0.55	39,180 4	0.30 0.01	25,188 99	0.19 0.18	12,963,228 54,810	100	29
5.84 0.56	45,301 6	0.35 0.01	13,437 100	0.10 0.18	13,112,613 54,764	100	28
5.90 0.55	46,456 6	0.35 0.01	14,600 112	0.11 0.20	13,188,024 54,691	100	27
5.94 0.55	46,938 6	0.35 0.01	9,720 89	0.07 0.16	13,329,900 54,544	100	26
5.90 0.55	50,071 6	0.37 0.01	17,145 105	0.13 0.19	13,559,309 54,358	100	25
5.72 0.53	53,920 6	0.39 0.01	12,726 85	0.09 0.16	13,686,194 54,477	100	24
5.69 0.53	52,682 6	0.38 0.01	14,819 96	0.11 0.18	13,935,975 54,460	100	23
5.82 0.46	64,005 8	0.45 0.01	10,844 99	0.08 0.18	14,317,200 55,121	100	22
5.35 0.45	68,971 8	0.48 0.01	20,378 95	0.14 0.17	14,344,629 54,926	100	21
5.33 0.44	70,352 9	0.48 0.02	29,637 119	0.20 0.22	14,565,404 54,663	100	20
5.31 0.46	80,602 10	0.54 0.02	25,449 137	0.17 0.25	14,852,889 54,091	100	19
5.02 0.45	81,676 10	0.55 0.02	29,783 120	0.20 0.22	14,976,336 53,643	100	18
5.44 0.44	87,415 10	0.58 0.02	38,999 97	0.26 0.18	15,151,548 53,420	100	17
5.51 0.43	92,106 11	0.61 0.02	49,593 140	0.33 0.27	15,171,400 52,595	100	16
5.34 0.47	99,200 11	0.65 0.02	69,293 143	0.46 0.28	15,185,843 51,827	100	15

(2) 用途別・段階別給水量比較表 (令和3年4月～令和4年3月)

1か月の使用水量		0～5	6～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～100
家事 用	戸数	134,148	139,477	248,837	132,147	43,760	11,065	5,322
	比率(%)	18.7	19.5	34.8	18.5	6.1	1.5	0.7
	使用水量(m <sup>3</sup> )	292,535	1,083,416	3,831,110	3,218,992	1,495,933	489,165	327,647
	比率(%)	2.7	9.9	35.0	29.4	13.7	4.5	3.0
	水道料金(円)	124,019,365	137,963,583	453,094,665	448,345,903	241,639,428	87,928,962	67,373,618
比率(%)	7.7	8.5	28.0	27.7	14.9	5.4	4.2	
事業 用	戸数	350	314	515	459	315	219	817
	比率(%)	7.2	6.5	10.6	9.5	6.5	4.5	16.9
	使用水量(m <sup>3</sup> )	579	2,480	7,873	11,564	11,085	9,849	58,166
	比率(%)	0.1	0.2	0.8	1.1	1.1	0.9	5.6
	水道料金(円)	2,057,693	310,860	929,192	1,633,302	1,816,320	1,777,072	12,591,326
比率(%)	0.6	0.1	0.3	0.5	0.6	0.5	3.8	
官公署・学校	戸数	1,606	139	146	131	78	76	222
	比率(%)	45.6	3.9	4.1	3.7	2.2	2.2	6.3
	使用水量(m <sup>3</sup> )	1,259	1,030	2,228	3,318	2,733	3,404	17,690
	比率(%)	0.2	0.2	0.4	0.5	0.4	0.5	2.8
	水道料金(円)	1,517,670	137,610	262,812	469,634	446,886	614,829	3,960,440
比率(%)	0.7	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	1.9	
公衆浴場 用	戸数	0	0	0	0	0	0	0
	比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	使用水量(m <sup>3</sup> )	0	0	0	0	0	0	0
	比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	水道料金(円)	0	0	0	0	0	0	0
比率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
臨時 用	戸数	1,138	145	70	24	8	5	8
	比率(%)	81.1	10.3	5.0	1.7	0.6	0.4	0.6
	使用水量(m <sup>3</sup> )	1,548	1,122	1,000	585	274	214	498
	比率(%)	22.0	15.9	14.2	8.3	3.9	3.0	7.1
	水道料金(円)	6,305,750	855,250	559,900	321,750	150,700	117,700	273,900
比率(%)	65.8	8.9	5.8	3.4	1.6	1.2	2.9	
合計	戸数	137,242	140,075	249,568	132,761	44,161	11,365	6,369
	比率(%)	18.9	19.3	34.4	18.3	6.1	1.6	0.9
	使用水量(m <sup>3</sup> )	295,921	1,088,048	3,842,211	3,234,459	1,510,025	502,632	404,001
	比率(%)	2.3	8.6	30.4	25.6	11.9	4.0	3.2
	水道料金(円)	133,900,478	139,267,303	454,846,569	450,770,589	244,053,334	90,438,563	84,199,284
比率(%)	6.2	6.4	21.0	20.8	11.3	4.2	3.9	

(単位：戸・m<sup>3</sup>・円)

101～300	301～500	501～600	601～1,000	1,001～	合 計	%	
679	97	36	15	22	715,605		1 か月あたりの 使用水量(m <sup>3</sup> )
0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	98.6	15.28
102,700	38,097	19,287	11,719	26,204	10,936,805		1 m <sup>3</sup> あたりの 供給単価(円)
0.9	0.3	0.2	0.1	0.2	100.0	86.5	148.05
27,533,000	11,961,961	6,308,181	3,965,247	9,088,552	1,619,222,465		1 か月あたりの 使用水量(m <sup>3</sup> )
1.7	0.7	0.4	0.2	0.6	100.0	74.7	214.79
968	355	105	172	247	4,836		1 m <sup>3</sup> あたりの 供給単価(円)
20.0	7.3	2.2	3.6	5.1	100.0	0.7	317.33
172,971	141,684	57,141	132,616	432,723	1,038,731		1 か月あたりの 使用水量(m <sup>3</sup> )
16.7	13.6	5.5	12.8	41.7	100.0	8.2	178.95
48,029,630	44,597,542	18,720,933	44,828,608	152,323,699	329,616,177		1 m <sup>3</sup> あたりの 供給単価(円)
14.6	13.5	5.7	13.6	46.2	100.0	15.2	326.33
631	167	63	132	133	3,524		1 か月あたりの 使用水量(m <sup>3</sup> )
17.9	4.7	1.8	3.7	3.8	100.0	0.5	178.95
109,527	64,818	34,534	102,907	287,176	630,624		1 m <sup>3</sup> あたりの 供給単価(円)
17.4	10.3	5.5	16.3	45.5	100.0	5.0	326.33
30,244,060	20,314,184	11,323,092	34,814,241	101,684,638	205,790,096		1 か月あたりの 使用水量(m <sup>3</sup> )
14.7	9.9	5.5	16.9	49.4	100.0	9.5	754.19
0	0	0	34	2	36		1 m <sup>3</sup> あたりの 供給単価(円)
0.0	0.0	0.0	94.4	5.6	100.0	0.0	85.56
0	0	0	24,959	2,192	27,151		1 か月あたりの 使用水量(m <sup>3</sup> )
0.0	0.0	0.0	91.9	8.1	100.0	0.2	5.03
0	0	0	2,106,739	216,286	2,323,025		1 m <sup>3</sup> あたりの 供給単価(円)
0.0	0.0	0.0	90.7	9.3	100.0	0.1	1,358.74
4	0	0	0	1	1,403		1 か月あたりの 使用水量(m <sup>3</sup> )
0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	100.0	0.2	17.43
546	0	0	0	1,264	7,051		1 m <sup>3</sup> あたりの 供給単価(円)
7.7	0.0	0.0	0.0	17.9	100.0	0.1	171.40
300,300	0	0	0	695,200	9,580,450		1 か月あたりの 使用水量(m <sup>3</sup> )
3.1	0.0	0.0	0.0	7.3	100.0	0.4	17.43
2,282	619	204	353	405	725,404		1 m <sup>3</sup> あたりの 供給単価(円)
0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	100.0	100.0	171.40
385,744	244,599	110,962	272,201	749,559	12,640,362		1 か月あたりの 使用水量(m <sup>3</sup> )
3.1	1.9	0.9	2.2	5.9	100.0	100.0	17.43
106,106,990	76,873,687	36,352,206	85,714,835	264,008,375	2,166,532,213		1 m <sup>3</sup> あたりの 供給単価(円)
4.9	3.5	1.7	4.0	12.2	100.0	100.0	171.40

## 6 大口需要者一覧表

大口需要者		年間使用量 (m <sup>3</sup> )	平均	
順位	業 種		1 か月 (m <sup>3</sup> )	1 日 (m <sup>3</sup> )
1	共用マンション	84,420	7,035	231
2	共用マンション	60,974	5,081	167
3	テナントビル	54,260	4,522	149
4	共用マンション	51,721	4,310	142
5	共用マンション	50,960	4,247	140
6	共用マンション	49,952	4,163	137
7	医療事業	48,769	4,064	134
8	医療事業	47,205	3,934	129
9	共用マンション	43,080	3,590	118
10	共用マンション	40,021	3,335	110
11	共用マンション	36,841	3,070	101
12	教 育	36,477	3,040	100
13	共用マンション	33,364	2,780	91
14	共用マンション	31,892	2,658	87
15	食品産業	31,306	2,609	86
16	共用マンション	29,254	2,438	80
17	共用マンション	27,961	2,330	77
18	共用マンション	26,930	2,244	74
19	教 育	26,460	2,205	72
20	工 場	25,985	2,165	71

7 水質検査表

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

検査項目	水質基準	灰塚配水場系（企業団村野系）			東部配水場系（企業団村野系）			深野系（企業団村野系）			大阪市水系		
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値
一般細菌	1 ml中100個以下	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし	検出なし
カドミウム及びその化合物	0.003mg/l以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
六価クロム化合物	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
トリクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
塩素酸	0.6mg/l以下	0.08	0.06未満	0.06未満	0.12	0.06未満	0.06未満	0.07	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満	0.06未満
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.006	0.006未満	0.006未満	0.014	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006未満	0.006	0.006未満	0.006未満
ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満
臭素酸	0.01mg/l以下	0.002	0.001未満	0.001	0.002	0.001未満	0.001	0.002	0.001未満	0.001	0.002	0.001未満	0.001
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.02	0.001未満	0.001未満	0.03	0.001未満	0.01	0.01	0.001未満	0.01	0.02	0.001未満	0.01
トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
ブロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.006	0.003未満	0.003未満	0.01	0.003未満	0.004	0.006	0.003未満	0.003	0.008	0.003未満	0.004
ブロモホルム	0.09mg/l以下	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満	0.009未満
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	14.0	13.3	13.6	14.8	13.8	14.3	13.6	13.6	13.6	14.9	14.9	14.8
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
塩化物イオン	200mg/l以下	17.0	11.2	14.3	17.3	11.5	14.5	17.3	11.5	14.5	13.6	6.0	10.4
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	45	35	40	45	35	41	45	35	41	48	33	40
蒸発残留物	500mg/l以下	99	75	88	101	77	89	95	77	88	106	85	95
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満
ジェオスミン	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/l以下	0.8	0.6	0.7	0.8	0.6	0.7	0.8	0.6	0.7	1.0	0.6	0.7
PH値	5.8以上8.6以下	7.68	7.08	7.35	7.74	7.08	7.46	7.50	7.11	7.26	7.88	7.40	7.61
味	異常でないこと	異常なし			異常なし			異常なし			異常なし		
臭気	異常でないこと	異常なし			異常なし			異常なし			異常なし		
色度	5度以下	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
濁度	2度以下	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満

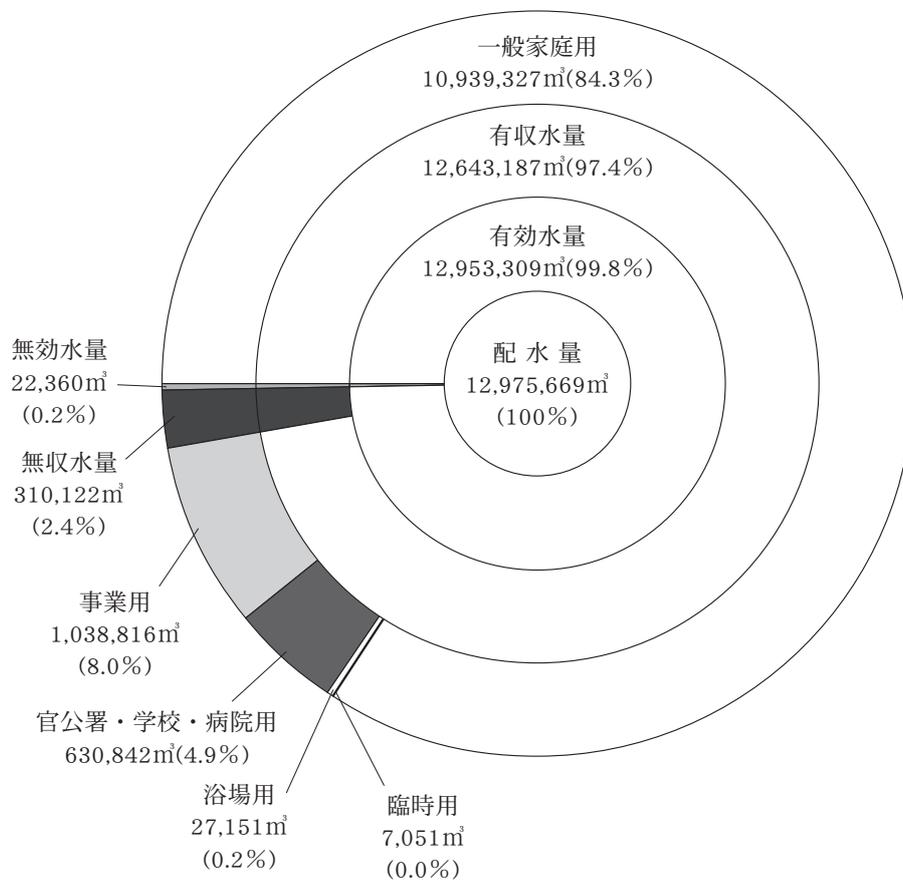
給水状況

## 8 配水量分析表

(単位：m<sup>3</sup>，%)

年 度 項 目	R 3 年度		R 2 年度		R 元年度	
	水 量	比 率	水 量	比 率	水 量	比 率
総 配 水 量	12,975,669	100.0	13,247,979	100.0	13,166,336	100.0
有 効 水 量	12,953,309	99.8	13,164,855	99.4	13,066,080	99.2
有 収 水 量	12,643,187	97.4	12,837,031	96.9	12,748,491	96.8
料 金 水 量	12,643,187	97.4	12,837,031	96.9	12,748,491	96.8
無 収 水 量	310,122	2.4	327,824	2.5	317,589	2.4
メーター不感水量	259,513	2.0	264,960	2.0	263,327	2.0
局 事 業 用 水 量	49,551	0.4	61,297	0.5	52,865	0.4
消 防 用 水 量	1,058	0.0	1,567	0.0	1,397	0.0
無 効 水 量	22,360	0.2	83,124	0.6	100,256	0.8

給水状況





## IV 料 金 調 定

- 1 料 金 表
- 2 水 道 料 金 調 定 収 入
- 3 メーター使用料金調定収入
- 4 年度別調定及び料金収納状況表  
(水道料金+メーター使用料金)
- 5 水道料金調定等件数一覧表
- 6 水道料金等収納種別件数一覧表  
(納 付 書 等)
- 7 月 別 検 針 状 況 表
- 8 府下各市水道料金比較表
- 9 料 金 変 遷 表
- 10 手 数 料 一 覧 表

## IV 料 金 調 定

### 1 料 金 表

(1) 水道料金表(1か月)

(平成22年10月1日適用)

料 金 用 途	基 本 料 金		超 過 料 金	
	水 量	料 金	水 量	料 金
一 般 用	m <sup>3</sup>  10	円  900	11~20m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき140円
			21~30	180
			31~50	220
			51~100	260
			101~300	300
			301以上	330
公 衆 浴 場 用	600	40,776	601~3,000	116
			3,001以上	135
臨 時 用	10	5,000	11以上	500

※ 上記の表により算定したそれぞれの額に消費税法(昭和63年法律第108号)の規定による消費税の額及び地方税法(昭和25年法律第226号)の規定による地方消費税の額に相当する額を加えた額(1円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とする。

(2) メーター使用料金、予納金及び加入金表

口 径	メーター使用料金 (1か月分)	予 納 金 臨 時 用	加 入 金	
			新設工事	増 径 工 事
mm	円	千円	円	増口径後の口径に係る加入金の額と、増口径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。
13	48	150	150,000	
20	87	150		
25	97	220	300,000	
40	194	管理者が別に定める。	1,000,000	
50	388		1,700,000	
75	1,067		4,000,000	
100	1,359		8,000,000	
150	2,524		22,500,000	
200	3,883		管理者が別に定める。	
実施年月日	H10. 4. 1	S53. 1. 1	H13. 4. 1	

※ 上記の表に掲げる区分により定められたメーター使用料金・加入金それぞれの額に消費税法(昭和63年法律第108号)の規定による消費税の額及び地方税法(昭和25年法律第226号)の規定による地方消費税の額に相当する額を加えた額(1円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額)とする。

## 2 水道料金調定収入

(消費税等込み)

種 別 月	調 定		収 入	
	件 数	金 額	件 数	金 額
	件	円	件	円
R 3年 4月	26,341	167,669,196	1,343	4,388,762
5月	29,663	187,809,352	22,824	152,855,406
6月	26,592	176,223,357	28,872	184,441,771
7月	29,655	191,950,938	24,813	170,263,255
8月	26,565	171,737,462	29,091	191,535,892
9月	29,663	197,955,779	27,470	175,780,273
10月	26,536	165,619,274	28,107	192,036,308
11月	29,633	188,525,831	26,162	165,980,669
12月	26,540	171,349,204	30,838	195,796,277
R 4年 1月	29,651	190,636,302	25,206	166,972,459
2月	26,612	175,561,858	28,106	184,453,246
3月	29,760	178,537,259	28,294	182,288,804
計	337,211	2,163,575,812	301,126	1,966,793,122
前 年 度	326,725	1,724,726,442	218,389	1,527,413,593
比較増減	10,486	438,849,370	82,737	439,379,529
%	(3.1)	(20.3)	(27.5)	(22.3)
備 考	( ) 内は対前年度増加率			

### 3 メーター使用料金調定収入

(消費税等込み)

種別 月	調定		収入	
	件数	金額	件数	金額
	件	円	件	円
R 3年 4月	23,910	4,082,718	1,111	189,475
5月	25,357	4,558,325	21,003	3,596,688
6月	24,135	4,147,638	25,094	4,504,539
7月	25,355	4,556,387	22,672	3,902,020
8月	24,102	4,127,686	25,234	4,526,410
9月	25,366	4,563,783	24,824	4,272,363
10月	24,083	4,129,159	24,573	4,407,953
11月	25,308	4,555,251	23,843	4,092,120
12月	24,066	4,127,328	26,648	4,778,551
R 4年 1月	25,346	4,561,286	23,032	3,961,885
2月	24,146	4,143,702	24,432	4,390,181
3月	25,455	4,574,380	25,517	4,391,762
計	296,629	52,127,643	267,983	47,013,947
前年度	295,413	51,779,441	267,295	46,776,874
比較増減	1,216	348,202	688	237,073
%	(0.4)	(0.7)	(0.3)	(0.5)
備考	( )内は対前年度増加率			

料金調定

#### 4 年度別調定及び料金収納状況表（水道料金+メーター使用料金）

項 目 年 度		調 定 額		収
		件 数 (件)	金 額 (円)	件 数 (件)
R 3	過 年 度	34,468	208,821,558	32,483
	現 年 度	337,211	2,215,703,455	304,033
	計	371,679	2,424,525,013	336,516
R 2	過 年 度	36,352	221,141,803	34,401
	現 年 度	326,725	1,776,505,883	293,879
	計	363,077	1,997,647,686	328,280
R 元	過 年 度	36,118	218,339,473	34,321
	現 年 度	335,570	2,250,269,231	300,757
	計	371,688	2,468,608,704	335,078
H30	過 年 度	35,730	217,403,251	34,150
	現 年 度	334,481	2,263,112,283	299,691
	計	370,211	2,480,515,534	333,841
H29	過 年 度	34,892	222,231,683	33,159
	現 年 度	333,545	2,274,319,978	299,027
	計	368,437	2,496,551,661	332,186

(消費税等込み)

入 額	未 収 額		収 入 率 (%)
	金 額 (円)	件 数 (件)	
203,556,168	1,985	5,265,390	97.5
2,011,226,335	33,178	204,477,120	90.8
2,214,782,503	35,163	209,742,510	91.3
215,457,260	1,951	5,684,543	97.4
1,572,325,353	32,846	204,180,530	88.5
1,787,782,613	34,797	209,865,073	89.5
212,934,466	1,797	5,405,007	97.5
2,033,737,837	34,813	216,531,394	90.4
2,246,672,303	36,610	221,936,401	91.0
212,584,504	1,580	4,818,747	97.8
2,048,832,034	34,790	214,280,249	90.5
2,261,416,538	36,370	219,098,996	91.2
216,955,630	1,733	5,276,053	97.6
2,060,831,982	34,518	213,487,996	90.6
2,277,787,612	36,251	218,764,049	91.2

料金調定

## 5 水道料金調定等件数一覧表

検 針 月	調 定 関 係									D 再 通 知 件 数
	A 調 定 件 数	B A口振 の替 う件 ち座数	B/A 口 座 振 替 率	口座振替件数内訳				C A納 付書 件 数	C/A 納 付書 率	
				銀 行	率	郵 便 局	率			
R3年4月	26,341	17,745	67.37	14,090	79.40	3,655	20.60	8,596	32.63	1,870
5月	29,663	19,893	67.06	16,395	82.42	3,498	17.58	9,770	32.94	1,912
6月	26,592	17,873	67.21	14,135	79.09	3,738	20.91	8,719	32.79	1,819
7月	29,655	19,882	67.04	16,366	82.32	3,516	17.68	9,773	32.96	2,270
8月	26,565	17,887	67.33	14,131	79.00	3,756	21.00	8,678	32.67	1,860
9月	29,663	19,893	67.06	16,382	82.35	3,511	17.65	9,770	32.94	1,874
10月	26,536	17,893	67.43	14,120	78.91	3,773	21.09	8,643	32.57	1,819
11月	29,633	19,911	67.19	16,406	82.40	3,505	17.60	9,722	32.81	1,779
12月	26,540	17,873	67.34	14,120	79.00	3,753	21.00	8,667	32.66	1,794
R4年1月	29,651	19,897	67.10	16,392	82.38	3,505	17.62	9,754	32.90	2,228
2月	26,612	17,946	67.44	14,193	79.09	3,753	20.91	8,666	32.56	1,783
3月	29,760	19,883	66.81	16,385	82.41	3,498	17.59	9,877	33.19	1,899
計	337,211	226,576		183,115		43,461		110,635		22,907
月平均	28,101	18,881	67.20	15,260	80.73	3,622	19.27	9,220	32.80	1,909

再 通 知 関 係						停 水 関 係					
E	F	D/A	E/B	F/C		G	G/A	G/D	H	H/A	
D再 の振 替 件 数	D納 の付 書 件 数	再 通 知 率	口 座 再 振 替 率	納再 送付 書率	納再 送付 書日	督 促 件 数	督 促 率	再不 通納 知率	停 水 月 日	停 水 率	停 水 月 日
件	件	%	%	%		件	%	%	件	%	
518	1,352	7.10	2.92	15.73	5/31	1,057	4.01	56.52	32	0.12	8/17
445	1,467	6.45	2.24	15.02	6/30	1,134	3.82	59.31	24	0.08	9/28
466	1,353	6.84	2.61	15.52	7/30	1,089	4.10	59.87	40	0.15	10/19
421	1,849	7.65	2.12	18.92	8/31	1,120	3.78	49.34	30	0.10	11/16
514	1,346	7.00	2.87	15.51	9/30	1,094	4.12	58.82	27	0.10	12/14
423	1,451	6.32	2.13	14.85	10/29	1,179	3.97	62.91	40	0.13	1/18
519	1,300	6.85	2.90	15.04	11/30	1,048	3.95	57.61	33	0.12	2/15
420	1,359	6.00	2.11	13.98	12/28	1,121	3.78	63.01	39	0.13	3/15
489	1,305	6.76	2.74	15.06	1/31	1,110	4.18	61.87	38	0.14	4/12
439	1,789	7.51	2.21	18.34	2/28	1,115	3.76	50.04	36	0.12	5/17
551	1,232	6.70	3.07	14.22	3/31	1,096	4.12	61.47	37	0.14	6/14
459	1,440	6.38	2.31	14.58	4/28	1,179	3.96	62.09	36	0.12	7/12
5,664	17,243					13,342			412		
472	1,437	6.80	2.52	15.56		1,112	3.96	58.57	34	0.12	

## 6 水道料金等収納種別件数一覧表（納付書等）

	水 道 料 金 等 収 納 種 別 内 訳							
	コンビニ 収 納	比 率	ゆうちょ 銀行収納	比 率	銀 行 ・ 市窓口等	比 率	小 計	比 率
	件	%	件	%	件	%	件	%
R 3年 4月	8,446	87.6	293	3.0	899	9.3	9,638	100
5月	6,581	85.9	304	4.0	779	10.2	7,664	100
6月	9,484	87.9	385	3.6	922	8.5	10,791	100
7月	6,455	83.9	361	4.7	874	11.4	7,690	100
8月	8,232	85.9	365	3.8	986	10.3	9,583	100
9月	8,840	88.2	310	3.1	870	8.7	10,020	100
10月	7,169	84.6	379	4.5	928	10.9	8,476	100
11月	7,596	87.2	354	4.1	766	8.8	8,716	100
12月	9,665	86.7	397	3.6	1,085	9.7	11,147	100
R 4年 1月	6,562	85.4	321	4.2	798	10.4	7,681	100
2月	7,395	87.0	233	2.7	871	10.2	8,499	100
3月	9,613	89.0	272	2.5	911	8.4	10,796	100
小 計	96,038		3,974		10,689		110,701	
月 平 均	8,003	86.6	331	3.6	891	9.7	9,225	100

収 納 業 務 委 託 料	口座振替手数料（税込）		
	銀行	収納件数1件につき	4.4円
	ゆうちょ銀行（郵便局）	収納件数1件につき	10円
	コンビニ取扱手数料（りそな決済サービスと一括契約）（税込）		
	電子計算手数料	基本料金1か月あたり	16,500円
		収納件数1件につき	0円
取扱手数料	収納件数1件につき	58.3円	

◎ 納付場所（令和4年3月31日現在）

○ 収納取扱金融機関

銀行 — みずほ・三菱UFJ・三井住友・りそな・京都  
池田泉州・南都・紀陽・関西みらい・みなと

信用金庫 — 大阪・大阪厚生・大阪シティ・大阪商工・北おおさか  
枚方・尼崎・京都

信用組合 — 大同・成協・のぞみ・近畿産業

労働金庫 — 近畿

農協 — 大阪東部

ゆうちょ銀行（郵便局） — 近畿二府四県のゆうちょ銀行（郵便局）

○ コンビニエンスストア

セブン-イレブン・ローソン・ファミリーマート・ミニストップ

ポプラ・生活彩家・くらしハウス・スリーエイト

セイコーマート・ハマナスクラブ・デイリーヤマザキ

ヤマザキスペシャルパートナーショップ

ニューヤマザキデイリーストア・MMK設置店

○ スマホ決済アプリ「PayB」「LINEPay」「楽天銀行」「PayPay」「auPAY」

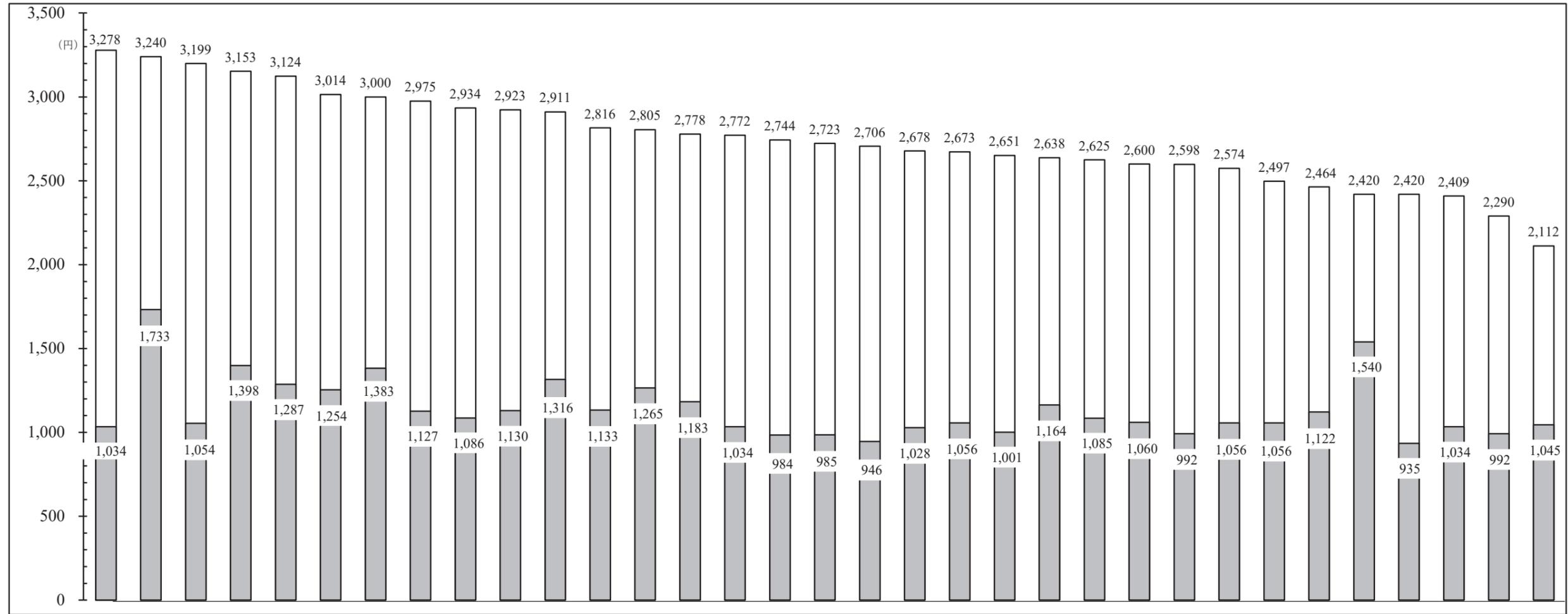
## 7 月 別 検 針 状 況 表

区分 月	検 針 件 数			左 の う ち 認 定 件 数				
	毎 月	隔 月	計	障 害	不 在	故 障	そ の 他	計
R 3 年 4 月	849	28,803	29,652	3	4	0	0	7
5 月	865	32,026	32,891	5	5	0	0	10
6 月	849	28,810	29,659	3	6	0	0	9
7 月	837	32,027	32,864	5	5	0	0	10
8 月	831	28,843	29,674	9	6	0	0	15
9 月	839	32,013	32,852	4	6	2	0	12
10 月	830	28,857	29,687	5	4	0	0	9
11 月	840	31,996	32,836	3	4	0	0	7
12 月	832	28,865	29,697	4	6	0	0	10
R 4 年 1 月	832	31,989	32,821	8	8	1	0	17
2 月	837	28,883	29,720	1	4	0	0	5
3 月	834	31,989	32,823	4	8	0	0	12
計	10,075	365,101	375,176	54	66	3	0	123
月 平 均	840	30,425	31,265	5	6	0	0	10

※備考 平成4年4月1日から検針業務全面委託

8 府下各市水道料金比較表 (一般家庭用・1か月・メーター口径20mm・メーター使用料金及び消費税等を含む)

(令和4年3月31日現在)



料金調定

金額																																		
市名	藤井寺市	泉南市	泉大津市	阪南市	松原市	泉佐野市	交野市	河内長野市	箕面市	四條畷市	高石市	富田林市	吹田市	摂津市	八尾市	羽曳野市	門真市	大阪狭山市	柏原市	岸和田市	池田市	守口市	大東市	寝屋川市	東大阪市	和泉市	豊中市	堺市	茨木市	高槻市	貝塚市	枚方市	大坂市	
料金体系	用	用	用	口	用	口用	口用	口	用	用	用	口	口	口用	口用	用	用	用	用	用	口用	用	用	用	用	用	口用	口	口	口用	口	口用	口用	用
料金改定実施時期	R 2 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 12 ・ 1	R 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 3 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 2 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 3 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 元 ・ 11 ・ 1	R 元 ・ 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 元 ・ 12 ・ 1	R 元 ・ 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 元 ・ 10 ・ 1	R 元 ・ 元 ・ 3 ・ 11 ・ 1									
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
基本水量	8	0	0	8	6	0	8	0	8	5・10	0	8	6	6	0	8	10	10	5	5	8	8	10	10	7	0	0	0	0	0	10	0	0	

棒グラフ { 使用水量20m³の水道料金 (白), 使用水量10m³の水道料金 (黒)

料金体系 { 用-用途別, 口-口径別

# 9 料金変遷表

## (1) 水道料金変遷表

用途別	改定年月日 料 金	昭和	28年4月	30年1月	34年9月	37年9月	41年4月			49年12月	51年11月	53年1月	53年10月	61年1月	平成	10年4月	13年4月	22年10月				
		24年7月					第1種	第2種	第3種						5年7月							
							(φ13)	(φ20)	(φ25)													
家事専用栓	基本水量(m³)	10	10	10	10	10				基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³	基本水量 10m³				
	基本料金(円)	100	140	180	230	300	一	8	15	20	基本料金 360円	基本料金 510円	基本料金 650円	基本料金 650円	基本料金 750円	基本料金 1,000円	基本料金 970円	基本料金 970円	基本料金 900円			
	超過料金(円/m³)	10	14	18	23	30	280	600	800	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)	超過料金(円/m³)		
家事用共用栓	基本水量(m³)	7	7	7	7	7	一 般 用	5	170	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³	11~20m³			
	基本料金(円)	70	100	125	160	210				21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³	21~30m³
	超過料金(円/m³)	10	14	18	23	30				31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³	31~50m³
病官 院公署・ 用学校	基本水量(m³)	20	20	20	20	20	50			一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ			
	基本料金(円)	160	280	360	460	600	2,000															
	超過料金(円/m³)	8	14	18	23	30	40															
公衆浴場用	基本水量(m³)	300	300	300	300	500	500			500	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600		
	基本料金(円)	2,500	3,500	4,800	6,900	14,000	18,500			20,000	25,000	27,000	27,000	33,000	42,000	40,776	40,776	40,776	40,776			
	超過料金(円/m³)	8	12	16	23	30	40			50	80	90	100	110	601~3000m³ 3001以上 120 140	601~3000m³ 3001以上 116 135	601~3000m³ 3001以上 116 135	601~3000m³ 3001以上 116 135				
事業用	基本水量(m³)	100	100	100	100	第1種	第2種	第3種	(φ30~φ50)	(φ75~φ100)	(φ125~φ150)	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ			
	基本料金(円)	1,000	1,400	1,800	2,300	300	3,000	5,000	200	2,000	5,000											
	超過料金(円/m³)	10	14	18	23	9,000	90,000	150,000	8,000	80,000	200,000											
プール用	基本水量(m³)	—	—	—	500	500			500			一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ			
	基本料金(円)	—	—	—	11,500	14,000			公設プール 18,500 私設プール 30,000													
	超過料金(円/m³)	—	—	—	23	30			40	70	※											
鑑賞用	基本水量(m³)	5	5	5	5	5	5			一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ	一般用に同じ			
	基本料金(円)	150	200	200	250	250	300															
	超過料金(円/m³)	40	50	50	50	50	60															
臨時用	基本水量(m³)	1	1	1	1	1	1			1	10	10	10	10	10	10	10	10	10			
	基本料金(円)	40	40	40	40	40	60			150	1,500	2,500	2,500	3,000	4,000	3,883	5,000	5,000				
	超過料金(円/m³)	40	40	40	40	40	60			150	250	280	300	350	350	436	500	500				

※私設プールは7, 8, 9月の3か月に適用し、他の月は公設プールと同じ

料金調定

## (2) 加入金変遷表

(昭和49年10月15日制定)

口 径	加 入 金 (新設工事)
mm	円
13	60,000
20	60,000
25	110,000
40	400,000
50	700,000
75	2,000,000
100	4,300,000
150	13,000,000
150mmを超えるもの	市長が別に定める

(昭和53年1月1日改定)

口 径	加 入 金		
	新 設 工 事	増 径 工 事	
mm	円		
13	90,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は増径後の口径に係る加入金の額と60,000円との差額。	
20	90,000		
25	170,000		
40	530,000		
50	920,000		
75	2,500,000		
100	5,000,000		
150	14,000,000		
150mmを超えるもの	市長が別に定める		

(昭和60年4月1日改定)

口 径	加 入 金		
	新 設 工 事	増 径 工 事	
mm	円		
13	90,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は増径後の口径に係る加入金の額と60,000円との差額。	
20	90,000		
25	170,000		
40	530,000		
50	920,000		
75	2,500,000		
100	5,000,000		
150	14,000,000		
150mmを超えるもの	管理者が別に定める		

(平成5年7月1日改定)

口 径	加 入 金		
	新 設 工 事	増 径 工 事	
mm	円		
20以下	130,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。	
25	260,000		
40	840,000		
50	1,450,000		
75	3,500,000		
100	7,000,000		
150	19,600,000		
150mmを超えるもの	管理者が別に定める		

料金調定

(平成10年4月1日改定)

消費税抜き

口 径	加 入 金		
	新 設 工 事	増 径 工 事	
mm	円		
20以下	126,200	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。	
25	252,400		
40	815,500		
50	1,407,700		
75	3,398,000		
100	6,796,100		
150	19,029,100		
150mmを超えるもの	管理者が別に定める		

(平成13年4月1日改定)

消費税抜き

口 径	加 入 金		
	新 設 工 事	増 径 工 事	
mm	円		
20以下	150,000	増径後の口径に係る加入金の額と、増径前の口径に係る加入金の額との差額。 ただし、13mmから20mm以上に増径の場合は、管理者が別に定める。	
25	300,000		
40	1,000,000		
50	1,700,000		
75	4,000,000		
100	8,000,000		
150	22,500,000		
150mmを超えるもの	管理者が別に定める		

## 10 手数料一覧表

※大東市水道事業給水条例第31条

(令和元年10月1日改定)

種類	口径		単位	金額	備考
1 設計手数料	給水管の最大口径	30mm未満	1件	1,000円	
		75mm未満	1件	2,000円	
		75mm以上	1件	3,000円	
2 設計審査手数料	給水管の最大口径	30mm未満	1件	1,000円	13mm以下で、給水栓1栓のみを追加する場合の工事については徴収しない。
		75mm未満	1件	2,000円	
		75mm以上	1件	3,000円	
3 竣工検査手数料 (補修を要する場合の再検査手数料についても、同様とする。)	給水管の最大口径	30mm未満	1件	3,000円	13mm以下で、給水栓1栓のみを追加する場合の工事については徴収しない。
		75mm未満	1件	5,000円	
		75mm以上	1件	8,000円	
4 指定給水装置工事事業者指定手数料			1件	5,000円	
5 指定給水装置工事事業者指定更新手数料			1件	5,000円	
6 証書交付手数料			1件	500円	
7 メーター試験手数料	メーターの口径	25mm以下	1個	300円	
		40mm	1個	2,000円	
		50mm	1個	2,000円	
		75mm	1個	6,000円	
		100mm以上	1個	10,000円	

# V 給水装置工事 及び修繕工事状況

- 1 給水装置工事实績表
- 2 量水器関係工事实績表
- 3 修繕工事实績表
- 4 指定給水装置工事事業者

## V 給水装置工事及び修繕工事状況

### 1 給水装置工事实績表

(単位：件)

月	種別	新設工事			増口径			改設			合計			(穿孔)			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 3年	4月	24		24	20		20	7		7	51		51			(6)	
	5月	26		26	11		11	9		9	46		46			(8)	
	6月	24		24	16		16	2		2	42		42			(12)	
	7月	9		9	8		8	11		11	28		28			(23)	
	8月	5		5	10		10	6		6	21		21			(8)	
	9月	11		11	9		9	2		2	22		22			(9)	
	10月	13		13	14		14	9		9	36		36			(7)	
	11月	18		18	9		9	5		5	32		32			(11)	
	12月	11		11	6		6	6		6	23		23			(11)	
	R 4年	1月	9		9	19		19	13		13	41		41			(21)
		2月	9		9	6		6	5		5	20		20			(17)
		3月	23		23	21		21	3		3	47		47			(14)
計	182		182	149		149	78		78	409		409			(147)		

### 2 量水器関係工事实績表

#### (1) 開栓・閉栓等

(単位：件)

月	種別	新設開栓			既設開栓			閉栓			停水(無届停水含む)			合計			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 3年	4月	0	64	64	0	390	390	0	360	360	0	51	51	0	865	865	
	5月	0	50	50	0	288	288	0	294	294	0	33	33	0	665	665	
	6月	0	87	87	0	299	299	0	300	300	0	56	56	0	742	742	
	7月	0	62	62	0	310	310	0	262	262	0	37	37	0	671	671	
	8月	0	60	60	0	242	242	0	318	318	0	39	39	0	659	659	
	9月	0	42	42	0	291	291	0	279	279	0	34	34	0	646	646	
	10月	0	58	58	0	301	301	0	270	270	0	50	50	0	679	679	
	11月	0	44	44	0	282	282	0	311	311	0	38	38	0	675	675	
	12月	0	48	48	0	249	249	0	305	305	0	36	36	0	638	638	
	R 4年	1月	0	52	52	0	262	262	0	277	277	0	48	48	0	639	639
		2月	0	43	43	0	336	336	0	354	354	0	39	39	0	772	772
		3月	0	105	105	0	619	619	0	478	478	0	52	52	0	1,254	1,254
計	0	715	715	0	3,869	3,869	0	3,808	3,808	0	513	513	0	8,905	8,905		

#### (2) 量水器取替

(単位：件)

月	種別	量水器取替			
		開栓	検満	合計	
R 3年	4月	46	1,014	1,060	
	5月	38	2	40	
	6月	33	1,004	1,037	
	7月	38	1,223	1,261	
	8月	28	69	97	
	9月	36	1,072	1,108	
	10月	27	1,031	1,058	
	11月	30	1,243	1,273	
	12月	21	3	24	
	R 4年	1月	23	27	50
		2月	26	23	49
		3月	44	89	133
計	390	6,800	7,190		

給水装置工事  
及び修繕工事状況

### 3 修繕工事实績表

#### (1) 屋内・外修繕

(単位：件)

月	種別	給水栓取替			パッキン取替			給水栓ネジ込			止水栓取替			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 3年	4月	0	2	2	0	7	7	0	0	0	0	4	4	
	5月	0	1	1	0	4	4	0	0	0	0	1	1	
	6月	0	6	6	0	5	5	0	1	1	0	3	3	
	7月	0	3	3	0	4	4	0	0	0	0	1	1	
	8月	0	3	3	0	7	7	0	1	1	0	4	4	
	9月	0	5	5	0	3	3	0	2	2	0	3	3	
	10月	0	1	1	0	7	7	0	0	0	0	1	1	
	11月	0	6	6	0	8	8	0	1	1	0	0	0	
	12月	0	1	1	0	7	7	0	0	0	0	4	4	
	R 4年	1月	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	1	1
		2月	0	4	4	0	5	5	0	0	0	0	1	1
		3月	0	0	0	0	6	6	0	1	1	0	0	0
計		0	34	34	0	65	65	0	6	6	0	23	23	

月	種別	止水栓			メーター			VP・PP管			鉛管			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 3年	4月	0	24	24	0	3	3	0	7	7	1	2	3	
	5月	3	28	31	0	1	1	0	3	3	0	0	0	
	6月	2	21	23	0	0	0	2	9	11	0	2	2	
	7月	0	25	25	0	0	0	1	2	3	0	0	0	
	8月	5	52	57	1	7	8	2	14	16	0	0	0	
	9月	6	63	69	3	6	9	2	15	17	0	0	0	
	10月	3	52	55	0	6	6	2	19	21	1	0	1	
	11月	4	33	37	0	0	0	0	9	9	0	3	3	
	12月	0	40	40	0	1	1	4	21	25	0	4	4	
	R 4年	1月	4	29	33	0	0	0	5	8	13	0	0	0
		2月	2	25	27	0	0	0	4	8	12	0	3	3
		3月	1	38	39	0	2	2	0	7	7	0	1	1
計		30	430	460	4	26	30	22	122	144	2	15	17	

月	種別	鋼管			その他			合計			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 3年	4月	0	0	0	3	57	60	4	106	110	
	5月	0	0	0	7	61	68	10	99	109	
	6月	0	0	0	8	88	96	12	135	147	
	7月	0	0	0	8	63	71	9	98	107	
	8月	0	0	0	9	71	80	17	159	176	
	9月	0	0	0	12	69	81	23	166	189	
	10月	0	0	0	13	79	92	19	165	184	
	11月	0	0	0	8	60	68	12	120	132	
	12月	0	0	0	10	59	69	14	137	151	
	R 4年	1月	0	0	0	6	93	99	15	135	150
		2月	0	0	0	6	64	70	12	110	122
		3月	0	0	0	3	82	85	4	137	141
計		0	0	0	93	846	939	151	1,567	1,718	

給水装置工事  
及び修繕工事状況

## (2) 道路上漏水修繕

(単位：件)

月	種別	石綿管			铸铁管			VP・PP管			鉛管			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 3年	4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
	5月	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	
	6月	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
	7月	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	
	8月	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
	9月	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	0	0	
	10月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	
	11月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
	12月	0	0	0	0	1	1	0	5	5	0	0	0	
	R 4年	1月	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0
		2月	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0
		3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
計		0	0	0	0	3	3	0	24	24	0	9	9	

月	種別	仕切弁			消火栓			合計			
		直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計	
R 3年	4月	0	1	1	0	0	0	0	4	4	
	5月	0	8	8	1	2	3	1	14	15	
	6月	0	3	3	1	0	1	1	4	5	
	7月	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
	8月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
	9月	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
	10月	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
	11月	1	0	1	0	0	0	1	1	2	
	12月	0	0	0	0	0	0	0	6	6	
	R 4年	1月	0	0	0	0	1	1	0	5	5
		2月	0	0	0	0	1	1	0	6	6
		3月	0	0	0	0	0	0	0	2	2
計		1	12	13	2	4	6	3	52	55	

## 4 指定給水装置工事事業者

平成10年4月1日からの水道法改正で、市民サービス向上を目的とする規制緩和がなされ、令和3年度末現在、当市では357者を指定しており、その内訳は次の通りです。

### 都道府県・市町村別指定業者数（事業所所在地別）

令和3年度末現在

#### ○大阪府……325者

市町村名	大東市	大阪市	東大阪市	枚方市	寝屋川市	門真市	四條畷市
業者数	42	53	39	23	26	9	10

市町村名	守口市	堺市	高槻市	八尾市	交野市	岸和田市	松原市
業者数	13	27	8	10	6	5	5

市町村名	摂津市	吹田市	柏原市	羽曳野市	箕面市	藤井寺市	茨木市
業者数	2	5	3	5	1	2	8

市町村名	貝塚市	河内長野市	豊中市	富田林市	和泉市	泉大津市	泉佐野市
業者数	1	2	4	2	4	2	3

市町村名	豊能町	高石市	池田市	阪南市	河南町
業者数	1	1	1	1	1

#### ○兵庫県……7者

市町村名	尼崎市	神戸市	西宮市	宝塚市
業者数	2	3	1	1

#### ○奈良県……6者

市町村名	奈良市	生駒市	大和郡山市	葛城市
業者数	3	1	1	1

#### ○京都府……7者

市町村名	京都市	宇治市	八幡市	精華町	木津川市
業者数	1	1	1	3	1

#### ○神奈川県……1者

市町村名	横浜市
業者数	1

#### ○東京都……5者

市町村名	渋谷区	世田谷区	港区
業者数	3	1	1

#### ○愛媛県……1者

市町村名	松山市
業者数	1

#### ○広島県……3者

市町村名	広島市	福山市
業者数	2	1

#### ○愛知県……2者

市町村名	名古屋市
業者数	2

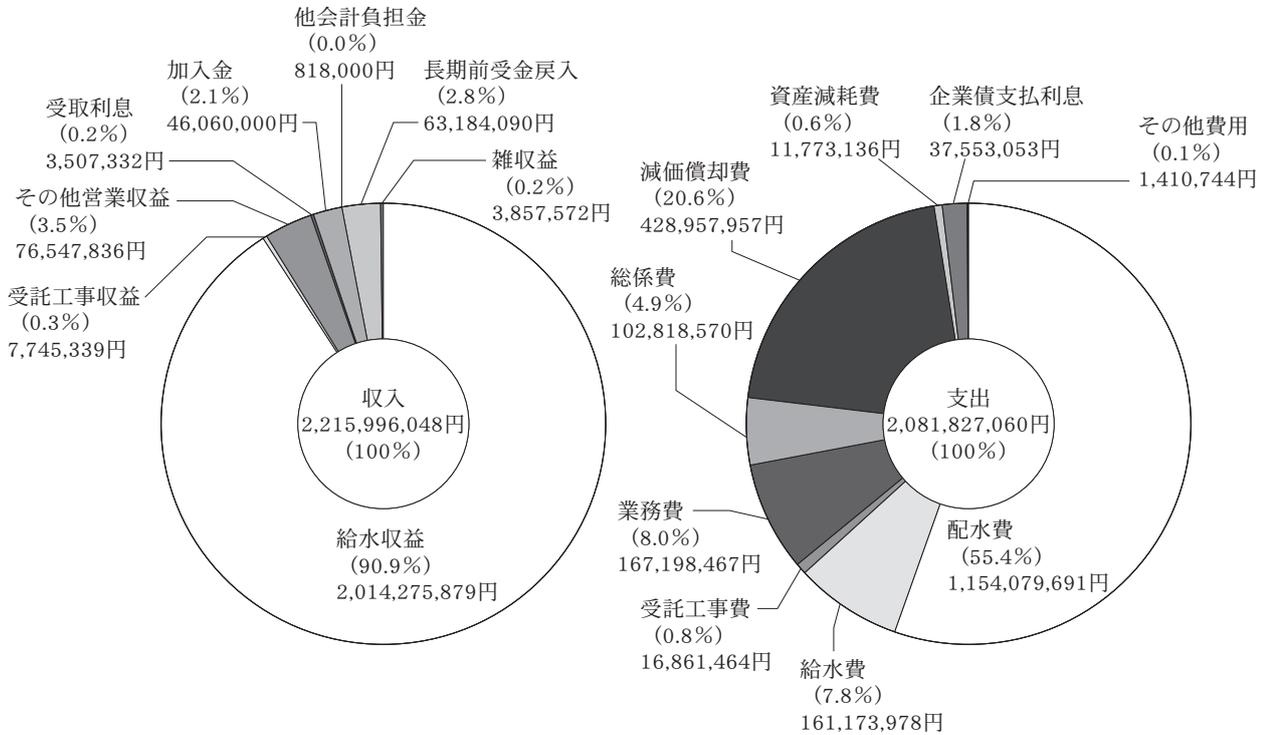
## VI 財 務 狀 況

- 1 収益的・資本的収支構成図
- 2 収 益 的 収 支
- 3 資 本 的 収 支
- 4 貸 借 対 照 表
- 5 企 業 債 償 還 証 明 書
- 6 企 業 債 利 率 別 未 償 還 残 高
- 7 有 形 固 定 資 産 明 細 書
- 8 經 営 分 析
- 9 費 用 構 成 表
- 10 水 道 料 金 原 価 表
- 11 東 部 大 阪 各 市 決 算 比 較 表

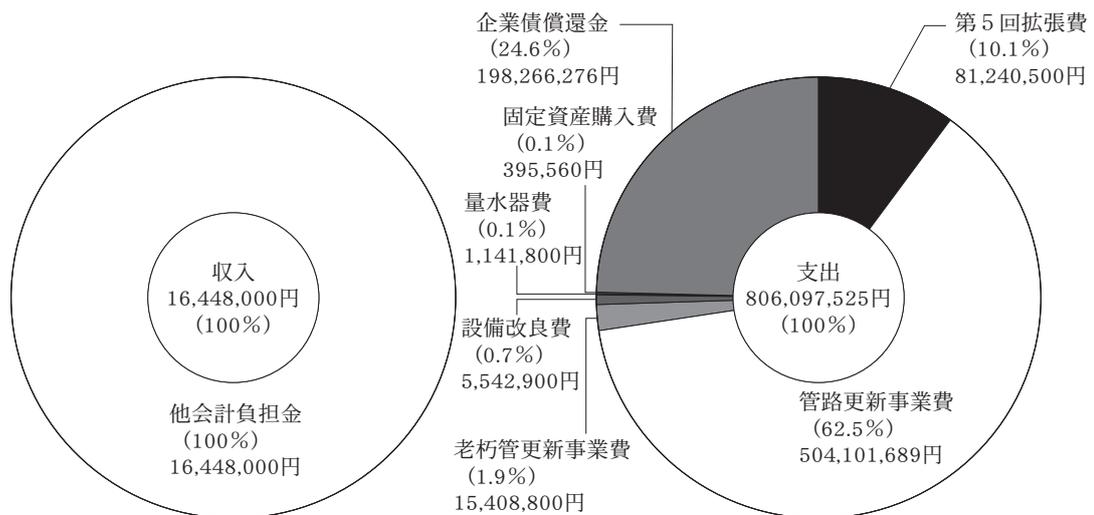
# VI 財 務 状 況

## 1 収益的・資本的収支構成図

【収益的収支】(消費税抜き)



【資本的収支】(消費税込み)



## 2 収 益 の 収 支

科 目	R 3 年 度		R 2 年 度		R 元 年 度		H 30 年 度	
	金 額	構成比						
	円	%	円	%	円	%	円	%
収 入	2,215,996,048	100.0	2,128,324,389	100.0	2,313,781,177	100.0	2,332,064,275	100.0
営業収益	2,098,569,054	94.7	1,685,904,277	79.2	2,137,197,287	92.4	2,164,032,616	92.8
給水収益	2,014,275,879	90.9	1,615,005,359	75.9	2,069,906,484	89.5	2,095,474,347	89.8
受託工事収益	7,745,339	0.3	5,581,046	0.2	4,522,700	0.2	6,443,748	0.3
その他営業収益	76,547,836	3.5	65,317,872	3.1	62,768,103	2.7	62,114,521	2.7
営業外収益	117,426,994	5.3	442,420,112	20.8	176,583,890	7.6	168,031,659	7.2
受取利息	3,507,332	0.2	3,379,251	0.2	2,452,042	0.1	1,261,669	0.0
加入金	46,060,000	2.1	62,990,000	3.0	84,650,000	3.7	86,970,000	3.7
他会計補助金	0	0.0	306,474,768	14.4	0	0.0	0	0.0
他会計負担金	818,000	0.0	976,000	0.0	1,008,000	0.0	1,412,000	0.1
長期前受金戻入	63,184,090	2.8	64,756,287	3.0	83,553,139	3.6	74,567,471	3.2
雑収益	3,857,572	0.2	3,843,806	0.2	4,920,709	0.2	3,820,519	0.2
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
固定資産売却益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
支 出	2,081,827,060	100.0	2,053,054,396	100.0	2,181,729,539	100.0	2,099,220,478	100.0
営業費用	2,042,863,263	98.1	2,008,807,019	97.8	2,133,578,109	97.8	2,046,921,500	97.5
配水費	1,154,079,691	55.4	1,136,490,657	55.4	1,182,870,000	54.2	1,196,939,813	57.0
給水費	161,173,978	7.8	143,881,816	7.0	120,234,308	5.5	143,370,889	6.8
受託工事費	16,861,464	0.8	14,442,576	0.7	13,401,327	0.6	14,422,292	0.7
業務費	167,198,467	8.0	169,324,712	8.2	175,081,442	8.0	156,625,914	7.4
総係費	102,818,570	4.9	110,802,239	5.4	107,011,421	4.9	116,983,091	5.6
減価償却費	428,957,957	20.6	426,604,830	20.8	417,940,149	19.2	385,479,277	18.4
資産減耗費	11,773,136	0.6	7,260,189	0.3	117,039,462	5.4	33,100,224	1.6
その他営業費用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
営業外費用	38,963,797	1.9	44,247,377	2.2	48,151,430	2.2	52,298,978	2.5
支払利息	37,553,053	1.8	42,392,333	2.1	47,085,468	2.2	51,613,382	2.5
雑支出	1,410,744	0.1	1,855,044	0.1	1,065,962	0.0	685,596	0.0
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
当年度純利益	134,168,988		75,269,993		132,051,638		232,843,797	

※企業の経営成績を明らかにするために、当該事業年度に発生した全ての収益と費用について記載し、純損

(消費税抜き)

H 29 年 度		す う 勢 比 率					備 考
金 額	構成比	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度	H30年度	H29年度	
円	%	%	%	%	%	%	
2,307,699,427	100.0	96	92	100	101	100	
2,170,909,203	94.1	97	78	98	100	100	
2,105,851,844	91.3	96	77	98	100	100	水道料金及びメーター使用料金収入
4,299,852	0.2	180	130	105	150	100	給水工事収入
60,757,507	2.6	126	108	103	102	100	材料売却及び手数料収入
136,790,224	5.9	86	323	129	123	100	
2,013,218	0.1	174	168	122	63	100	預金利息
57,500,000	2.5	80	110	147	151	100	
0	0.0	-	皆増	-	-	-	
1,296,000	0.0	63	75	78	109	100	
72,266,512	3.1	87	90	116	103	100	
3,714,494	0.2	104	103	132	103	100	
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	-	-	-	-	-	
2,081,853,580	100.0	100	99	105	101	100	
2,024,398,096	97.2	101	99	105	101	100	
1,214,874,197	58.3	95	94	97	99	100	取水、配水、施設維持管理
129,439,801	6.2	125	111	93	111	100	給水施設の維持管理
12,456,094	0.6	135	116	108	116	100	給水施設の新設・修繕の受託工事費用
155,236,036	7.5	108	109	113	101	100	料金の調定、検針業務に関する費用
123,987,449	6.0	83	89	86	94	100	事業活動の全般に関する費用
387,868,699	18.6	111	110	108	99	100	固定資産の減価償却費
535,820	0.0	2,197	1,355	21,843	6,177	100	固定資産の除却及びたな卸資産減耗費
0	0.0	-	-	-	-	-	
57,455,484	2.8	68	77	84	91	100	
55,795,406	2.7	67	76	84	93	100	企業債利息
1,660,078	0.1	85	112	64	41	100	
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	-	-	-	-	-	
225,845,847		59	33	58	103	100	

財務状況

益を表示したものです。

### 3 資本的収支

年度 科目	R 3 年 度		R 2 年 度		R 元 年 度		H 30 年 度	
	金 額	構成比						
	円	%	円	%	円	%	円	%
資本的収入	16,448,000	100.0	14,637,434	100.0	28,016,500	100.0	11,670,000	100.0
企業債	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
工事負担金	0	0.0	6,368,434	43.5	14,476,500	51.7	0	0.0
他会計負担金	16,448,000	100.0	8,269,000	56.5	13,540,000	48.3	11,670,000	100.0
固定資産売却代金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
資本的支出	806,097,525	100.0	729,688,308	100.0	651,349,538	100.0	729,936,837	100.0
建設改良費	607,831,249	75.4	534,174,351	73.2	461,905,458	70.9	547,658,832	75.0
第5回拡張費	81,240,500	10.1	34,647,800	4.7	18,494,820	2.8	16,128,720	2.2
管路更新事業	504,101,689	62.5	365,559,236	50.1	288,184,098	44.2	311,336,668	42.6
老朽管更新事業	15,408,800	1.9	3,279,100	0.4	31,255,400	4.8	7,279,200	1.0
設備改良費	5,542,900	0.7	120,830,600	16.6	39,301,640	6.0	159,749,084	21.9
受託配水管工事費	0	0.0	6,264,500	0.9	16,005,000	2.5	0	0.0
量水器費	1,141,800	0.1	810,480	0.1	939,400	0.2	2,160,000	0.3
固定資産購入費	395,560	0.1	2,782,635	0.4	67,725,100	10.4	51,005,160	7.0
企業債償還金	198,266,276	24.6	195,513,957	26.8	189,444,080	29.1	182,278,005	25.0
出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
収支差引	△ 789,649,525		△ 715,050,874		△ 623,333,038		△ 718,266,837	

※施設の整備、拡充等に要した建設改良費、その資金としての企業債収入及び現有する施設に要した企業債

(消費税込み)

H 29 年 度		す う 勢 比 率					備 考
金 額	構成比	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度	H30年度	H29年度	
円	%	%	%	%	%	%	
56,070,000	100.0	29	26	50	21	100	
40,000,000	71.3	0	0	0	0	100	
0	0.0	-	皆増	皆増	-	-	受託工事収入
16,070,000	28.7	102	51	84	73	100	新設消火栓設置に伴う負担金収入
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	-	-	-	-	-	
0	0.0	-	-	-	-	-	
716,502,684	100.0	113	102	91	102	100	
541,530,574	75.6	112	99	85	101	100	
52,311,960	7.3	155	66	35	31	100	施設建設費用 配水管布設工事費用
7,329,960	1.0	6,877	4,987	3,932	4,247	100	
225,743,125	31.5	7	1	14	3	100	
221,864,149	31.0	2	54	18	72	100	配水管の布設替工事費用
0	0.0	-	皆増	皆増	-	-	配水管の移設等の受託工事費用
2,964,060	0.4	39	27	32	73	100	メーター購入費用
31,317,320	4.4	1	9	216	163	100	
174,972,110	24.4	113	112	108	104	100	企業債の元金償還金
0	0.0	-	-	-	-	-	
△ 660,432,684		120	108	94	109	100	

の元金償還等を表示したものです。

## 4 貸借対照表

### (1) 借方

年度 科目	R 3 年 度		R 2 年 度		R 元 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	円	%	円	%	円	%
固定資産	10,417,981,812	76.9	10,304,551,083	75.3	10,250,984,385	74.3
有形固定資産	10,417,164,812	76.9	10,303,734,083	75.3	10,250,167,385	74.3
土地	720,905,422	5.3	720,905,422	5.3	720,905,422	5.2
建物	498,781,640	3.7	512,945,635	3.7	527,109,630	3.8
構築物	8,051,424,987	59.4	7,943,359,751	58.0	7,876,435,711	57.1
機械及び装置	902,933,587	6.7	975,363,787	7.1	934,549,777	6.8
車両及び運搬具	6,447,136	0.1	8,190,455	0.1	7,154,464	0.1
工具器具及び備品	85,681,921	0.6	117,803,324	0.9	157,907,796	1.1
建設仮勘定	150,990,119	1.1	25,165,709	0.2	26,104,585	0.2
投資	817,000	0.0	817,000	0.0	817,000	0.0
投資	817,000	0.0	817,000	0.0	817,000	0.0
流動資産	3,134,926,713	23.1	3,384,629,786	24.7	3,550,747,408	25.7
現金及び預金	2,902,071,590	21.4	3,152,225,693	23.0	3,305,479,980	23.9
未収金	207,603,514	1.5	228,163,339	1.7	226,560,372	1.7
未収金	212,609,703	—	233,783,294	—	232,070,601	—
貸倒引当金	△ 5,006,189	—	△ 5,619,955	—	△ 5,510,229	—
貯蔵品	4,051,609	0.0	4,240,754	0.0	5,207,056	0.0
短期貸付金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
前払金	21,200,000	0.2	0	0.0	13,500,000	0.1
借方合計	13,552,908,525	100.0	13,689,180,869	100.0	13,801,731,793	100.0

※企業の財政状態を明らかにするために、保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表示したものです。

H 30 年 度		H 29 年 度		す う 勢 比 率				
金 額	構成比	金 額	構成比	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度	H30年度	H29年度
円	%	円	%	%	%	%	%	%
10,305,076,395	74.0	10,215,166,742	73.1	102	101	100	101	100
10,304,259,395	74.0	10,214,349,742	73.1	102	101	100	101	100
720,905,422	5.2	720,905,422	5.2	100	100	100	100	100
522,441,350	3.8	398,696,359	2.8	125	129	132	131	100
7,901,448,697	56.7	7,905,992,632	56.6	102	100	100	100	100
992,387,492	7.1	813,577,676	5.8	111	120	115	122	100
4,207,417	0.0	4,769,402	0.0	135	172	150	88	100
148,688,103	1.1	108,299,342	0.8	79	109	146	137	100
14,180,914	0.1	262,108,909	1.9	58	10	10	5	100
817,000	0.0	817,000	0.0	100	100	100	100	100
817,000	0.0	817,000	0.0	100	100	100	100	100
3,627,624,605	26.0	3,758,977,056	26.9	83	90	94	97	100
3,404,057,926	24.4	3,430,727,772	24.6	85	92	96	99	100
218,621,404	1.6	223,359,243	1.6	93	102	101	98	100
223,880,597	—	228,576,775	—	93	102	102	98	100
△ 5,259,193	—	△ 5,217,532	—	96	108	106	101	100
4,945,275	0.0	4,890,041	0.0	83	87	106	101	100
0	0.0	100,000,000	0.7	0	0	0	0	100
0	0.0	0	0.0	皆増	—	皆増	—	—
13,932,701,000	100.0	13,974,143,798	100.0	97	98	99	100	100

## (2) 貸 方

年度 科目	R 3 年 度		R 2 年 度		R 元 年 度	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	円	%	円	%	円	%
<b>負 債</b>	<b>4,532,891,636</b>	<b>33.4</b>	<b>4,803,332,968</b>	<b>35.1</b>	<b>4,991,153,885</b>	<b>36.2</b>
<b>固 定 負 債</b>	<b>2,419,936,504</b>	<b>17.9</b>	<b>2,621,843,850</b>	<b>19.2</b>	<b>2,817,148,194</b>	<b>20.4</b>
企 業 債	1,522,054,372	11.2	1,720,107,565	12.6	1,918,373,840	13.9
退職給付引当金	143,847,899	1.1	131,928,543	1.0	140,714,012	1.0
特別修繕引当金	69,610,891	0.5	64,979,400	0.5	53,232,000	0.4
修 繕 引 当 金	684,423,342	5.1	704,828,342	5.1	704,828,342	5.1
<b>流 動 負 債</b>	<b>655,386,730</b>	<b>4.8</b>	<b>677,184,626</b>	<b>4.9</b>	<b>619,582,346</b>	<b>4.5</b>
企 業 債	198,053,192	1.5	198,266,275	1.4	195,513,957	1.4
賞 与 引 当 金	16,969,338	0.1	18,227,105	0.1	17,877,957	0.1
未 払 金	364,761,318	2.7	378,780,585	2.8	339,765,095	2.5
前 受 金	177,042	0.0	179,178	0.0	53,666	0.0
預 り 金	75,425,840	0.5	81,731,483	0.6	66,371,671	0.5
<b>繰 延 収 益</b>	<b>1,457,568,402</b>	<b>10.7</b>	<b>1,504,304,492</b>	<b>11.0</b>	<b>1,554,423,345</b>	<b>11.3</b>
長期前受金	3,252,630,516	—	3,281,960,367	—	3,292,976,292	—
長期前受金収 益 化 累 計 額	△ 1,795,062,114	—	△ 1,777,655,875	—	△ 1,738,552,947	—
<b>資 本</b>	<b>9,020,016,889</b>	<b>66.6</b>	<b>8,885,847,901</b>	<b>64.9</b>	<b>8,810,577,908</b>	<b>63.8</b>
<b>資 本 金</b>	<b>7,903,491,852</b>	<b>58.3</b>	<b>7,738,735,565</b>	<b>56.5</b>	<b>7,555,182,426</b>	<b>54.7</b>
資 本 金	7,903,491,852	58.3	7,738,735,565	56.5	7,555,182,426	54.7
<b>剰 余 金</b>	<b>1,116,525,037</b>	<b>8.3</b>	<b>1,147,112,336</b>	<b>8.4</b>	<b>1,255,395,482</b>	<b>9.1</b>
資 本 剰 余 金	11,991,000	0.1	11,991,000	0.1	11,991,000	0.1
利 益 剰 余 金	1,104,534,037	8.2	1,135,121,336	8.3	1,243,404,482	9.0
積 立 金	700,000,000	5.2	750,000,000	5.5	850,000,000	6.2
繰越利益剰余金	120,365,049	0.9	209,851,343	1.5	161,352,844	1.2
当年度純利益	134,168,988	1.0	75,269,993	0.6	132,051,638	0.9
その他未処分 利 益 剰 余 金	150,000,000	1.1	100,000,000	0.7	100,000,000	0.7
<b>貸 方 合 計</b>	<b>13,552,908,525</b>	<b>100.0</b>	<b>13,689,180,869</b>	<b>100.0</b>	<b>13,801,731,793</b>	<b>100.0</b>

H 30 年 度		H 29 年 度		す う 勢 比 率				
金 額	構成比	金 額	構成比	R 3 年 度	R 2 年 度	R 元 年 度	H30年 度	H29年 度
円	%	円	%	%	%	%	%	%
5,254,174,730	37.8	5,528,461,325	39.6	82	87	90	95	100
3,020,678,651	21.7	3,223,992,303	23.1	75	81	87	94	100
2,113,887,797	15.2	2,303,331,877	16.5	66	75	83	92	100
146,901,512	1.1	147,004,334	1.0	98	90	96	100	100
44,881,000	0.3	39,047,000	0.3	178	166	136	115	100
715,008,342	5.1	734,609,092	5.3	93	96	96	97	100
623,536,095	4.5	631,611,567	4.5	104	107	98	99	100
189,444,080	1.4	182,278,005	1.3	109	109	107	104	100
16,684,432	0.1	15,881,268	0.1	107	115	113	105	100
344,795,155	2.5	367,197,925	2.6	99	103	93	94	100
60,482	0.0	95,167	0.0	186	188	56	64	100
72,551,946	0.5	66,159,202	0.5	114	124	100	110	100
1,609,959,984	11.6	1,672,857,455	12.0	87	90	93	96	100
3,301,806,421	—	3,309,376,358	—	98	99	100	100	100
△ 1,691,846,437	—	△ 1,636,518,903	—	110	109	106	103	100
8,678,526,270	62.2	8,445,682,473	60.4	107	105	104	103	100
7,250,614,955	52.0	6,978,348,443	49.9	113	111	108	104	100
7,250,614,955	52.0	6,978,348,443	49.9	113	111	108	104	100
1,427,911,315	10.2	1,467,334,030	10.5	76	78	86	97	100
11,991,000	0.1	11,991,000	0.1	100	100	100	100	100
1,415,920,315	10.1	1,455,343,030	10.4	76	78	85	97	100
800,000,000	5.7	880,000,000	6.3	80	85	97	91	100
153,076,518	1.1	149,497,183	1.1	81	140	108	102	100
232,843,797	1.7	225,845,847	1.6	59	33	58	103	100
230,000,000	1.6	200,000,000	1.4	75	50	50	115	100
13,932,701,000	100.0	13,974,143,798	100.0	97	98	99	100	100

## 5 企業債償還明細書

(単位：千円)

借入先	償還元金	償還利息等			償還元利合計	未償還残高
		利息	手数料	計		
財務省	116,646	24,623	0	24,623	141,269	1,172,895
地方公共団体金融機構	81,620	12,930	0	12,930	94,550	547,213
計	198,266	37,553	0	37,553	235,819	1,720,108

※企業債は、毎年9月、3月の2回にわけて元利均等により償還しています。財務省の償還期間は30年、金融機構の償還期間は30年（20年度債までは、28年）となっており、利息分については借入の翌年より償還し、元金分については1～5年間据置後償還しています。



## 6 企業債利率別未償還残高

(単位：千円)

利 率	借入先	財 務 省	地方公共団体金融機構	計
～ 1.0 % 未 満		104,523	0	104,523
1.0 % 以上～ 2.0 % 未 満		471,042	186,568	657,610
2.0 % 以上～ 3.0 % 未 満		526,384	344,177	870,561
3.0 % 以上～ 4.0 % 未 満		39,247	9,541	48,788
4.0 % 以上～ 5.0 % 未 満		31,699	6,927	38,626
5.0 % 以上～		0	0	0
計		1,172,895	547,213	1,720,108

※令和3年度は借り入れをしておりません。

## 7 有形固定資産明細書

### (1) 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
<b>土 地</b>	<b>720,905,422</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>720,905,422</b>
事務所用地	900,472	0	0	900,472
施設用地	720,004,950	0	0	720,004,950
<b>建 物</b>	<b>789,040,678</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>789,040,678</b>
事務所用建物	343,285,489	0	0	343,285,489
施設用建物	348,444,189	0	0	348,444,189
その他建物	0	0	0	0
建物附属設備	97,311,000	0	0	97,311,000
<b>構 築 物</b>	<b>15,846,779,727</b>	<b>426,939,812</b>	<b>74,206,706</b>	<b>16,199,512,833</b>
導水設備	885,954,135	0	3,406,886	882,547,249
送配水設備	14,933,846,511	426,939,812	70,799,820	15,289,986,503
その他構築物	26,979,081	0	0	26,979,081
<b>機 械 及 び 装 置</b>	<b>1,883,661,977</b>	<b>1,038,000</b>	<b>178,739,000</b>	<b>1,705,960,977</b>
電気設備	1,460,705,555	0	169,399,000	1,291,306,555
ポンプ設備	222,921,557	0	0	222,921,557
塩素滅菌設備	16,730,000	0	850,000	15,880,000
量水器	168,220,530	1,038,000	0	169,258,530
その他機械及び装置	15,084,335	0	8,490,000	6,594,335
<b>車 両 運 搬 具</b>	<b>29,546,718</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>29,546,718</b>
<b>工具、器具及び備品</b>	<b>287,033,457</b>	<b>359,600</b>	<b>0</b>	<b>287,393,057</b>
<b>建 設 仮 勘 定</b>	<b>25,165,709</b>	<b>134,832,119</b>	<b>9,007,709</b>	<b>150,990,119</b>
<b>合 計</b>	<b>19,582,133,688</b>	<b>563,169,531</b>	<b>261,953,415</b>	<b>19,883,349,804</b>

### (2) 投 資

種 類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
<b>出 資 金</b>	<b>817,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>817,000</b>

(単位：円・消費税抜き)

減価償却累計額			年度末償却未済高
増加額	減少額	累計	
0	0	0	720,905,422
0	0	0	900,472
0	0	0	720,004,950
14,163,995	0	290,259,038	498,781,640
5,376,433	0	146,449,697	196,835,792
8,787,562	0	51,363,891	297,080,298
0	0	0	0
0	0	92,445,450	4,865,550
316,038,390	71,370,520	8,148,087,846	8,051,424,987
7,470,809	3,236,541	729,884,587	152,662,662
308,040,586	68,133,979	7,394,798,221	7,895,188,282
526,995	0	23,405,038	3,574,043
64,531,250	169,802,050	803,027,390	902,933,587
50,253,935	160,929,050	602,682,850	688,623,705
11,779,110	0	94,960,272	127,961,285
1,275,200	807,500	14,484,500	1,395,500
1,223,005	0	84,635,151	84,623,379
0	8,065,500	6,264,617	329,718
1,743,319	0	23,099,582	6,447,136
32,481,003	0	201,711,136	85,681,921
0	0	0	150,990,119
428,957,957	241,172,570	9,466,184,992	10,417,164,812

備考
地方公共団体金融機構出資金

## 8 経営分析

### (1) 収益分析

科目 款	営業収益				受取利息	加入金	他会計補助金
	給水収益	受託工事収益	その他営業収益	計			
水道事業収益	2,014,275,879	7,745,339	76,547,836	2,098,569,054	3,507,332	46,060,000	0

### (2) 費用分析

節 科目	水道事業費用	構成比	配水費	給水費
給料手当	98,047,211	4.7	23,111,760	20,875,908
報酬	54,536,098	2.6	13,404,423	12,831,523
法定福利費	360,000	0.0	0	0
賞与引当金繰入額	30,424,416	1.5	7,271,846	6,757,131
退職給付費	15,479,219	0.8	3,747,074	3,227,375
小計	17,432,305	0.8	0	0
修繕費	216,279,249	10.4	47,535,103	43,691,937
材料費	16,832,908	0.8	7,482,880	287,049
負担金	1,481,258	0.1	499,250	982,008
受水費	3,563,629	0.2	0	0
動力費	937,889,350	45.0	937,889,350	0
薬品費	35,457,312	1.7	35,457,312	0
委託料	62,000	0.0	62,000	0
工事請負費	299,574,699	14.4	100,833,310	78,288,318
路面復旧費	35,119,000	1.7	7,091,000	24,472,000
備用品費	11,167,000	0.5	43,000	11,124,000
貸倒引当金繰入額	3,984,092	0.2	323,862	2,216,246
特別修繕引当金繰入額	613,330	0.0	0	0
その他	13,517,400	0.6	13,517,400	0
減価償却費	26,590,943	1.3	3,345,224	112,420
資産減耗費	428,957,957	20.6	0	0
支払利息及び 企業債取扱諸費	11,773,136	0.6	0	0
雑支出	37,553,053	1.8	0	0
小計	1,410,744	0.1	0	0
合計	1,865,547,811	89.6	1,106,544,588	117,482,041
合計	2,081,827,060	100.0	1,154,079,691	161,173,978

(単位：円・消費税抜き)

営業外収益				特別利益			合 計
他会計負担金	長期前受金戻入	雑収益	計	固定資産売却益	その他特別利益	計	
818,000	63,184,090	3,857,572	117,426,994	0	0	0	2,215,996,048

(単位：円・消費税抜き)

受 託 工 事 費	業 務 費	総 係 費	そ の 他 費 用
6,442,800	17,840,690	29,776,053	0
3,730,302	8,931,708	15,638,142	0
0	0	360,000	0
2,118,457	5,587,758	8,689,224	0
1,000,030	2,841,646	4,663,094	0
0	0	17,432,305	0
13,291,589	35,201,802	76,558,818	0
7,800	8,170,790	884,389	0
0	0	0	0
0	2,982,545	581,084	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	107,716,971	12,736,100	0
3,556,000	0	0	0
0	0	0	0
0	465,639	978,345	0
0	0	613,330	0
0	0	0	0
6,075	12,660,720	10,466,504	0
0	0	0	428,957,957
0	0	0	11,773,136
0	0	0	37,553,053
0	0	0	1,410,744
3,569,875	131,996,665	26,259,752	479,694,890
16,861,464	167,198,467	102,818,570	479,694,890

### (3) 経営分析表

項目	R 3年度	R 2年度	R元年度	H30年度	H29年度	公 式
自己資本構成比率 (%)	77.3	75.9	75.1	73.8	72.4	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$
固定資産対長期資本比率 (%)	80.8	79.2	77.8	77.4	76.6	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$
固定資産構成比率 (%)	76.9	75.3	74.3	74.0	73.1	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$
固定負債構成比率 (%)	17.9	19.2	20.4	21.7	23.1	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$
流動比率 (%)	478.3	499.8	573.1	581.8	595.1	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
総収益対総費用比率 (%)	106.4	103.7	106.1	111.1	110.8	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
営業収益対営業費用比率 (%)	102.7	83.9	100.2	105.7	107.2	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$
企業債償還元金対減価償却比率 (%)	54.2	54.0	56.7	58.6	55.4	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$
企業債償還元金対給水収益比率 (%)	9.8	12.1	9.2	8.7	8.3	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$
企業債利息対給水収益比率 (%)	1.9	2.6	2.3	2.5	2.6	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$
企業債元利償還金対給水収益比率 (%)	11.7	14.7	11.4	11.2	11.0	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$
職員給与対給水収益比率 (%)	10.1	12.1	9.8	9.2	9.0	$\frac{\text{職員給与費} (\text{受託工事費の給与を除く})}{\text{給水収益}} \times 100$
現金比率 (%)	442.8	465.5	533.5	545.9	543.2	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
固定資産回転率 (回)	0.20	0.16	0.21	0.21	0.21	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \times 1/2}$
経営資本営業利益率 (%)	0.4	-2.4	0.0	0.8	1.1	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本} (\text{総資産} - (\text{建設仮勘定} + \text{投資その他の資産} + \text{繰延資産}))} \times 100$

算式 (R3年度)	経営分析表の説明
$\frac{10,477,585,291}{13,552,908,525} \times 100$	わが国の水道事業は、起債（借入金）によって施設を建設し、料金収入によって償還するという経営のたてまえからこの比率は低い、あまり低すぎると、水道料金を算出する場合に借入金の元金償還金と支払利息のために水道料金が高くなる。
$\frac{10,417,981,812}{12,897,521,795} \times 100$	これは、固定資産に対する調達原資の適合関係を判断するために用いられ、この比率が100%以上になれば、固定資産の調達原資の一部が短期資産で賄われていることになり、運転資金の不足に苦しめられていることとなる。
$\frac{10,417,981,812}{13,552,908,525} \times 100$	総資産中に固定資産がどれ位占めているかを表す比率であり、一般に設備投資型企業の場合には、この比率が100%近くにも達する。
$\frac{2,419,936,504}{13,552,908,525} \times 100$	この比率は、自己資本構成比率と対応をなすものである。企業の経営状態をみると、自己資本構成比率が低く、固定負債構成比率が高ければ、その企業は常に負債の返済に追われ、又、金利負担により企業経営悪化の原因ともなる。
$\frac{3,134,926,713}{655,386,730} \times 100$	この比率は、短期債務に対して、これに必ずるべき流動資産が十分にあるかどうかその割合を明らかにするための比率であって、この比率が高ければ高いほど短期債務の支払いに十分な流動資産を有している。
$\frac{2,215,996,048}{2,081,827,060} \times 100$	この比率が100%以下であることは収支が均衡しておらず赤字であることを示す。
$\frac{2,098,569,054}{2,042,863,263} \times 100$	この比率は営業活動による収益と費用の比で狭義の収益率を示す。この比率が100%以下であれば、経営活動における収支の均衡が計られていないことになる。
$\frac{198,266,276}{365,773,867} \times 100$	固定資産に対する投資は、減価償却費で回収されるものであるということから、この比率が100%以下であれば、100%を下回る額だけ内部資金が留保されたことになり、企業債元利償還金が資金不足の原因とされることはない。
$\frac{198,266,276}{2,014,275,879} \times 100$	企業債償還能力を示すものである。この比率が小さいほど企業債への依存度が小さく経営は安定している。
$\frac{37,553,053}{2,014,275,879} \times 100$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{235,819,329}{2,014,275,879} \times 100$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{202,462,660}{2,014,275,879} \times 100$	この比率が高ければ高いほど、固定費がかさみ、財政硬直化の原因となり経営悪化を意味する。
$\frac{2,902,071,590}{655,386,730} \times 100$	この比率は、企業の支払能力を測定するために用いられるもので、100%以上であることが望ましい。これは、現金が流動負債を弁済してもなお、その企業の支払能力に余力のあることを示すからである。
$\frac{2,090,823,715}{10,361,266,448}$	この比率が高ければ、固定資産が有効利用されていることを示し、低いことは固定資産が営業収益に比べ過大であること、すなわち固定資産への過大投資を意味するものである。
$\frac{55,705,791}{13,401,101,406} \times 100$	投下資本に対する利益の割合を示したもので、一般的には預金金利と比較する。

項 目	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度	H30年度	H29年度	公 式
経営資本回転数(回)	0.16	0.12	0.16	0.16	0.16	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$
営業利益対営業収益率(%)	2.7	-19.2	0.2	5.4	6.7	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$

#### (4) 業務分析表

項 目	R 3 年度	R 2 年度	R 元年度	H 30 年度	H 29 年度	公 式
負 荷 率 (%)	93.6	85.2	91.6	90.9	92.1	$\frac{\text{一日平均配水量 (m}^3\text{)}}{\text{一日最大配水量 (m}^3\text{)}} \times 100$
施設利用率 (%)	55.5	56.7	56.2	59.1	58.5	$\frac{\text{一日平均配水量 (m}^3\text{)}}{\text{一日配水能力 (m}^3\text{)}} \times 100$
最大稼働率 (%)	59.4	66.5	61.3	65.1	63.6	$\frac{\text{一日最大配水量 (m}^3\text{)}}{\text{一日配水能力 (m}^3\text{)}} \times 100$
配水管使用効率	50.5	51.7	51.5	54.2	53.6	$\frac{\text{年間総配水量 (m}^3\text{)}}{\text{導送配水管延長 (m)}}$
有 収 率 (%)	97.4	96.9	96.8	93.0	94.8	$\frac{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{年間総配水量 (m}^3\text{)}} \times 100$
固定資産使用効率	12.5	12.9	12.8	13.4	13.4	$\frac{\text{年間総配水量 (m}^3\text{)}}{\text{有形固定資産 (万円)}}$
供給単価 (円)	155.57	122.14	158.71	159.47	158.85	$\frac{\text{水道料金 (円)}}{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}$
給水原価 (円)	158.33	153.72	163.53	156.45	154.01	$\frac{\text{経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)-長期前受金戻入 (円)}}{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}$
職員一人当り 有形固定資産 (万円)	43.405	44.799	42.709	46.838	46.429	$\frac{\text{有形固定資産 (万円)}}{\text{全職員数 (人)}}$
職員一人当り 給水人口 (人)	5,370	5,684	5,472	6,040	6,080	$\frac{\text{給水人口 (人)}}{\text{損益勘定職員 (人)}}$
職員一人当り 有収水量 (m <sup>3</sup> )	574,690	611,287	579,477	642,462	648,364	$\frac{\text{有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{損益勘定職員 (人)}}$
職員一人当り 営業収益 (千円)	95,037	80,015	96,940	107,879	108,330	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益 (千円)}}{\text{損益勘定職員 (人)}}$

算 式 (R 3 年度)	経 営 分 析 表 の 説 明
$\frac{2,098,569,054}{13,401,101,406}$	投下資本の回収速度を示したもので、水道事業では、0.2 回以上（5 年に 1 回計資本が回収される）が好ましい。
$\frac{55,705,791}{2,098,569,054} \times 100$	この比率は営業利益の状況を示す比率であり、経営資本営業利益率を高めるためにはこの比率を高める必要がある。

$\frac{35,550}{37,991} \times 100$	負荷率が 100% 近くになると、ピーク（需要期）とオフ・ピーク（費需要期）の差が縮まっていることを意味し、施設が 1 年を通じ、平均的に稼働していることを意味している。
$\frac{35,550}{64,000} \times 100$	この比率が高くなれば、施設の効率的な利用を意味し、低ければ施設が遊休していることとなる。
$\frac{37,991}{64,000} \times 100$	最大稼働率が 100% を超えれば、配水能力が最大配水量に不足することを意味し、逆の場合には、配水能力に余裕がある。この比率が 100% に近づいてきた場合には、数年後の予測最大配水量をもとにして、配水能力を増大するために、拡張改良計画が必要である。
$\frac{12,975,669}{257,194}$	物質的投下資本（配水管）が配水量にどれだけ貢献したのか投資効率を示す。
$\frac{12,643,187}{12,975,669} \times 100$	水道料金徴収の対象となる水量（有収水量）が総配水量に占める比率
$\frac{12,975,669}{1,041,716}$	固定資産に投下された資本の投資効率を示す。
$\frac{1,966,887,109}{12,643,187}$	有収水量 1 m <sup>3</sup> あたりの水道料金収入
$\frac{2,001,781,506}{12,643,187}$	有収水量 1 m <sup>3</sup> あたりの給水コスト
$\frac{1,041,716}{24}$	事業の規模に対する職員数の適否を検討することになり、労働生産性の良否を示す。
$\frac{118,139}{22}$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{12,643,187}{22}$	上記比率と同じ意味をもつ。
$\frac{2,090,824}{22}$	上記比率と同じ意味をもつ。

## 9 費用構成表

年度 科目		R 3 年 度		R 2 年 度		R 元 年 度	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
		千円	%	千円	%	千円	%
職 員 給 与 費	1. 給 料	98,047	4.7	94,697	4.6	92,287	4.2
	2. 手 当	54,536	2.6	53,503	2.6	52,978	2.4
	3. 報 酬	360	0.0	438	0.0	8,177	0.4
	4. 法定福利費	30,425	1.5	29,581	1.5	30,635	1.4
	5. 賞与引当金繰入額	15,479	0.8	16,598	0.8	16,308	0.8
	6. 退職給付費	17,432	0.8	14,881	0.7	15,621	0.7
	小 計	216,279	10.4	209,698	10.2	216,006	9.9
	7. 受 水 費	937,889	45.0	913,857	44.5	952,629	43.7
	8. 動 力 費	35,457	1.7	34,456	1.7	38,149	1.7
	9. 薬 品 費	62	0.0	58	0.0	87	0.0
	10. 修 繕 費	16,833	0.8	17,989	0.9	23,083	1.1
	11. 材 料 費	1,481	0.1	1,939	0.1	1,165	0.0
	12. 委 託 料	299,575	14.4	319,147	15.5	282,686	13.0
	13. 路面復旧費	11,167	0.5	7,341	0.4	6,542	0.3
	14. 工事請負費	35,119	1.7	22,554	1.1	27,652	1.3
	15. 減価償却費	428,958	20.6	426,605	20.8	417,940	19.1
	16. 資産減耗費	11,773	0.6	7,260	0.3	117,040	5.4
	17. 負担金補助金	3,564	0.2	3,542	0.2	3,661	0.2
	18. 材料売却原価	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	19. 支払利息及び 企業債取扱諸費	37,553	1.8	42,392	2.1	47,086	2.2
	20. 雑 支 出	1,411	0.1	1,855	0.1	1,066	0.0
	21. そ の 他	44,706	2.1	44,361	2.1	46,938	2.1
合 計		2,081,827	100.0	2,053,054	100.0	2,181,730	100.0

(消費税抜き)

H 30 年 度		H 29 年 度		す う 勢 比 率				
金 額	構成比	金 額	構成比	R 3 年 度	R 2 年 度	R 元 年 度	H30年 度	H29年 度
千 円	%	千 円	%	%	%	%	%	%
85,710	4.1	84,132	4.1	117	113	110	102	100
53,833	2.5	50,178	2.4	109	107	106	107	100
8,139	0.4	11,230	0.5	3	4	73	72	100
28,591	1.4	29,121	1.4	104	102	105	98	100
15,164	0.7	14,364	0.7	108	116	114	106	100
15,930	0.8	14,203	0.7	123	105	110	112	100
207,367	9.9	203,228	9.8	106	103	106	102	100
991,429	47.2	1,014,429	48.7	92	90	94	98	100
40,438	1.9	39,503	1.9	90	87	97	102	100
145	0.0	145	0.0	43	40	60	100	100
18,818	0.9	19,448	0.9	87	92	119	97	100
901	0.0	434	0.0	341	447	268	208	100
280,324	13.4	277,971	13.4	108	115	102	101	100
10,087	0.5	14,701	0.7	76	50	45	69	100
28,048	1.3	15,487	0.7	227	146	179	181	100
385,479	18.4	387,869	18.6	111	110	108	99	100
33,100	1.6	536	0.0	2,196	1,354	21,836	6,175	100
4,260	0.2	4,338	0.2	82	82	84	98	100
0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-
51,613	2.5	55,795	2.7	67	76	84	93	100
686	0.0	1,660	0.1	85	112	64	41	100
46,525	2.2	46,310	2.3	97	96	101	100	100
2,099,220	100.0	2,081,854	100.0	100	99	105	101	100

財務状況

## 10 水道料金原価表（受託工事費を除く）

年 度	R 3 年 度			R 2 年 度			R 元 年 度		
有収水量 (m <sup>3</sup> )	12,643,187			12,837,031			12,748,491		
費 目	金額	割合	原価	金額	割合	原価	金額	割合	原価
	千円	%	円	千円	%	円	千円	%	円
人 件 費	202,988	10.1	16.06	196,379	10.0	15.30	203,052	9.7	15.93
受 水 費	937,889	46.8	74.18	913,857	46.3	71.19	952,629	45.7	74.73
動 力 費	35,457	1.8	2.80	34,456	1.7	2.68	38,149	1.8	2.99
委 託 料	30,343	1.5	2.40	319,147	16.2	24.86	282,686	13.6	22.17
修 繕 費	299,575	15.0	23.70	31,423	1.6	2.45	38,600	1.8	3.03
材 料 費	1,481	0.1	0.12	1,938	0.1	0.15	1,165	0.1	0.09
諸 経 費	78,949	3.9	6.24	64,643	3.3	5.04	69,982	3.4	5.49
減 価 償 却 費 等	377,547	18.9	29.86	369,109	18.7	28.75	451,427	21.6	35.41
支 払 利 息	37,553	1.9	2.97	42,392	2.1	3.30	47,085	2.3	3.69
損 益 勘 定 合 計	2,001,782	100.0	158.33	1,973,344	100.0	153.72	2,084,775	100.0	163.53
料金以外の収支差益	169,063		13.37	480,681		37.44	193,551		15.18

H 30 年 度			H 29 年 度		
12,849,241			12,967,276		
金額	割合	原価	金額	割合	原価
千円	%	円	千円	%	円
194,394	9.7	15.13	190,870	9.6	14.72
991,429	49.3	77.16	1,014,429	50.8	78.23
40,438	2.0	3.15	39,503	2.0	3.05
280,324	14.0	21.81	277,971	13.9	21.44
34,261	1.7	2.67	34,965	1.7	2.70
901	0.0	0.07	434	0.0	0.03
72,859	3.6	5.67	67,026	3.4	5.16
344,012	17.1	26.77	316,138	15.8	24.38
51,613	2.6	4.02	55,795	2.8	4.30
2,010,231	100.0	156.45	1,997,131	100.0	154.01
193,951		15.09	163,178		12.58

## 11 東部大阪各市決算比較表

(施設及び業務量)

市名 項目	単位	大東市	東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市
現在給水人口	人	118,113	480,960	396,195	263,350	228,517	142,279
給水戸数	戸	57,540	265,863	176,888	132,005	111,719	73,349
配水能力	m <sup>3</sup> /日	64,000	260,180	206,800	153,000	129,000	65,200
年間総配水量	m <sup>3</sup>	12,975,669	55,074,860	44,738,959	31,264,310	23,688,014	16,144,450
自己水	m <sup>3</sup>	0	312,150	39,039,570	0	0	15,448,950
受水	m <sup>3</sup>	12,975,669	54,762,710	5,699,389	31,264,310	23,688,014	695,500
企業団水	m <sup>3</sup>	12,787,820	52,491,890	5,691,320	31,264,310	23,688,014	695,500
その他	m <sup>3</sup>	187,849	2,270,820	8,069	0	0	0
年間総有収水量	m <sup>3</sup>	12,643,187	52,332,264	41,827,446	29,267,223	23,119,187	15,204,213
有収率	%	97.4	95.0	93.5	93.6	97.6	94.2
一日最大配水量	m <sup>3</sup>	37,991	159,680	139,800	90,167	72,019	47,340
一日平均配水量	m <sup>3</sup>	35,550	150,890	122,572	85,656	64,899	44,231
家庭用10m <sup>3</sup> 当り金額	円	1,042	992	992	1,034	1,060	1,098
損益勘定職員 (管理者除く)	人	28	113	77	64	36	38
資本勘定職員	人	2	25	32	17	7	7
職員数合計	人	30	138	109	81	43	45

(収益的収支)

総収益	千円	2,215,996	8,928,370	6,487,615	5,391,493	3,812,671	2,487,189
総費用	千円	2,081,827	8,583,404	4,926,688	5,063,259	3,383,592	2,283,135
単年度損益	千円	134,169	344,966	1,560,927	328,234	429,079	204,054
累積損益	千円	404,534	1,402,003	1,760,927	623,990	4,053,841	2,496,131

(資本的収支)

資本的収入	千円	16,448	1,099,979	2,440,309	1,333,786	688,373	570,165
資本的支出	千円	806,098	2,418,130	5,022,744	3,314,879	1,705,827	1,455,217
差引不足額	千円	789,650	1,318,151	2,582,435	1,981,093	1,017,454	885,052
補てん財源不足	千円	0	0	0	0	0	0

門真市	交野市	四條畷市	大東市 = 100 とした比較							
			東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市	門真市	交野市	四條畷市
118,742	77,414	54,804	407	335	223	193	120	101	66	46
63,099	29,995	24,723	462	307	229	194	127	110	52	43
72,000	38,500	18,750	407	323	239	202	102	113	60	29
12,972,050	7,756,996	5,760,350	424	345	241	183	124	100	60	44
0	5,928,070	0	-	-	-	-	-	-	-	-
12,972,050	1,828,926	5,760,350	422	44	241	183	5	100	14	44
12,972,050	1,819,850	5,731,210	410	45	244	185	5	101	14	45
0	9,076	29,140	1,209	4	0	0	0	0	5	16
12,629,775	7,485,344	5,538,591	414	331	231	183	120	100	59	44
97.4	96.5	96.2	98	96	96	100	97	100	99	99
40,980	23,872	17,924	420	368	237	190	125	108	63	47
35,540	21,252	15,782	424	345	241	183	124	100	60	44
985	1,196	1,130	95	95	99	102	105	95	115	108
22	24	25	404	275	229	129	136	79	86	89
9	4	3	1,250	1,600	850	350	350	450	200	150
31	28	28	460	363	270	143	150	103	93	93

(消費税抜き)

2,340,108	1,398,358	1,149,533	403	293	243	172	112	106	63	52
2,125,342	1,339,321	1,081,356	412	237	243	163	110	102	64	52
214,766	59,037	68,177	257	1,163	245	320	152	160	44	51
891,199	2,287,140	137,812	347	435	154	1,002	617	220	565	34

(消費税込み)

168,388	290,455	78,667	6,688	14,837	8,109	4,185	3,466	1,024	1,766	478
1,234,739	948,681	324,615	300	623	411	212	181	153	118	40
1,066,351	658,226	245,948	167	327	251	129	112	135	83	31
0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-

## (業務分析)

項目	市名						
	単位	大東市	東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市
負荷率	%	93.6	94.5	87.7	95.0	90.1	93.4
施設利用率	%	55.5	58.0	59.3	56.0	50.3	67.8
最大稼働率	%	59.4	61.4	67.6	58.9	55.8	72.6
配水管使用効率	m <sup>3</sup> /m	50.5	52.8	37.9	42.0	37.9	51.4
固定資産使用効率	m <sup>3</sup> /万円	12.5	14.1	6.7	10.7	14.8	9.2
供給単価	円	159.3	149.5	136.8	167.2	150.1	150.9
給水原価	円	158.3	159.6	107.0	164.1	142.9	138.9
※1 職員一人当り 有形固定資産	千円	347,239	283,528	609,174	362,418	372,628	390,361
※2 職員一人当り 給水人口	人	4,218	4,256	5,145	4,115	6,348	3,744
※2 職員一人当り 有収水量	m <sup>3</sup>	451,542	463,117	543,214	457,300	642,200	400,111
※2 職員一人当り 営業収益	千円	74,672	72,720	74,569	78,779	99,607	62,332

※1 職員とは、管理者・再任用短時間勤務職員・任期付短時間勤務職員を除く全職員

※2 職員とは、管理者・再任用短時間勤務職員・任期付短時間勤務職員を除く損益勘定職員

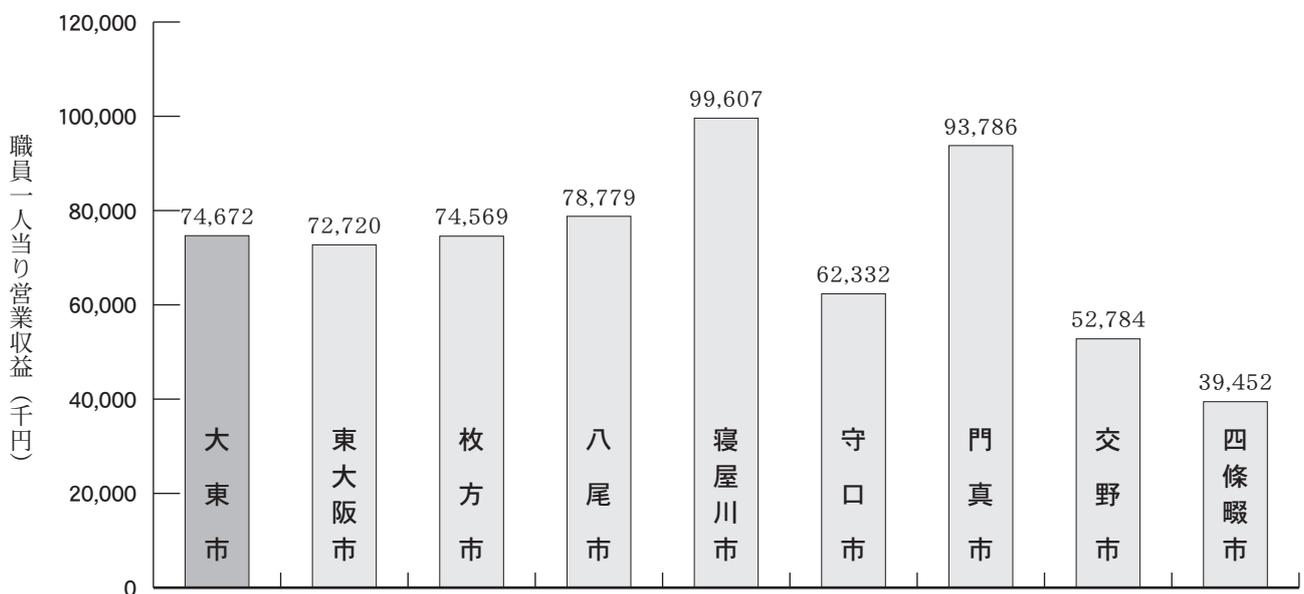
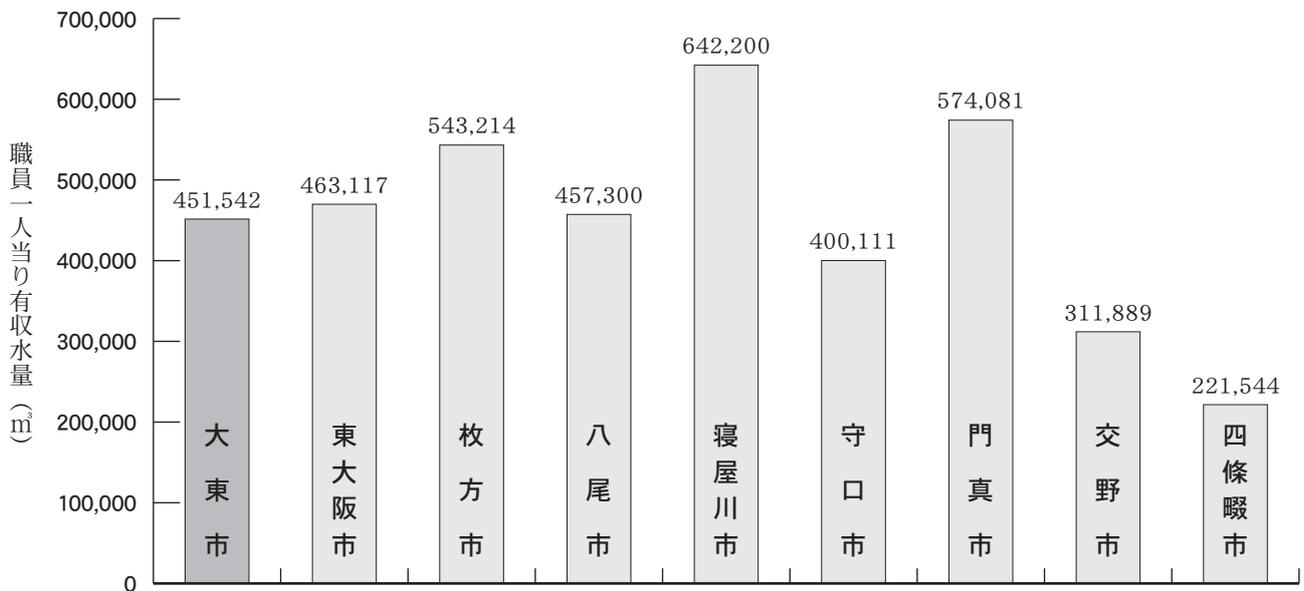
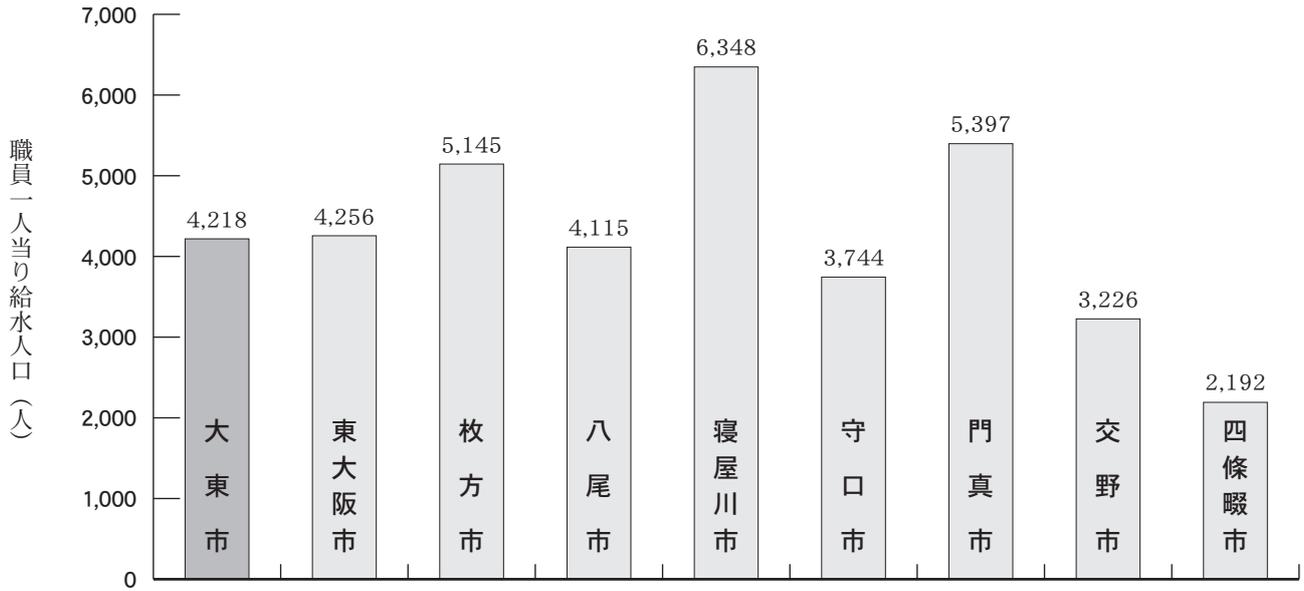
## (経営分析)

固定資産構成比率	%	76.9	83.7	88.4	85.5	68.9	88.1
固定負債構成比率	%	17.9	42.9	24.0	34.4	41.0	45.2
固定資産対長期 資本比率	%	80.8	89.2	91.5	91.6	73.1	94.0
自己資本構成比率	%	77.3	50.9	72.6	58.9	53.3	48.5
流動比率	%	478.3	262.9	347.2	216.9	541.4	187.4
営業収支比率	%	103.2	99.3	122.5	106.3	111.8	119.0
企業債償還元金 対料金収入比率	%	9.8	13.1	31.7	20.0	16.7	36.1
企業債元利償還元金 対料金収入比率	%	11.7	16.4	35.9	23.5	20.4	42.9
現金預金比率	%	442.8	223.4	322.7	144.4	234.4	157.5
固定資産回転率	回	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1
職員給与費 対料金収入比率	%	10.0	11.5	10.6	10.2	9.4	16.2

門真市	交野市	四條畷市	大東市 = 100 とした比較							
			東大阪市	枚方市	八尾市	寝屋川市	守口市	門真市	交野市	四條畷市
86.7	89.0	88.0	101	94	101	96	100	93	95	94
49.4	55.2	84.2	105	107	101	91	122	89	99	152
56.9	62.0	95.6	103	114	99	94	122	96	104	161
57.6	25.1	29.5	105	75	83	75	102	114	50	58
11.5	5.3	9.0	113	54	86	118	74	92	42	72
161.3	156.4	169.9	94	86	105	94	95	101	98	107
152.8	169.7	173.8	101	68	104	90	88	97	107	110
365,115	523,313	227,718	82	175	104	107	112	105	151	66
5,397	3,226	2,192	101	122	98	150	89	128	76	52
574,081	311,889	221,544	103	120	101	142	89	127	69	49
93,786	52,784	39,452	97	100	106	133	83	126	71	53

74.8	84.0	87.0	109	115	111	90	115	97	109	113
20.6	54.5	30.4	240	134	192	229	253	115	304	170
79.0	87.9	92.3	110	113	113	90	116	98	109	114
74.1	41.0	63.9	66	94	76	69	63	96	53	83
471.7	357.8	226.0	55	73	45	113	39	99	75	47
102.9	104.8	104.1	96	119	103	108	115	100	102	101
13.1	35.4	20.9	134	323	204	170	368	134	361	213
16.1	46.3	24.5	140	307	201	174	367	137	396	209
362.4	334.5	187.4	50	73	33	53	36	82	76	42
0.2	0.1	0.2	125	63	125	125	63	113	63	125
8.9	14.6	16.7	115	106	102	94	162	89	146	167

## 職員一人当り比較表（東部大阪各市）



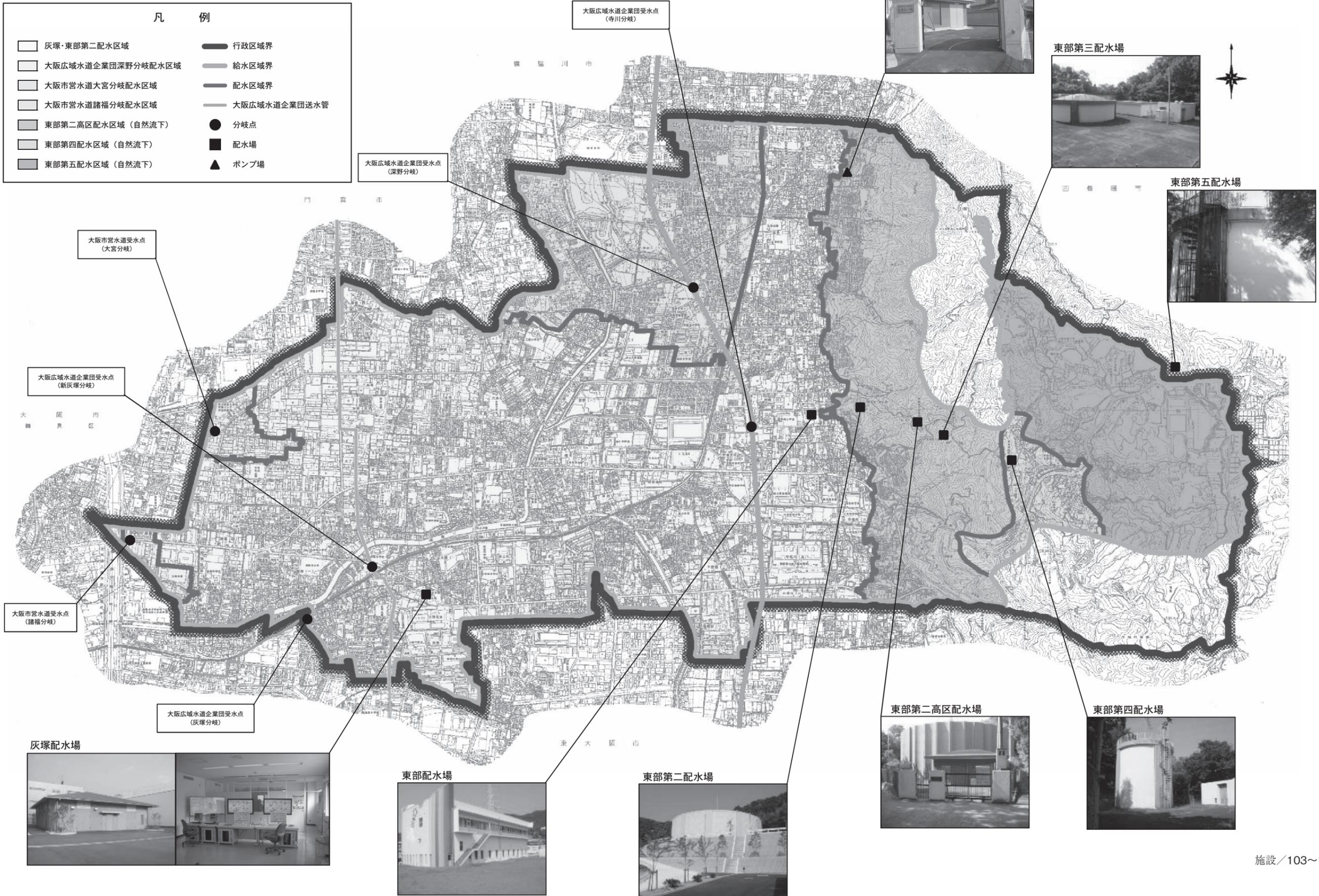
# VII 施 設

- 1 施 設 位 置 図
- 2 施 設 概 要
- 3 水 源 別 計 画 水 量 表
- 4 管 路 用 地 等

# VII 施設

## 1 施設位置図

凡 例	
	灰塚・東部第二配水区域
	大阪広域水道企業団深野分岐配水区域
	大阪市営水道大宮分岐配水区域
	大阪市営水道諸福分岐配水区域
	東部第二高区配水区域（自然流下）
	東部第四配水区域（自然流下）
	東部第五配水区域（自然流下）
	行政区域界
	給水区域界
	配水区域界
	大阪広域水道企業団送水管
	分岐点
	配水場
	ポンプ場



施設

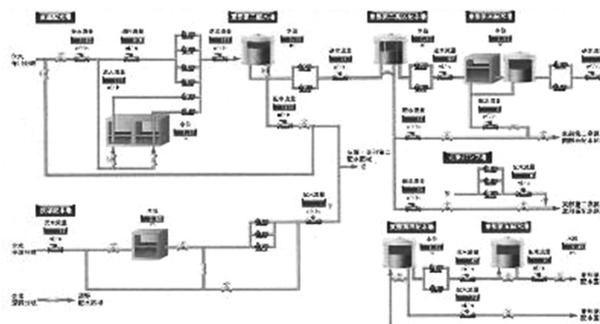
## 2 施設概要

### (1) 中央管理センター

灰塚配水場管理棟3階の中央管理センターにて、市内の全水道施設が集中管理されています。



設備全体フロー監視画面



機器構成	数量	概略仕様	設備年月日
大型監視表示装置	2台	52型液晶ディスプレイ自立型	H20.10.1
配水場用監視装置		システムLAN（ローカルエリアネットワーク）同軸CPU間リンク方式、相互バックアップ機能付	H20.10.1
灰塚用	1台	工業用PC 24インチ液晶モニター OAデスク型	
東部用	1台	工業用PC 24インチ液晶モニター OAデスク型	
プリンタ装置	2台	カラーレーザープリンター（LBP）	H20.10.1
情報処理装置		テレメーター装置 NTT専用回線 3.4kHz	H20.10.1
No. 1	1面	東部・東部第二・東部第二高区・東部第三配水場	
No. 2	1面	東部第四・東部第五配水場	
データロガー装置		プログラマブルロジックコントローラー（PLC）	H20.10.1
No. 1	1台	二重化	
No. 2	1台	二重化	
自所入出力装置	1面	プログラマブルロジックコントローラー（PLC） 灰塚場内通信用（光ファイバー線）	H20.10.1
配水場用ITV監視装置		NTT広域IP網 Bフレッツ 100Mbps 光回線 17インチ液晶モニター OAデスク型	H20.10.1
東部用	1台	電動ドーム型 カメラ2台 赤外線センサー13対向	
東部第二用	1台	17インチ液晶モニター OAデスク型 電動ドーム型 カメラ3台 赤外線センサー18対向	
中央分電盤	1面		H20.10.1
無停電電源装置	1台	10kVA	H20.10.1
リモート監視通信装置	1面	リモート監視センター通報用	H20.10.1
水質監視モニター監視装置	1台	DMT700形 17型液晶モニター LP-S5300	H30.3.31

## (2) 灰塚配水場



所在地 大東市灰塚四丁目1番1号  
 面積 10,707.29㎡ (管理棟 517.99㎡含む)  
 水源 企業団水 (灰塚分岐)  
 配水方式 ポンプ圧送式

### 配水ポンプ

配水ポンプ室	444.38㎡ 鉄筋コンクリート平屋建 1棟					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
両吸込 渦巻ポンプ変速	8.34㎡/分	40m	250/150mm	75kW	3	H27.3.31
備考						

### 配水池

構造	巾	長さ	深さ	容量	池数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	24.3m	29.3m	6.4m	4,500㎡	1	S58.3.21
備考	水位計・投込型 (圧力式) H. W. L = TP + 8.7m    L. W. L = TP + 2.3m (4,500㎡)					

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 LF130形    700㎡/時	400mm	1	H25.4.30	企業団水 (受水)
電磁式	電磁流量計 FMR-404U形    2,000㎡/時	400mm	1	H27.3.31	大東市 (配水)

### 電気設備

	内	容			設備年月日
屋内変電室	変圧器容量 (三相)	6,600/440V	500kVA	H27.3.31	
	" (三相)	440/210V	30kVA	H27.3.31	
	" (単相)	440/210-105V	30kVA	H27.3.31	
備考					

### 緊急遮断弁

動作設定	動作開度	表示
震度3	動作なし	地震発生
震度4	20%	緊急遮断

### (3) 東 部 配 水 場



所在地 大東市野崎三丁目1番20号  
 面積 5,575.17㎡  
 水源 企業団水（寺川分岐）  
 配水方式 H20.6より受配水施設に変更

#### 管 理 棟

送水ポンプ室	鉄筋コンクリート造、地上2階、地下1階（ポンプ井） 建築面積479㎡ 延べ床面積963.3㎡					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
増圧ポンプ	10.6m <sup>3</sup> /分	35m	300/200mm	90kW	4	H20.5.1
加圧ポンプ	10.5m <sup>3</sup> /分	62m	300/200mm	160kW	2	H20.5.1
備考						

#### 吊 揚 機

クレーン	型 式	台数	設備年月日
	天井式ホイストクレーン 2.8ton	1	S51.7.1

#### 配 水 池

構 造	巾	長 さ	深 さ	容 量	池 数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	50m	29m	4.4m	5,800m <sup>3</sup>	1	S51.7.1
	58.3m	31.2m	4.4m	7,800m <sup>3</sup>	1	S53.9.18
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 9.4m L. W. L = T P + 5.0m					

#### 吸 水 井

構 造	巾	長 さ	深 さ	容 量	池 数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	11.3m	14.8m	4.4m	700m <sup>3</sup>	2	S51.7.1
備考	ポンプ室の地下					

#### 流 量 計

型 式	構 造	口 径	台 数	設備年月日	備 考
電 磁 式	電磁流量計 2,500m <sup>3</sup> /時	600mm	1	H25.5.29	企業団水 (受 水)
	電磁流量計 FMR 204U形 3,000m <sup>3</sup> /時	400mm	1	H11.3.30	大 東 市 (受 水)
	電磁流量計 FMR 204U形 3,000m <sup>3</sup> /時	400mm	1	H10.3.28	" (送 水)
	電磁流量計 FMR 204AU形 3,000m <sup>3</sup> /時	400mm	1	H20.5.1	" (増圧流量)

#### 電 気 設 備

	内 容	設備年月日
屋 内 変 電 室	変圧器容量（三相） 6,600/440V 750kVA	H20.7.1
	"（三相） 6,600/210V 30kVA	H20.7.1
	"（単相） 6,600/105V 75kVA	H20.7.1
備考		

施 設

#### (4) 東部第二配水場



所在地 大東市野崎三丁目11番12号  
 面積 5,567.72㎡  
 水源 企業団水（寺川分岐）  
 配水方式 自然流下方式

#### 管 理 棟

送水ポンプ室	鉄筋コンクリート造 建築面積171.17㎡ 延床面積160.57㎡					
型 式	吐出量	全揚程	口 径	出 力	台 数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	3.0㎡/分	110m	150/150mm	90kW	2	H29.3.28
備 考						

#### 配 水 池

構 造	直 径	深 さ	容 量	池 数	設備年月日
プレストレスト コンクリート造	32.2m	10m	8,000㎡	1 (2槽)	H20.5.1
備 考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 58.50m    L. W. L = T P + 48.50m				

#### 流 量 計

型 式	構 造	口 径	台 数	設備年月日	備 考
電 磁 式	電磁流量計				(配 水)
	FMR 204A形	3,000㎡/時	500mm	1	H20.5.1
超 音 波 式	超音波流量計				(送 水)
	FUR-2S形	600㎡/時	150mm	1	H20.5.1

#### 電 気 設 備

	内 容	設備年月日
屋 内 変 電 室	変圧器容量（三相）	6,600/440V    500kVA
	”（三相）	440/210V    20kVA
	”（単相）	440/210-105V    10kVA
備 考		

#### 緊 急 遮 断 弁

動作設定	動作開度	表示
震度4	全閉	緊急遮断
270㎡/h以上	全閉	緊急遮断

## (5) 東部第二高区配水場



所在地 大東市大字寺川714番地  
 面積 4,976㎡  
 水源 企業団水（寺川分岐）  
 配水方式 自然流下方式

### 送水ポンプ

送水ポンプ室	48.4㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	1.0m <sup>3</sup> /分	42m	100mm	15kW	2	H29.3.28

### 配水池

構造	直径	深さ	容量	池数	設備年月日
プレストレスト コンクリート造	28.2m	10m	6,000m <sup>3</sup>	1 (2槽)	H6.3.31
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 148.0m    L. W. L = T P + 138.0m				

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-8W形 600m <sup>3</sup> /時	250mm	1	H6.7.1	(配水)
電磁式	電磁流量計 FMR-8W形 300m <sup>3</sup> /時	150mm	1	H6.7.1	(配水)
電磁式	電磁流量計 FMR-7W形 180m <sup>3</sup> /時	80mm	1	H6.7.1	(送水)

### 消毒設備

薬品	型式	出力	台数
次亜塩素酸ナトリウム	0~36mℓ/分 1.0MPa	0.1kW	2
備考	タンク容量 100ℓ P. E製 H24.2.21		

### 緊急遮断弁

	動作設定	動作開度	表示
北部	870m <sup>3</sup> /h以上	20%	緊急遮断
南部	310m <sup>3</sup> /h以上	20%	閉鎖中

## (6) 東部第三配水場



所在地 大東市野崎1127番地の2  
 面積 5,940㎡  
 水源 企業団水（寺川分岐）  
 配水方式 自然流下方式（休止中）

### 送水ポンプ

送水ポンプ室	53.3㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	1.1m <sup>3</sup> /分	132m	80mm	45kW	2	H8.3.27

### 配水池

構造	巾	長さ	深さ	容量	池数	設備年月日
鉄筋コンクリート造	8.0m	12.5m	4.0m	400m <sup>3</sup>	1(2槽)	S56.11.11
プレストレスト コンクリート造	内径14.0m		4.0m	600m <sup>3</sup>	1	S61.3.4
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 173.5m    L. W. L = T P + 169.5m					

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-6W形 300m <sup>3</sup> /時	100mm	1	S57.2.9	(配水) 休止中 (送水)
電磁式	電磁流量計 FMR-204AU形 180m <sup>3</sup> /時	80mm	1	H26.3.31	

### 消毒設備

薬品	型式	出力	台数
次亜塩素酸ナトリウム	0~36ml/分 1.0MPa	0.1kW	2
備考	タンク容量 100ℓ P. E製 H23.9.17		

### 電気設備

	内	容	設備年月日
屋内変電室	変圧器容量（三相）	6,600/220V 150kVA	H8.3.15
	”（单相）	6,600/110V 10kVA	H8.3.15
備考			

## (7) 東部第四配水場



所在地	大東市大字龍間1535番地
面積	6,978.17㎡（進入道路382.80㎡含む）
水源	企業団水（寺川分岐）
配水方式	自然流下方式

### 送水ポンプ

送水ポンプ室	48.4㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	0.5m <sup>3</sup> /分	72m	80mm	15kW	2	H22.3.21

### 配水池

構造	直径	深さ	容量	池数	設備年月日
プレストレスト コンクリート造	8.0m	8.0m	400m <sup>3</sup>	1	S56.12.18
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 271.5m      L. W. L = T P + 263.5m				

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-204AU形 160m <sup>3</sup> /時	80mm	1	H26.3.31	(配水)
電磁式	電磁流量計 FMR-204AU形 180m <sup>3</sup> /時	80mm	1	H26.3.31	(送水)

### 消毒設備

薬品	型式	出力	台数
次亜塩素酸ナトリウム	0~36ml/分 1.0MPa	0.1kW	2
備考	タンク容量 100ℓ P. E製 H23.9.27		

### 緊急遮断弁

動作設定	動作開度	表示
震度3	50%	地震発生
震度4	20%	緊急遮断
120m <sup>3</sup> /h以上	20%	緊急遮断

## (8) 東部第五配水場



所在地 四條畷市南野2130番地  
 面積 8,023㎡  
 水源 企業団水（寺川分岐）  
 配水方式 自然流下方式

### 配水池

構造	直径	深さ	容量	池数	設備年月日
プレストレスト コンクリート造	11.7m	3.8m	400m <sup>3</sup>	1	S58.3.31
備考	水位計・投込型（圧力式） H. W. L = T P + 327.2m      L. W. L = T P + 323.4m				

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-204U形 160m <sup>3</sup> /時	80mm	1	H18.1.8	(配水)

### 緊急遮断弁

動作設定	動作開度	表示
震度3	50%	地震発生
震度4	20%	緊急遮断
120m <sup>3</sup> /h以上	20%	緊急遮断

## (9) 北条ポンプ場



所在地 大東市北条四丁目1837番の3  
 面積 240.77㎡  
 水源 灰塚・東部第二配水区域  
 配水方式 加圧ブースター方式

### 配水ポンプ

配水ポンプ室	74.06㎡ 鉄筋コンクリート造					
型式	吐出量	全揚程	口径	出力	台数	設備年月日
多段渦巻ポンプ	1.0㎡/分	63m	100mm	18.5kW	3	H30.5.31

### 流量計

型式	構造	口径	台数	設備年月日	備考
電磁式	電磁流量計 FMR-404U形 150㎡/時	150mm	1	H30.5.31	(配水)

(10) 水質監視モニター



水質監視モニター

型式	所在地	通信網	設置場所	系 統	設備年月日
AN700A	三箇一丁目322番1号	光回線	三箇小学校内	東部第二配水系中間	H25.3.31
	新田中町6番	"	新田中央公園内	東部第二配水系末端	H27.3.31
	"	"	"	大阪市水系末端	"
	野崎三丁目1番20号	"	東部配水場内	東部系受水	H28.3.31
	大字龍間698番2号	ISDN	龍間児童遊園内	東部第四配水系末端	"
	寺川五丁目576	光回線	寺川第5児童遊園内	東部第二高区南部系末端	H29.3.31
	灰塚四丁目1番1号	LAN	灰塚配水場内	灰塚系受水	H30.3.31
	朋来2丁目161-37	光回線	朋来第1公園内	灰塚系末端	H31.3.31
北条4丁目1837-3	"	北条ポンプ場内	東部第二高区北部系末端	H31.3.31	

## 設定値一覧

### 東部第二配水系中間・末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.4mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.3MPa
備考					

### 大阪市水系末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	0.6mg/ℓ	0.1mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.50	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.2MPa
備考					

### 東部系受水

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.4mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.2MPa
備考					

### 東部第四配水系末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.2mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.2MPa
備考					

### 灰塚系末端、東部第二高区北部系末端・南部系末端

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.3mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
P H	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.3MPa
備考					

灰塚系受水

項目	測定方式	測定範囲	定量下限値	上限設定値	下限設定値
残留塩素	水流ビーズ洗浄式 ポーラログラフ方式	0～1mg/ℓ	0.05mg/ℓ以下	1.0mg/ℓ	0.5mg/ℓ
濁度	散乱光方式	0～2度	0.1度以下	0.5度	—
色度	透過光測定方式	0～10度	0.2度以下	1.0度	—
PH	ガラス電極方式	2～12PH	0.1PH以下	8.00	6.00
水圧	半導体センサ方式	0～1MPa	—	—	0.3MPa
備考					

### 3 水源別計画水量表

区分 配水場分岐名	水源	計画最大 給水量 (m <sup>3</sup> )	給水区分
灰塚配水場	企業団水道	62,000	平野地帯
東部配水場	"		平野地帯
東部第二配水場	"		山岳地帯
東部第二高区配水場	"		山岳地帯
東部第三配水場	"		"
東部第四配水場	"		"
東部第五配水場	"		"
深野分岐	"	2,000	新田地区
大宮分岐	大阪市営水道		諸福地区
諸福分岐	"		
合計		64,000	

### 4 管路用地等

施設名	面積 (m <sup>2</sup> )	所在地	備考
管路用地等	4,076	大東市南郷町、太子田二丁目、 新田西町、野崎四丁目、灰塚二 丁目、氷野一丁目、深野五丁目、 赤井三丁目、野崎二丁目、大字 龍間	

# VIII 広 報

## 1 広報だいとう掲載記事

1 広報だいたう掲載記事

R3年6月

上下水道局庁舎に  
自家発電設備を整備

南海トラフ地震などの災害による送電停止時に、情報収集・伝達体制を確立し、応急給水・応急復旧を迅速かつ円滑に実施するため、上下水道局（灰塚配水場管理棟）に自家発電設備を整備しました。



今後安定した給水を確保するため、水道施設の災害対策を進めます。  
 関上下水道局総務課 ☎871・1191

6月1日～7日 水道週間

水道週間を機に、水道水を今一度見直してみませんか。

市の水道水は、安全でよりおいしい「高度浄水処理水」です。利き水会でも多くの人からおいしいという声をいただいています。

スローガン

「生活も ウイルス予防も 蛇口から」

懸賞作品を募集

〈作文の部〉水道に関する自由な作文。小学校低学年(800字程度)、小学校高学年(1200字程度)、中学生(1600字程度)

〈図画の部〉小・中学生「水道に関するもの」

〈習字の部〉小学校低学年「みず」、小学校高学年「水道週間」

〈標語の部〉「水道に関するもの」

☎7月30日(金)消印有効)までに、〒102・0074 東京都千代田区九段南4・8・9 日本水道新聞社 水道週間懸賞募集係

関上下水道局総務課 ☎871・1191

## 水道事業の業務状況

令和2年度は、収入の合計が前年度比8.0%減の21億2,832万円となり、支出の合計が前年度比5.9%減の20億5,305万円となりました。これにより、令和2年度決算は7,527万円の純利益を計上することとなりました。

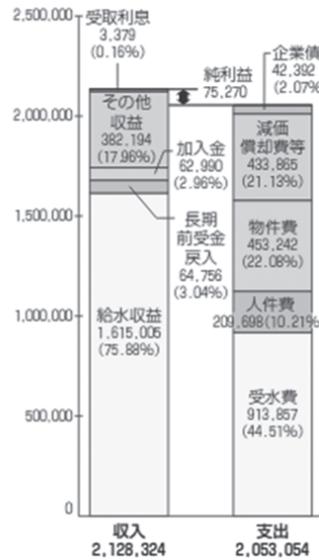
建設改良事業では、平成30年度から重要拠点配水管路耐震事業に取り組んでおり、令和2年度は1,486mの更新を行いました。

今後も、より一層の効率化と経費節減などを図り、市民の皆さんへの安定給水の推進に努めてまいります。

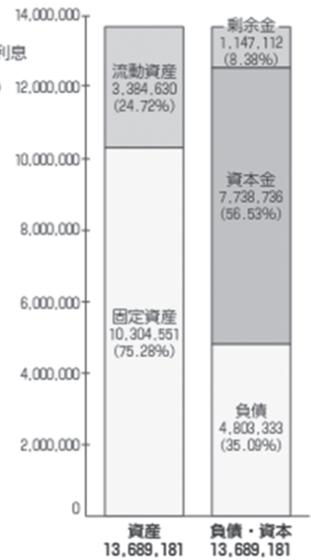
水道事業業務表(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	令和2年度	前年度比
給水人口	119,374人	△1,016人
給水戸数	57,487戸	251戸
普及率	99.9%	—
配水量	13,247,979m <sup>3</sup>	81,643m <sup>3</sup>

損益計算書  
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)  
(単位：千円)



貸借対照表  
(令和3年3月31日)  
(単位：千円)



収入計 2,128,324千円 - 支出計 2,053,054千円 = 純利益 75,270千円

### 漏水調査にご協力ください

上下水道局では貴重な水資源を無駄にしないため、市内全域で漏水調査を実施する予定です。上下水道局発行の証明書を左胸に付けている漏水調査員が、道路上および各家庭の水道メーター付近で作業を行います。ご迷惑をお掛けしますがご協力をお願いします。

なお、調査員が作業中に各ご家庭内に入り込むことはありません。7月上旬～11月下旬

### 悪質業者にご注意を

上下水道局を装い、家庭内の水道管洗浄作業および器具などを販売する悪質な業者がいます。このようなことは一切行っていませんので、十分ご注意ください。

95 閩上下水道局水道施設課 ☎871・11

## 水道事業の業務状況

令和3年度の上半期は、前年度に新型コロナウイルス感染症に係る支援として水道料金の基本料金を無料化したことにより、収入の合計が前年度比23.0%増の11億1,136万円となりました。支出の合計は前年度比0.6%増の10億2,920万円となりました。その結果、令和3年度の上半期は8,216万円の純利益となりました。

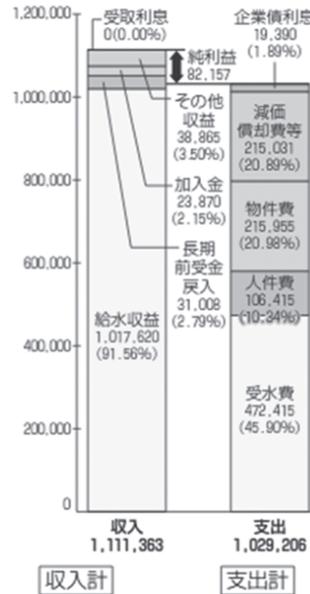
今後もより一層の効率化と経費節減を図り、安定給水の推進に努めてまいります。

水道事業業務表(令和3年4月1日～9月30日)

	令和3年度上半期	前年度比
給水人口	118,911人	△1,018人
給水戸数	57,537戸	162戸
普及率	99.9%	—
配水量	6,535,979m <sup>3</sup>	△90,301m <sup>3</sup>

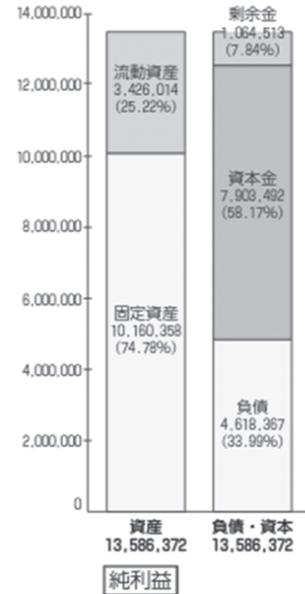
### 損益計算書

(令和3年4月1日～9月30日)  
(単位：千円)



### 貸借対照表

(令和3年9月30日)  
(単位：千円)



収入計 1,111,363千円 - 支出計 1,029,206千円 = 純利益 82,157千円

### R4年1月

**水管橋の緊急点検をしました**

和歌山市で発生した水管橋崩落事故を受けて、市内にある崩落事故と同形態の水管橋1橋の緊急点検を実施し、現状大きな問題がないことを確認しました。

今後も安全、安心な水を安定的に供給するため、水管橋を含めた水道管の維持管理に努めていきます。工事などご不便をおかけする際には、ご理解とご協力をお願いします。

水道施設課 ☎871・1195



### R4年2月

**「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」を締結**

市は府内42市町村に水道用水を供給している大阪広域水道企業団と、令和6年4月からの統合の可能性を検討するため、覚書を締結しました。

市の水道事業では、人口減少に伴う水の需要の減少、水道施設の老朽化、技術継承に係る人材不足など、さまざまな課題があります。将来にわたり持続可能な水道を維持するため、これらの課題解決に向けて検証をします。

園上下水道局総務課 ☎871・1191

### R4年3月

**三井住友銀行が公金の窓口収納を終了します**

三井住友銀行は窓口での市税、保険料、上下水道料金、その他公金にかかる収納の取り扱いについて、6月30日をもって終了します。

7月1日以降は、納入通知書などに指定の納付場所として記載されている場合でも三井住友銀行窓口での公金納付はできませんのでご注意ください。

なお、口座振替(口座引落)は、これまでどおり三井住友銀行口座で引き続きご利用できます。

園会計室 ☎870・0762、お客さまセンター ☎871・1193



令和3年度版  
大東市水道事業概要

(限定160部)

発行 令和4年10月

編集 大東市上下水道局総務課

〒574-0043 大阪府大東市灰塚四丁目1番1号

電話……………072-871-1191

FAX……………072-871-1600

E-mail ………d\_suido@city.daito.lg.jp

